

D-Link AP Manager II v3.0

WLAN Management System

ユーザマニュアル



目次

第1章 はじめに	4
本書の構成	4
本マニュアルの対象者	4
表記規則について	4
本製品の概要	5
動作環境	5
第2章 インストールとログイン	6
プラットフォームのインストール	6
モジュールパッケージのインストール	8
本製品へのログイン	10
第3章 画面構成と機能概要	11
画面の構成	11
機能概要	12
ツールメニュー	12
アイコンメニュー	12
メインメニュー	13
第4章 基本的な操作	14
アクセスポイントの検出	14
SNMPの有効化	15
アクセスポイントの基本的な設定を行う	16
アクセスポイントの詳細設定画面を表示する	16
アクセスポイントの情報を確認する	17
アクセスポイントをグループ化する	17
第5章 メインメニューとアイコンメニューの操作	18
General (情報の表示)	18
Group (管理アクセスポイントのグループ化)	21
Group 画面メインパネルについて	21
Group > Delete Device (アクセスポイントの削除)	22
Group > Configure (アクセスポイントの設定)	22
Group > Model (モデル別表示)	26
Group > Category (アクセスポイントのグループ化)	27
MultiConfiguration (マルチコンフィグレーション)	28
MultiConfiguration メイン画面について	28
Multi Configuration > Template (テンプレート設定)	28
Multi Configuration > Task Schedule (タスクのスケジュール設定)	36
Event Manager (障害管理)	43
Event Manager 画面メインパネルについて	43
Event Manager > Sign Unread (イベントを未読状態にする)	44
Event Manager > Delete Event (イベントを削除する)	44
Event Manager > Event Settings (イベントを設定する)	44
Event Manager > Event Search (イベントを検索する)	45
Event Manager > Event Export (イベントのエクスポートする)	45
Event Manager > Event Notice (イベントを通知する)	46
Event Manager > Create Watchlist (ウォッチリストの設定)	47
Tool (ツール)	49
Tool > Topology (トポロジ設定)	49
Tool > Site Planning (配置計画)	54
Tool > Config Comparioson (コンフィグレーションの比較)	56
Report (レポート)	58
Report > Association (アクセスポイント / ステーションごとのレポート)	58
Report > Security (セキュリティレポート)	59
Report > Utilization (使用率レポート)	60
Report > Channel (チャンネルレポート)	61
Report > Rogue AP (不正アクセスポイントレポート)	61
Report > Syslog (システムログレポート)	62
Report > Custom (カスタムレポート)	62
Report > Monitor (モニタレポート)	63
User Manager (ユーザ管理)	64
Options (オプション)	65

第 6 章	アクセスポイントの設定	67
	アクセスポイント設定画面の表示方法.....	67
	Home	69
	System Information (製品の情報)	69
	Close (アクセスポイント設定画面の終了)	69
	Basic.....	70
	Advanced	71
	Maintenance	72
	Status.....	73
	System.....	74
	Configuration	74
	Help	74

第 1 章 はじめに

AP Manager II v3.0 をご使用になる前にお読みください。

本書の構成

本マニュアルは、AP Manager II v3.0 の機能説明、インストール方法および使用方法を記載しています。

第 1 章 はじめに

- 本マニュアルについての説明と AP Manager II v3.0 の機能概要、動作環境について説明します。

第 2 章 インストールとログイン

- 本製品のインストールとログイン方法について説明します。

第 3 章 画面構成と機能概要

- AP Manager II v3.0 の画面構成と、各画面の機能概要について説明します。

第 4 章 基本的な操作

- よく使用する基本的な操作を説明します。

第 5 章 メインメニューとアイコンメニューの操作

- AP Manager II v3.0 のメインメニュー、アイコンメニューの操作方法を説明します。

第 6 章 アクセスポイントの設定

- アクセスポイント設定画面の操作方法を説明します。

本マニュアルの対象者

本マニュアルは、本製品の操作方法についての情報を記載しています。また、ネットワーク管理の概念や用語に十分な知識を持っているネットワーク管理者、システム管理者、または IT 技術者を対象としています。

表記規則について

本マニュアル中では、以下の表記規則を使用します。

警告 : 設定の組み合わせ / イベント / 手順により、接続状態やセキュリティなどに悪影響を及ぼす恐れのある項目について説明します。

重要 : 設定・操作を行ううえで重要な項目を説明します。

メモ : 特長や技術についての参考情報を説明します。

青字 : 参照先を記載します。

「 」 : 画面のタイトル、画面に表示されるボタン名を記載します。

本製品の概要

AP Manager II v3.0 は、1 台のコンピュータからご使用の無線ネットワークの設定・管理を可能にする便利なソフトウェアツールです。アクセスポイントの設定やファームウェアのアップグレードなどを行うことができます。また、複数のアクセスポイントを 1 つのグループにまとめて設定・管理することができるため、統合的な管理を実現します。

動作環境

本製品が動作するためには、以下の条件が必要です。

■ 本製品をインストールするコンピュータ

- 1Ghz 以上のプロセッサ搭載
- 512MB RAM
- 200MB 以上のメモリ
- CD-ROM ドライブ
- 以下いずれかの OS を搭載：
 - Windows® Server 2008 Standard (x86-64)
 - Windows® Server 2008 Enterprise (x86-64)
 - Windows® XP 32bit/64bit
 - Windows® 7 32bit/64bit

■ 本製品で管理するアクセスポイントに必要な設定

- SNMP の有効化

第2章 インストールとログイン

本製品をインストールし、ログインする手順について説明します。

本マニュアルでは、DAP-2690 に同梱されている CD-ROM を使用した場合の手順と画面を例として使用します。

- ◆ プラットフォームのインストール
- ◆ モジュールパッケージのインストール
- ◆ 本製品へのログイン

プラットフォームのインストール

プラットフォームのインストール手順を説明します。

1. アクセスポイントに同梱されている CD を PC の CD-ROM ドライブに挿入し、「AP Manager II v3.0」>「Install Platform」の順にクリックします。

メモ インストールするプラットフォームが CD-ROM とは別に存在する場合は、プラットフォームの EXE ファイルをダブルクリックしてください。手順 3 の画面が表示されます。

2. 「End User License Agreement」を確認し、問題なければ「AGREE」をクリックします。

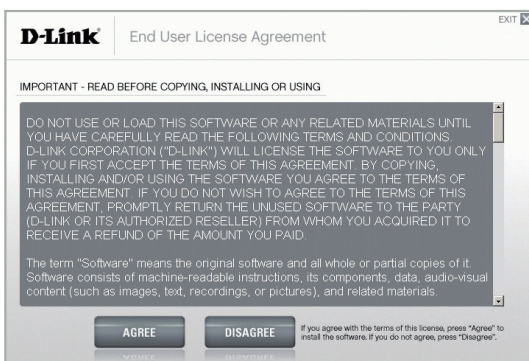


図 3-1 End User License Agreement 画面

3. 「AP Manager II v3.0 Setup」画面で「Next」をクリックします。

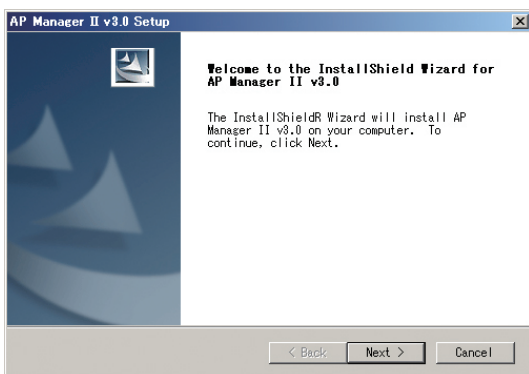


図 3-2 AP Manager II v3.0 Setup 画面

4. 「Browse」をクリックし、インストール先のフォルダを選択 → 「Next」をクリックします。

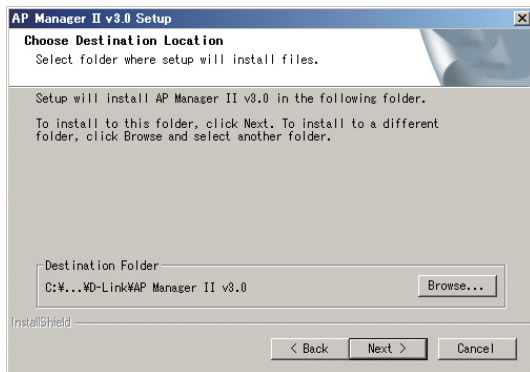


図 3-3 AP Manager II v3.0 Setup 画面

5. 「Existing Folders:」から既存のフォルダを選択するか、「Program Folder:」に新規のフォルダ名を入力 → 「Next」をクリックします。

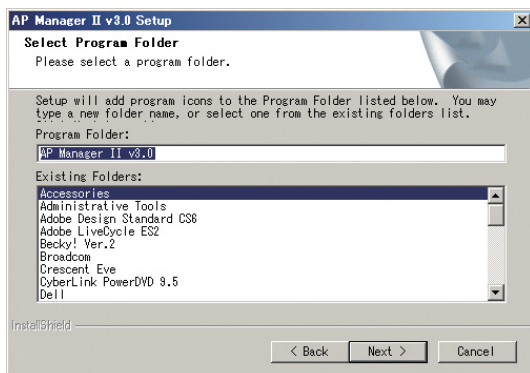


図 3-4 AP Manager II v3.0 Setup 画面

6. インストールの進行状況を示す画面が表示されます。そのままお待ちください。

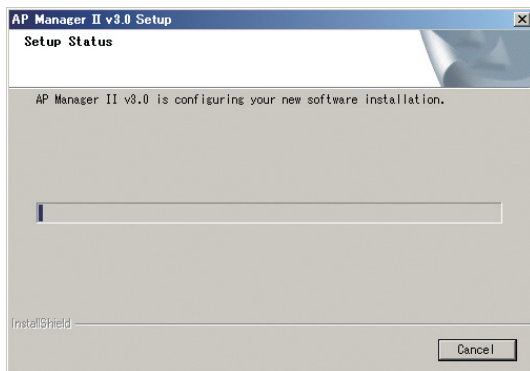


図 3-5 AP Manager II v3.0 Setup 画面

7. 以下の画面が表示されるので、「Finish」をクリックします。

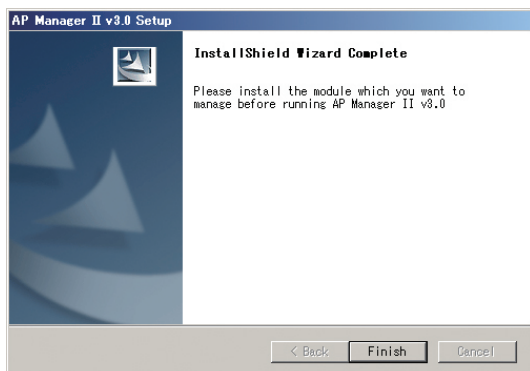


図 3-6 AP Manager II v3.0 Setup 画面

以上でプラットフォームのインストールは完了です。 デスクトップに AP Manager II v3.0 のアイコンが表示されます。

モジュールパッケージのインストール

モジュールパッケージのインストール手順を説明します。

重要 アクセスポイントの管理を開始する前に、管理対象アクセスポイントのモジュールパッケージをインストールしてください。

1. 「AP Manager II v3.0」 > 「Install Module」の順にクリックします。

メモ インストールするモジュールが CD-ROM とは別に存在する場合は、モジュールの EXE ファイルをダブルクリックしてください。手順 3 の画面が表示されます。

2. 「End User License Agreement」を確認し、問題なければ「AGREE」をクリックします。

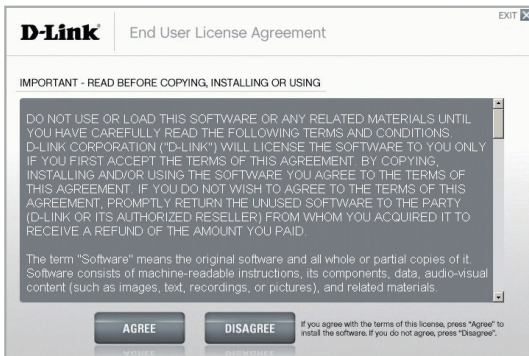


図 3-7 End User License Agreement 画面

3. 以下の画面で「Next」をクリックします。

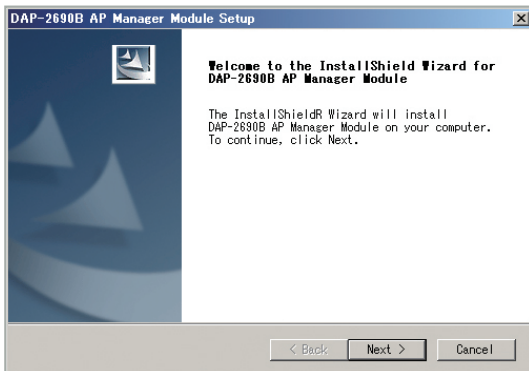


図 3-8 DAP-2690 AP Manager II Module Setup 画面

4. インストールの進行状況を示す画面が表示されます。そのままお待ちください。

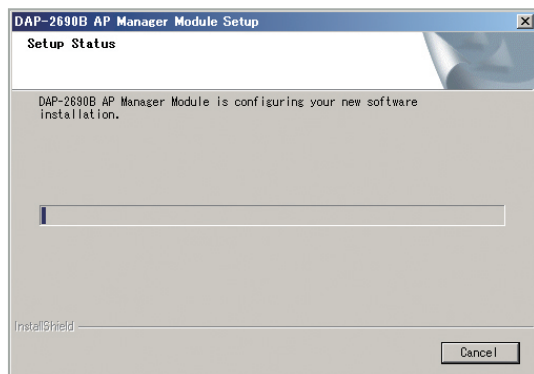


図 3-9 DAP-2690 AP Manager II v3.0 Module Setup 画面

5. 以下の画面が表示されるので、「Finish」をクリックします。

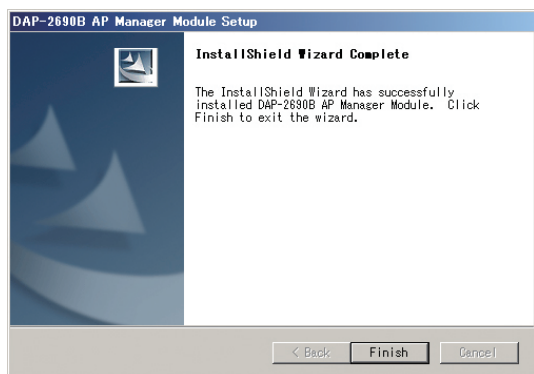


図 3-10 AP Manager II v3.0 Setup 画面

以上でモジュールパッケージのインストールは完了です。

本製品へのログイン

ログイン方法について説明します。

1. デスクトップの AP Manager II v3.0 アイコンをダブルクリックします。
2. 「User Name」と「Password」を入力 → 「OK」をクリックします。



図 3-11 ログイン画面

■ 初期設定

「User Name」: admin

「Password」: admin

3. トップ画面が表示されます。

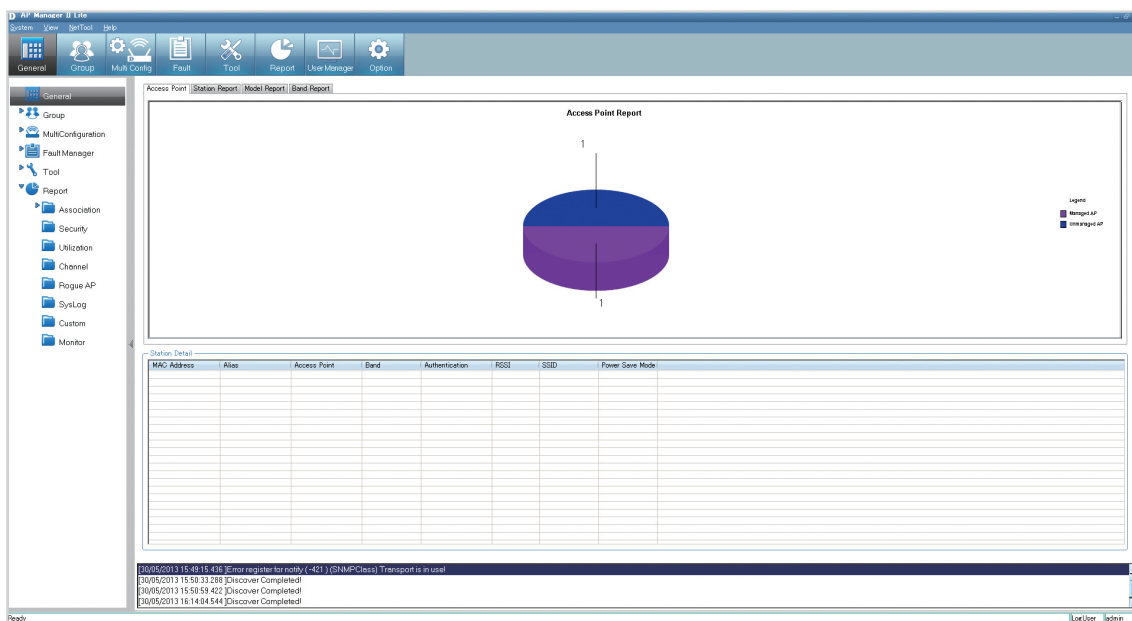


図 3-12 トップ画面

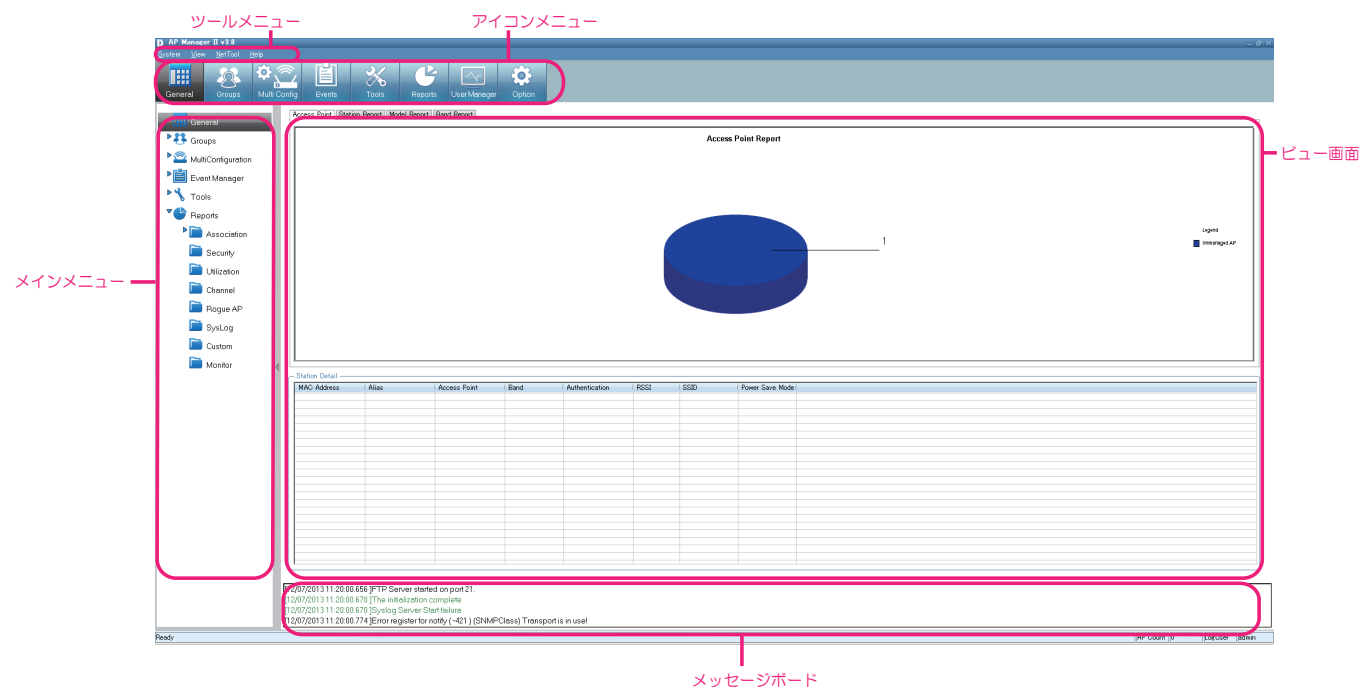
第3章 画面構成と機能概要

AP Manager II v3.0 の画面構成と機能の概要について説明します。

- ◆ 画面の構成
- ◆ 機能概要

画面の構成

AP Manager II v3.0 の画面構成について説明します。



■ ツールメニュー



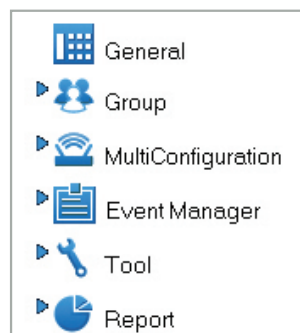
クリックするとドロップダウンリストが表示されるので、操作を選択します。

■ アイコンメニュー



アイコンをクリックし、アクセスポイントおよび AP Manager II v3.0 の設定を行います。

■ メインメニュー



アクセスポイントおよび AP Manager II v3.0 の設定を行います。

- ▶ アイコンをクリックすると、配下のメニューリストが表示されます。

■ メッセージボード

AP Manager II v3.0 とアクセスポイント間の動作状況が表示されます。

■ ビュー画面

「アイコンメニュー」「メインメニュー」で選択した機能の設定画面が「ビュー画面」に表示されます。

機能概要

各機能の概要について説明します。

アイコンメニュー及びメインメニューの詳細については、[第5章 メインメニューとアイコンメニューの操作](#)を参照してください。

ツールメニュー

● System

User Management	ユーザ名・パスワードの変更など、管理者設定を行います。 アイコンメニューの「User Manager」をクリックした場合と同じ設定画面が表示されます。
System Log	システムログを表示します。
Options	ログイン方式、SNMP 設定、ポーリング間隔などソフトウェアの動作環境を変更します。 アイコンメニューの「Option」をクリックした場合と同じ設定画面が表示されます。
Trap Start	トラップを開始します。
Trap Stop	トラップを終了します。
Exit	AP Manager II v3.0 を終了します。

● View

General	アクセスポイント、接続するクライアント、アクセスポイントの製品名、無線帯域を表示します。
Group	アクセスポイントの検出、検出したアクセスポイントを分類し、管理およびモニタします。
MultiConfiguration	複数のアクセスポイントのコンフィギュレーションの管理や同じプロファイルのロードを行うことができます。
Event Manager	アクセスポイントから受信したトラップデータとポーリングしたデータを表示します。
Tool	ネットワークのトポロジマップを作成します。 また、ネットワークデバイスに定期的にポーリングしてステータスをモニタリングします。
Report	管理アクセスポイントと接続するクライアントステーションの表示、モニタリング、システムログなどの情報の表示を行います。

※「View」から選択して表示される画面は、メインメニューの各項目をクリックして表示される画面と同じです。

● NetTool

Scan	ScanAP を起動し、アクセスポイントの RF 情報を収集します。
------	------------------------------------

● Help

Help Topics	HTML 形式の英文マニュアルを表示します。
About AP Manager II v3.0...	AP Manager II v3.0 のバージョン情報を表示します。

アイコンメニュー



アイコンメニューの項目をクリックして表示される画面は、メインメニューの同じ項目をクリックして表示される画面と同じです。（「User Manager」と「Option」を除く）

● General

AP Manager II v3.0 が検出した以下の情報を表示します。

- アクセスポイントのリスト（Accesses Point タブ）
- ステーションのリスト（Station Report タブ）
- 管理中のアクセスポイントのモデル（Model Report タブ）
- 無線帯域（Band Report タブ）

● Group

アクセスポイントを検出し、検出したアクセスポイントを分類・管理・モニタします。

● Multi Config

複数のアクセスポイントの設定管理を行うことができます。

● Events

アクセスポイントから受信したトラップデータとポーリングしたデータを表示します。

● Tool

ネットワークのトポロジマップを作成します。

● Report

管理アクセスポイントと接続するクライアントステーションの表示、モニタリング、システムログなどの情報の表示を行います。

● User Manager

ユーザ名・パスワードの変更など、管理者設定を行います。

ツールメニューの「User Management」をクリックした場合と同じ設定画面が表示されます。

● Option

ログイン方式、SNMP 設定、ポーリング間隔などソフトウェアの動作環境を変更します。

ツールメニューの「Options」をクリックした場合と同じ設定画面が表示されます。

メインメニュー

メモ メインメニューの項目をクリックして表示される画面は、アイコンメニューの同じ項目をクリックして表示される画面と同じです。
(「User Manager」と「Option」を除く)

● General

AP Manager II v3.0 が検出した以下の情報を表示します。

- アクセスポイントのリスト (Accesses Point タブ)
- ステーションのリスト (Station Report タブ)
- 管理中のアクセスポイントのモデル (Model Report タブ)
- 無線帯域 (Band Report タブ)

● Group

Model	管理中のアクセスポイントを製品別に分類することができます。
Category1-3	管理中のアクセスポイントをカテゴリ別に分類することができます。

● Multi Configuration

Template	テンプレートを使用して検出したアクセスポイントの設定を管理します
Category1-3	デバイスの比較、デバイスへのファームウェアの更新、およびテンプレートのアップロードを行います。

● Event Manager

StandaedTrap	標準のトラップ画面ではアクセスポイントから受信した標準のトラップデータを表示します。
System	ポーリング結果を表示します。
Threshold	しきい値通知データを表示します。
Private	アクセスポイントから受信したプライベートトラップのデータを表示します。

● Tool

Topology	ネットワークのトポロジマップを作成します。また、ネットワークデバイスに定期的にポーリングしてステータスをモニタリングします。
Site Planning	無線ネットワークを確立する前に、無線ネットワークの配置を評価します。
Config Comparison	製品同士のコンフィギュレーションを比較します。

● Report

Association	管理アクセスポイントと接続するクライアントステーションをアクセスポイントごと、または無線ステーションごとに表示します。
Security	管理アクセスポイントのセキュリティレベルを図で示します。
Utilization	指定アクセスポイントの帯域使用率を表示します。
Cannel	管理アクセスポイントのチャンネル使用状態を図で表示します。
Rogue AP	検索されたアクセスポイントが有効、不正、または Neighbor AP であるかを指定することができます。
Syslog	管理アクセスポイントが送信したシステムログ情報を表示します。
Custom	指定間隔でアクセスポイントに接続するステーション数に関するサマリ情報を表示します。
Monitor	指定アクセスポイントの性能をリアルタイムに表示します。

第4章 基本的な操作

AP Manager II v3.0 の基本操作について説明します。

- ◆ アクセスポイントの検出
- ◆ SNMP の有効化
- ◆ アクセスポイントの基本的な設定を行う
- ◆ アクセスポイントの詳細設定画面を表示する
- ◆ アクセスポイントの情報を確認する
- ◆ アクセスポイントをグループ化する

アクセスポイントの検出

アクセスポイントの管理を行うには、AP Manager II v3.0 でアクセスポイントの検出を行う必要があります。

■ 同サブネット内のアクセスポイントを検出する場合：

1. メインメニューの「Group」またはアイコンメニューの「Group」をクリックします。

2.  (Discover) アイコンをクリックします。

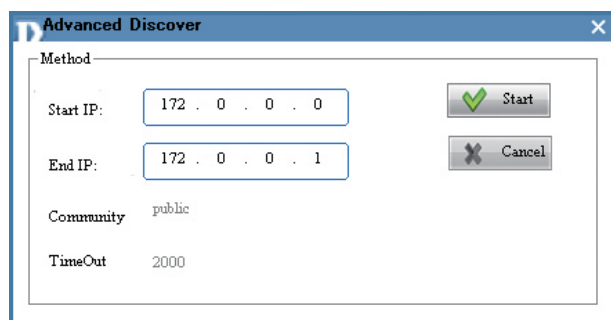
3. 検出されたアクセスポイントがビュー画面に表示されます。

■ IP アドレスの範囲を指定して検出する場合：

1. メインメニューの「Group」またはアイコンメニューの「Group」をクリックします。

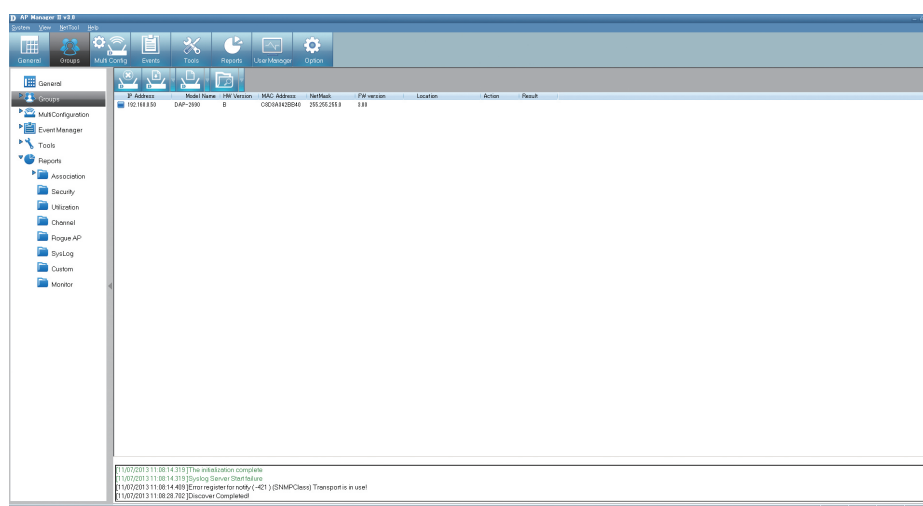
2.  (Discover) アイコンの▽部分を選択し、表示されたメニューで「Advanced Discover」をクリックします。

3. 「Start IP:」「End IP:」に IP アドレスを入力 → 「Start」をクリックします。



4. 検出されたアクセスポイントがビュー画面に表示されます。

■ 検出されたアクセスポイントの例：



■ アイコンについて

検出されたアクセスポイントの行頭に表示されるアイコンについて説明します。

-  新しく検出されたアクセスポイントです。
-  アクセスポイントには ping できませんが、IP を変更できます。
-  管理されているアクセスポイントです。
-  オフライン状態、または SNMP が無効になっています。
-  不正なアクセスポイントです。

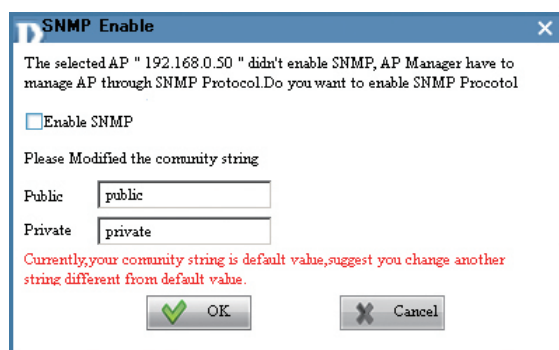
SNMP の有効化

AP Manager II v3.0 でアクセスポイント管理を行うには、アクセスポイントの SNMP を有効化する必要があります。

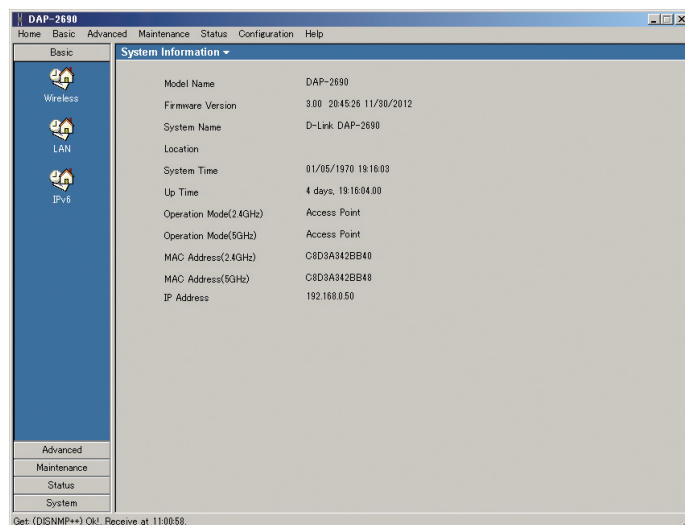
- メインメニューの「Group」またはアイコンメニューの「Group」をクリックします。
- SNMP を有効化したいアクセスポイントをクリックします。

メモ SNMP が無効になっている場合は、 アイコンが表示されます。

- 「Enable SNMP」にチェックをいれて、「OK」をクリックします。



- アクセスポイントの SNMP が有効化され、アイコンは に変わります。
- 自動的にアクセスポイントの設定画面が表示されます。

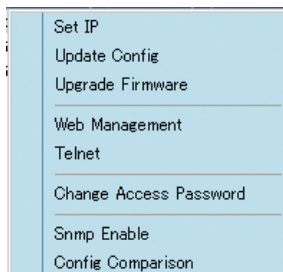


- アクセスポイントの設定を行わない場合は画面を閉じます。

アクセスポイントの基本的な設定を行う

Group画面では、IPアドレスの変更やファームウェアアップデート、パスワードの変更など、アクセスポイントの基本的な設定を行うことができます。

1. メインメニューの「Group」またはアイコンメニューの「Group」をクリックします。
2.  アイコンの▽をクリックします。
3. 以下のメニューで設定したい項目を選択します。



項目の詳細については [Group > Configure（アクセスポイントの設定）](#) を参照してください。

アクセスポイントの詳細設定画面を表示する

アクセスポイントの設定画面は以下の手順で表示されます。

1. メインメニューの「Group」またはアイコンメニューの「Group」をクリックします。
2. アクセスポイントの行を右クリックし、プルダウンメニューで「Configuration」>「SNMP Enable」をクリックします。
3. 「Set check to open module」にチェックをいれ、「OK」をクリックします。

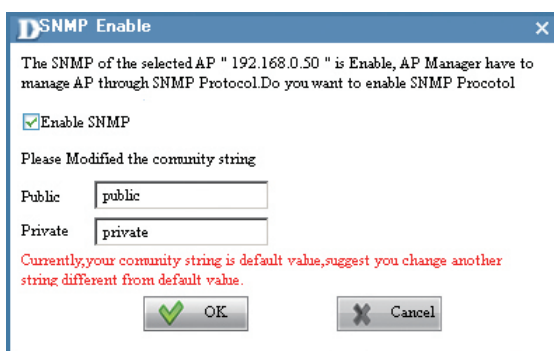


図 4-1 SNMP Enable 画面

4. アクセスポイントの詳細設定画面が表示されます。

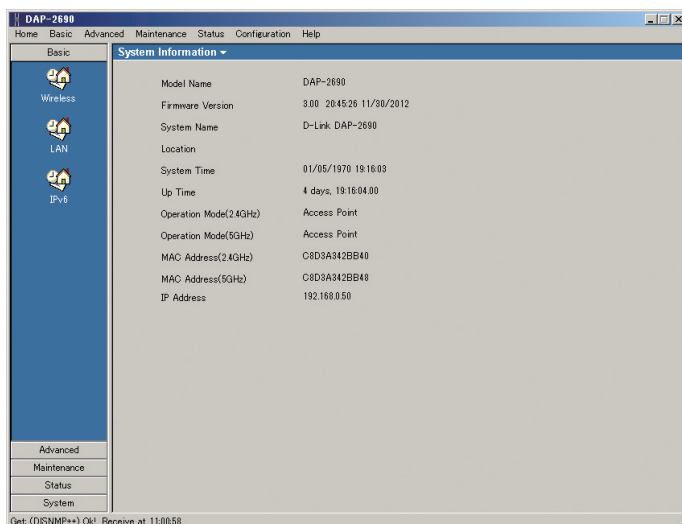


図 4-2 アクセスポイントの詳細設定画面

 アクセスポイントの詳細設定画面の詳細については、[第6章 アクセスポイントの設定](#)を参照してください。

アクセスポイントの情報を確認する

検出したアクセスポイントの情報を General 画面で確認することができます。
General 画面の詳細については、[General（情報の表示）](#) を参照してください。

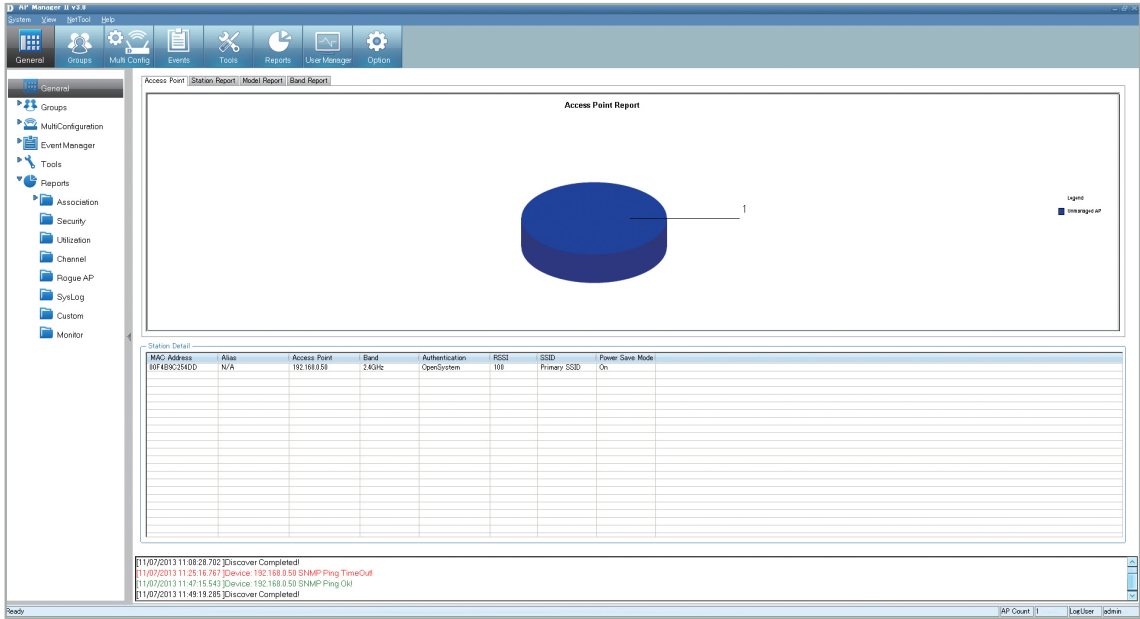


図 4-3 General 画面

アクセスポイントをグループ化する

Group 画面では、管理している複数のアクセスポイントをモデルまたはカテゴリごとに分類することができます。
Group 画面の詳細については、[Group（管理アクセスポイントのグループ化）](#) を参照してください。

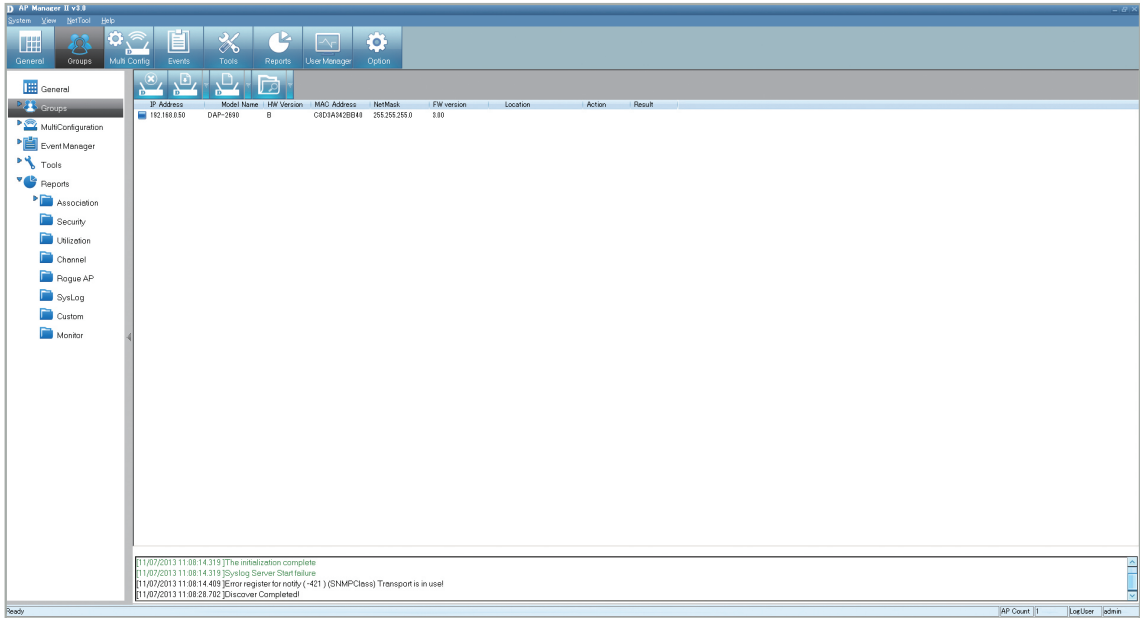


図 4-4 Group 画面

第5章 メインメニューとアイコンメニューの操作

メインメニューとアイコンメニューの操作内容について説明します。

- ◆ General (情報の表示)
- ◆ Group (管理アクセスポイントのグループ化)
- ◆ MultiConfiguration (マルチコンフィグレーション)
- ◆ Event Manager (障害管理)
- ◆ Tool (ツール)
- ◆ Report (レポート)
- ◆ User Manager (ユーザ管理)
- ◆ Options (オプション)

General (情報の表示)

アイコンメニューまたはメインメニューの「General」をクリックすると表示されます。

General 画面には4つのタブ(「Access Point」「Station Report」「Model Report」「Band Report」)があり、アクセスポイントの情報を確認することができます。

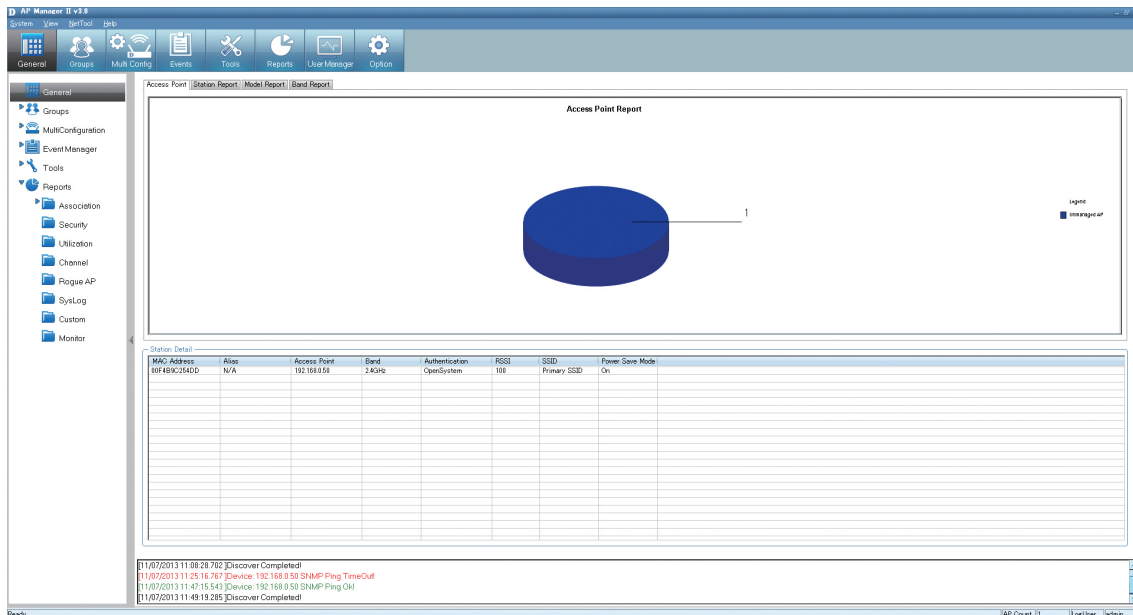


図 5-1 General 画面

● Station Detail (ステーションの詳細) 欄について

Station Detail							
MAC Address	Alias	Access Point	Band	Authentication	RSSI	SSID	Power Save Mode
001802507152	N/A	192.168.0.50	2.4GHz	OpenSystem	92	Primary SSID	On

図 5-2 General 画面

■ 表示される項目

Mac Address	MAC	アドレスを表示します。
Alias		エイリアスを表示します。
Access Point		アクセスポイントの IP アドレスを表示します。
Band		無線帯域を表示します。
Authentication		認証タイプを表示します。
RSSI		受信信号強度を表示します。
SSID		SSID を表示します。
Power Save Mode		省電力モードを表示します。

メモ 「Station Details」欄は General 画面のすべてのタブで共通の内容です。

ステーション欄を右クリックすると、以下のメニューが表示されます。

▼ Auto refresh	Auto refresh	チェックを入れた場合、Statioin Details 欄の自動更新を行います。
● 30 Seconds	30 Seconds	30 秒間隔で自動更新を行います。
60 Seconds	60 Seconds	60 秒間隔で自動更新を行います。
90 Seconds	90 Seconds	90 秒間隔で自動更新を行います。
Kick off	Kick off	アクセスポイントからステーションを切断します。
Alias	Alias	クリックするとエイリアス画面が表示されます。 エイリアスを登録・編集したい行をクリックし、エイリアスを入力します。

メモ 「Kick off」については、対応していないアクセスポイントがあります。

■ Access Point タブ

AP Manager II v3.0 が検出したアクセスポイントのリストを表示します。
画面上部のグラフにおいて、「Managed AP」と「Unmanaged AP」は別の色で表示されます。「Managed AP」の情報は、画面下部の「Station Details」欄で確認できます。

メモ アクセスポイントを「Managed AP」に設定する方法については、[Group > Category \(アクセスポイントのグループ化\)](#) を参照してください。

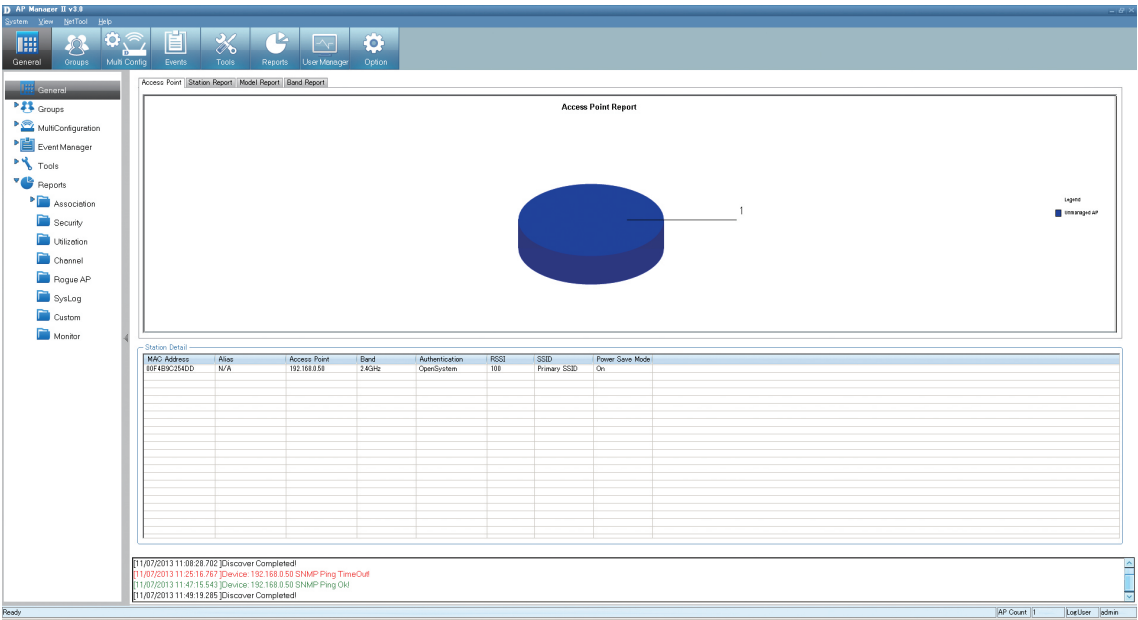


図 5-3 General > Access Point タブ画面

■ Station Report タブ

アクセスポイントに接続している無線ステーションを表示します。

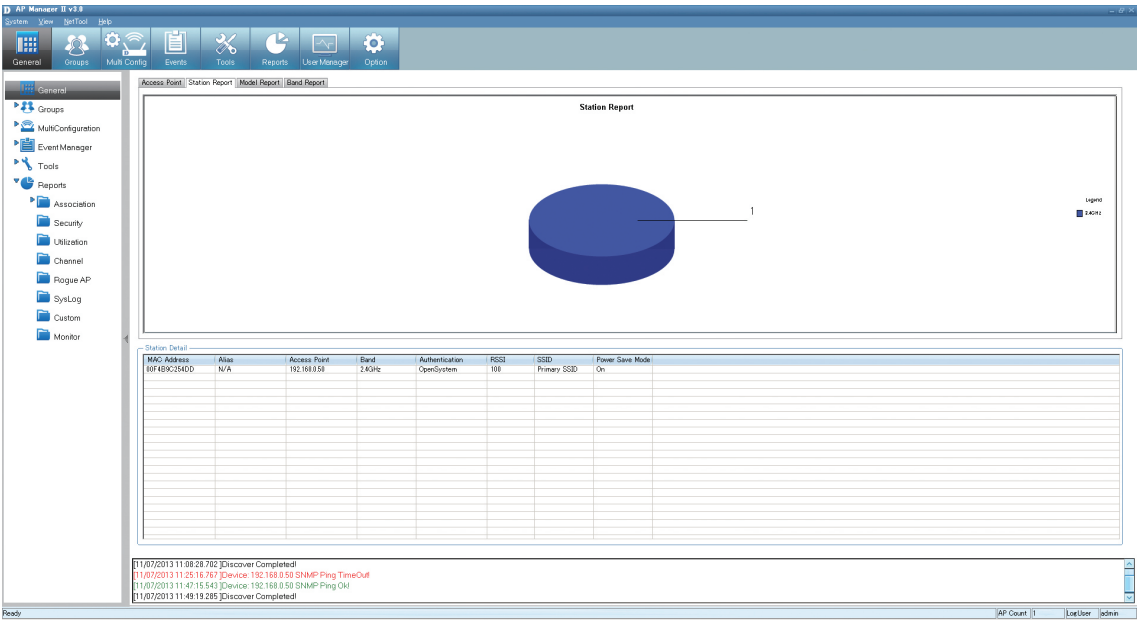


図 5-4 General > Station Report タブ画面

■ Model Report

AP Manager II v3.0 が検出し、管理しているモデル数の分布を図示します。

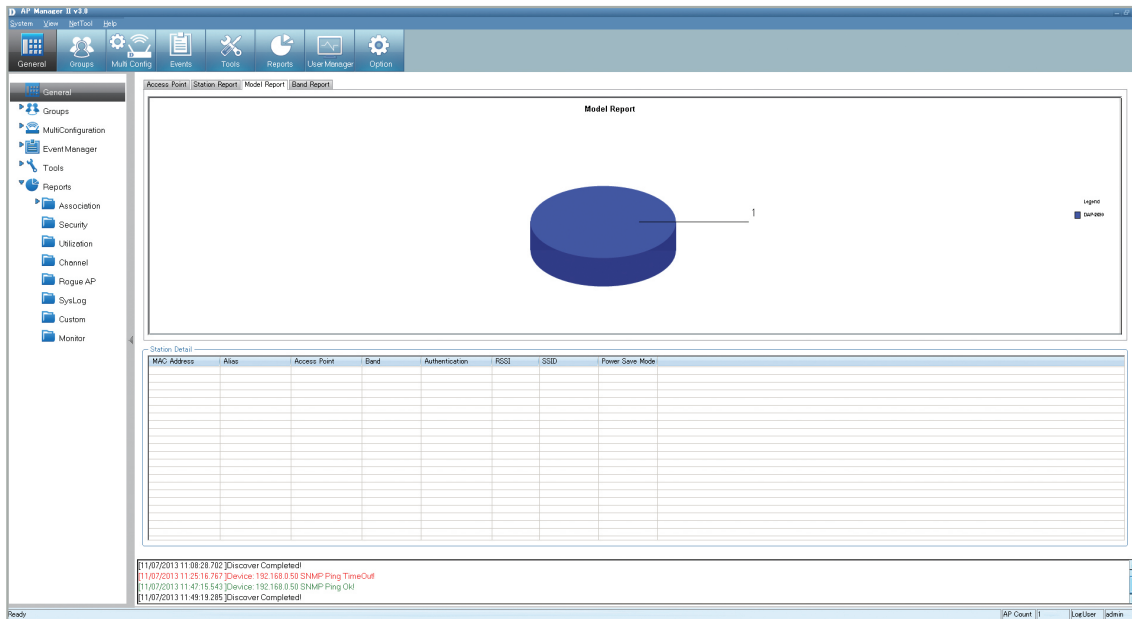


図 5-5 General > Model Report 画面

■ Band Report

現在 AP Manager II v3.0 が管理しているアクセスポイントが使用する WLAN 帯域（802.11a、802.11b/802.11g、および 802.11b/g/n）の分布を表示します。すべての帯域のアクセスポイント数を表示します。

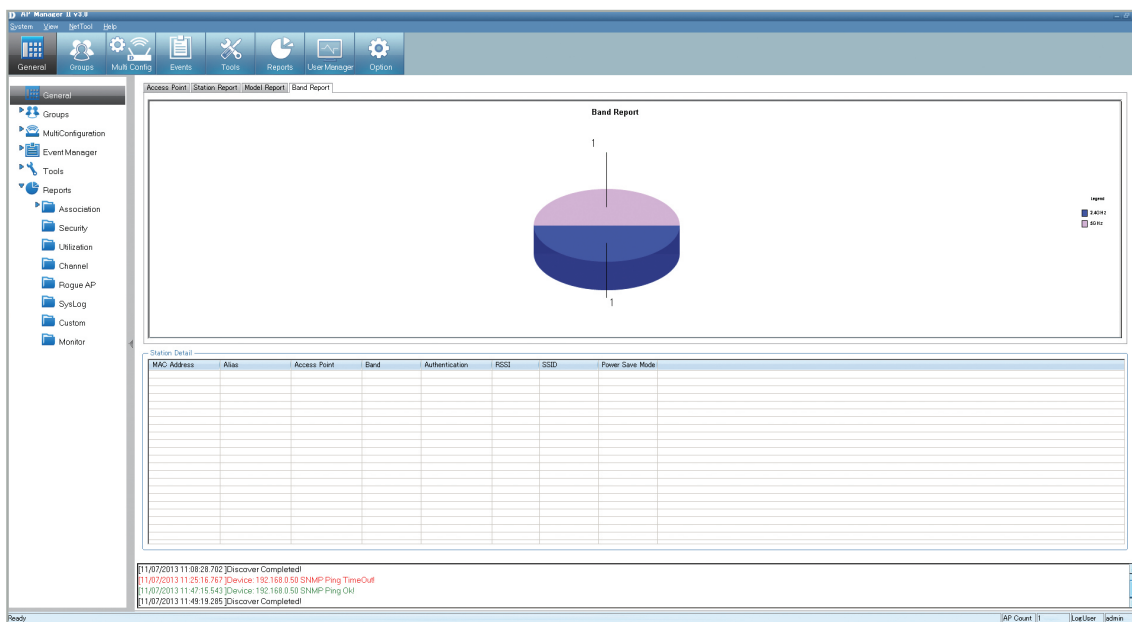


図 5-6 General > Band Report 画面

Group（管理アクセスポイントのグループ化）

Group 画面は、アイコンメニューの「Group」またはメインメニューの「Group」をクリックすると表示されます。本画面ではアクセスポイントの検出や設定を行うことができます。また、管理している複数のアクセスポイントをモデルまたはカテゴリごとに分類し、よりわかりやすく表示・管理することが可能です。

- Group 画面メインパネルについて
- Group > Delete Device（アクセスポイントの削除）
- Group > Configure（アクセスポイントの設定）
- Group > Model（モデル別表示）
- Group > Category（アクセスポイントのグループ化）

Group 画面メインパネルについて

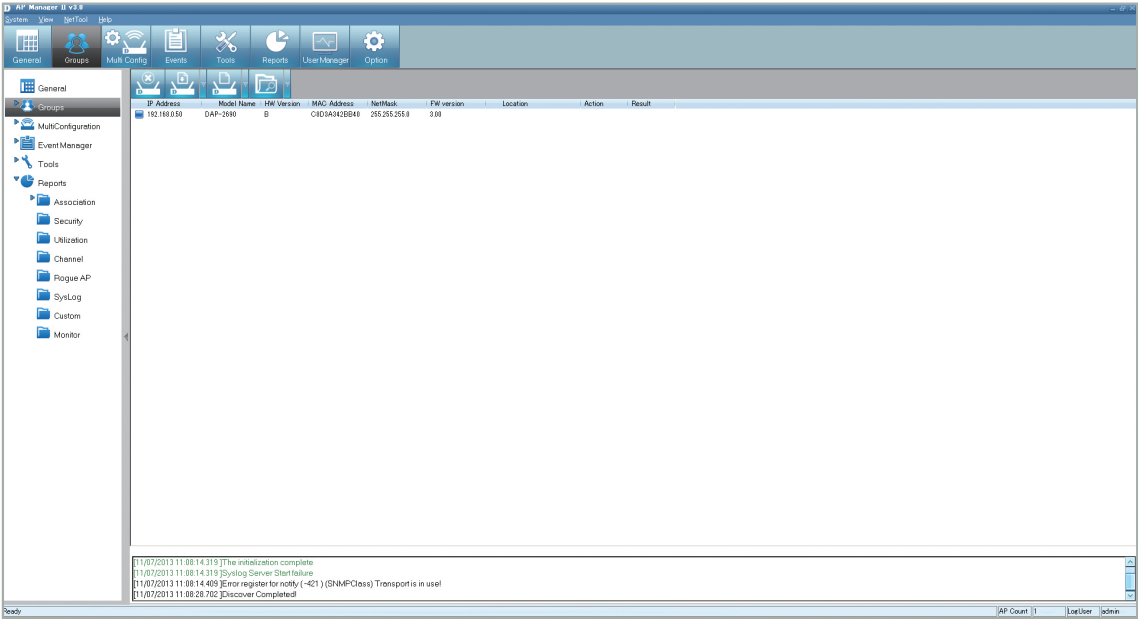


図 5-7 Group 画面

■ 表示される項目

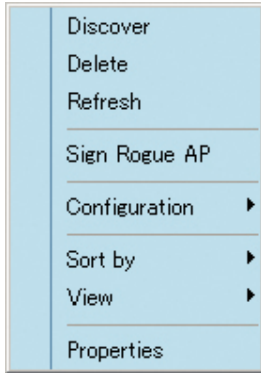
アイコンメニュー	
 (Delete Device)	アクセスポイントを選択後にアイコンをクリックすると、選択したアクセスポイントが削除されます。
 (Configure)	IP アドレスの変更やファームウェア更新など、アクセスポイントの設定を行います。 ▽をクリックすると設定メニューが表示されます。
 (View)	検出した IP アドレスの表示方法を選択します。 ▽をクリックすると設定メニューが表示されます。
 (Discover)	アイコンをクリックすると、アクセスポイントの検出を実行します。
メインメニュー	
 Model	アクセスポイントをモデルごとに表示します。
 Category 1 - 3	グループわけされたアクセスポイントを表示します。
ビュー画面	
IP Address	IP アドレスを表示します。
Model Name	モデル名を表示します。
HW Version	ハードウェアバージョンを表示します。
MAC Address	MAC アドレスを表示します。
NetMask	NetMask を表示します。
FW version	FW バージョンを表示します。
Location	場所を表示します。
Action	動作を表示します。
Result	動作結果を表示します。

■ ビュー画面に表示されるアクセスポイントのアイコン

	新しく検出されたアクセスポイントです。
	アクセスポイントには ping できませんが、IP を変更できます。
	管理されているアクセスポイントです。
	オフライン状態、または SNMP が無効になっています。
	不正なアクセスポイントです。

■ ビュー画面から表示される設定メニュー

ビュー画面で右クリックすると以下のメニューが表示されます。

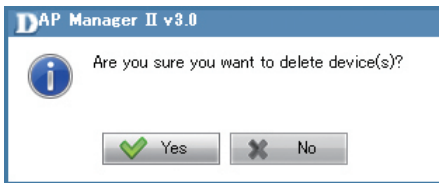


Discover	アクセスポイントを検出します。
Delete	アクセスポイントを削除します。
Refrsh	表示を更新します。
Sign Rogue AP	不正アクセスポイントとして設定します。
Configuration	IP アドレスの設定、ファームウェアアップデートなどの設定を行います。 詳細については Group > Configure (アクセスポイントの設定) を参照してください。
Sort by	「IP Address」「Type」「Location」「Model Name」でアクセスポイントをソートします。 ビュー画面の各タイトルをクリックしてソートすることもできます。
View	ビュー画面の表示方法を以下から選択します。 「Icon」「Small Icon」「List」「Report」「Show Active」「Show All」
Properties	プロパティを表示します。 プロパティ表示画面では Location を入力することができます。

✕モ Group 画面で表示されたアクセスポイントの行をダブルクリックすると、SNMP の有効／無効を設定できます。

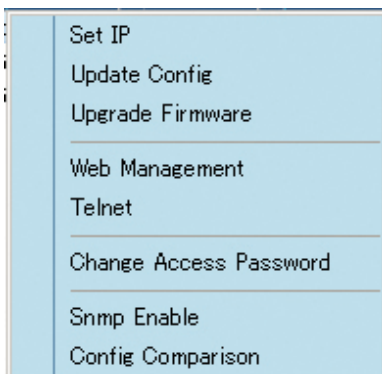
Group > Delete Device (アクセスポイントの削除)

1. 削除するアクセスポイントの行を選択します。
2.  アイコンをクリックします。
3. 確認画面が表示されるので「Yes」をクリックします。



Group > Configure (アクセスポイントの設定)

設定を行うアクセスポイントの行を選択したあと、 アイコンのマをクリックし、以下のメニューを表示します。



各項目の内容については以下のリンクを参照してください。

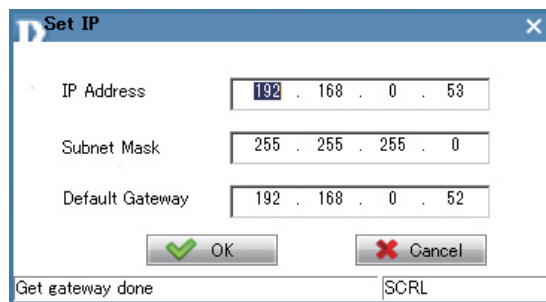
- [Set IP\(IP アドレスの設定\)](#)
- [Update Config \(コンフィグのアップデート\)](#)
- [Upgrade Firmware \(ファームウェアのアップグレード\)](#)
- [Web Management \(Web GUI 画面の表示\)](#)
- [Telnet \(Telnet 画面の表示\)](#)
- [Change Access Password \(ユーザ名とパスワードの変更\)](#)
- [SNMP Enable \(SNMP の有効化\)](#)
- [Config Comparison \(コンフィグレーションの比較\)](#)

✕モ ビュー画面を右クリック → 「Configure」を選択しても同じ項目が表示されます。

■ Set IP(IP アドレスの設定)

アクセスポイントの IP アドレスの設定ができます。

1. 「IP Address」「Subnet Mask」「Default Gateway」を入力し、「OK」をクリックします。



The 'Set IP' dialog box is shown with the following fields:

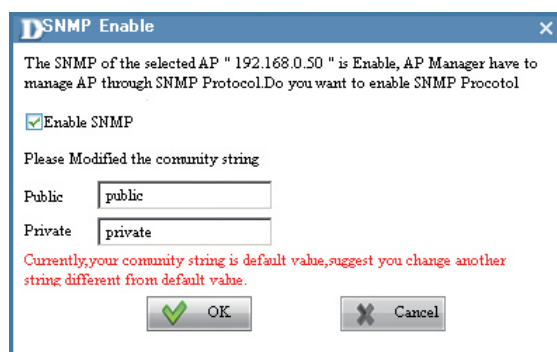
- IP Address: 192 . 168 . 0 . 53
- Subnet Mask: 255 . 255 . 255 . 0
- Default Gateway: 192 . 168 . 0 . 52

Buttons: OK (green checkmark), Cancel (red X). A status bar at the bottom says 'Get gateway done' and 'SCRL'.

■ Update Config (コンフィグのアップデート)

アクセスポイントの詳細設定および SNMP 設定の有効化ができます。

1. SNMP を有効にするには、「Enable SNMP」にチェックをいれ、「OK」をクリックします。

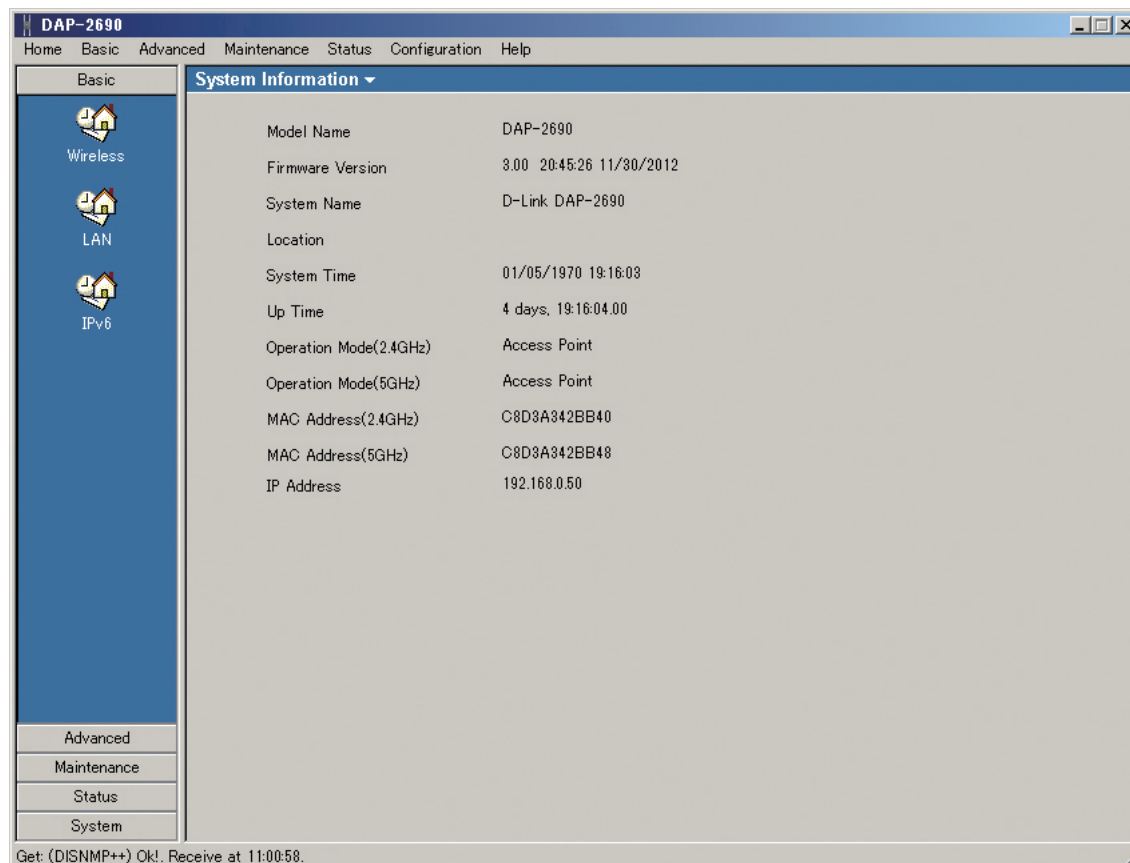


The 'DSNMP Enable' dialog box contains the following information:

- Message: "The SNMP of the selected AP " 192.168.0.50 " is Enable, AP Manager have to manage AP through SNMP Protocol.Do you want to enable SNMP Protocol"
- Checkbox: ☒ Enable SNMP
- Text: "Please Modified the community string"
- Public field: public
- Private field: private
- Warning text: "Currently,your community string is default value,suggest you change another string different from default value."

Buttons: OK (green checkmark), Cancel (red X).

2. 「Set check to open module」にチェックをいれた場合は、アクセスポイントの詳細設定画面が表示されます。



The 'DAP-2690' configuration screen is shown with the 'Basic' tab selected. The 'System Information' section displays the following details:

Model Name	DAP-2690
Firmware Version	3.00 20:45:26 11/30/2012
System Name	D-Link DAP-2690
Location	
System Time	01/05/1970 19:16:03
Up Time	4 days, 19:16:04.00
Operation Mode(2.4GHz)	Access Point
Operation Mode(5GHz)	Access Point
MAC Address(2.4GHz)	C8D3A342BB40
MAC Address(5GHz)	C8D3A342BB48
IP Address	192.168.0.50

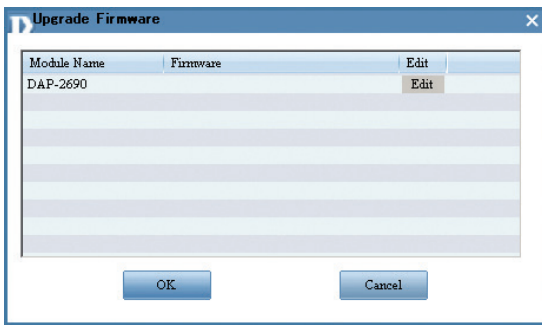
Navigation tabs: Home, Basic, Advanced, Maintenance, Status, Configuration, Help. Left sidebar: Wireless, LAN, IPv6, Advanced, Maintenance, Status, System. Bottom status bar: Get: (DISNMP++) Ok!. Receive at 11:00:58.

メモ アクセスポイントの詳細設定画面の詳細については、[第6章 アクセスポイントの設定](#)を参照してください。

■ Upgrade Firmware (ファームウェアのアップグレード)

アクセスポイントのファームウェアアップグレードを行います。

1. アップグレードを行うファームウェアの「Edit」をクリックします。



2. ファームウェアを選択し、「開く」ボタンをクリックします。
3. 「OK」をクリックし、アップグレードを実行します。

■ Web Management (Web GUI 画面の表示)

「Web Management」を選択すると、Web GUI 画面が表示されます。
ユーザ名とパスワードを入力してログインし、必要に応じて設定を行います。

■ Telnet (Telnet 画面の表示)

「Telnet」を選択すると、ご使用の PC のコマンドラインインタフェースがオープンし、アクセスポイントの IP アドレスが指定されます。
これによりアクセスポイントに実装されている Telnet CLI マネージャにアクセスすることができます。

最初に Telnet のコンソール画面が表示されます。
ユーザ名とパスワードを入力してログインし、必要に応じて設定を行います。

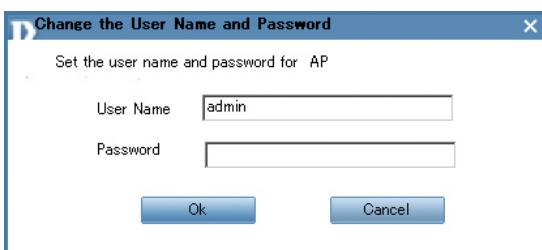
重要 本機能を使用するには、Telenet クライアントが PC にインストールされている必要があります。

重要 本機能は、Windows® 7 64bit の PC では使用できません。

■ Change Access Password (ユーザ名とパスワードの変更)

ユーザ名とパスワードの変更を行います。

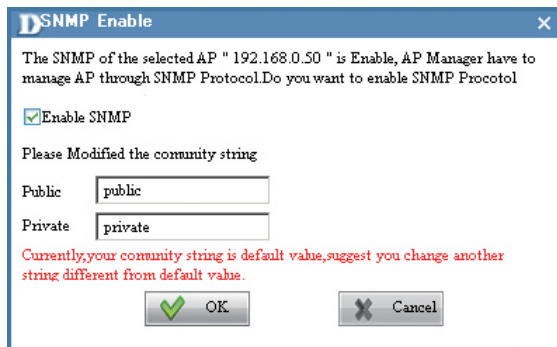
1. 「User Name」と「Password」を入力し、「Ok」をクリックします。



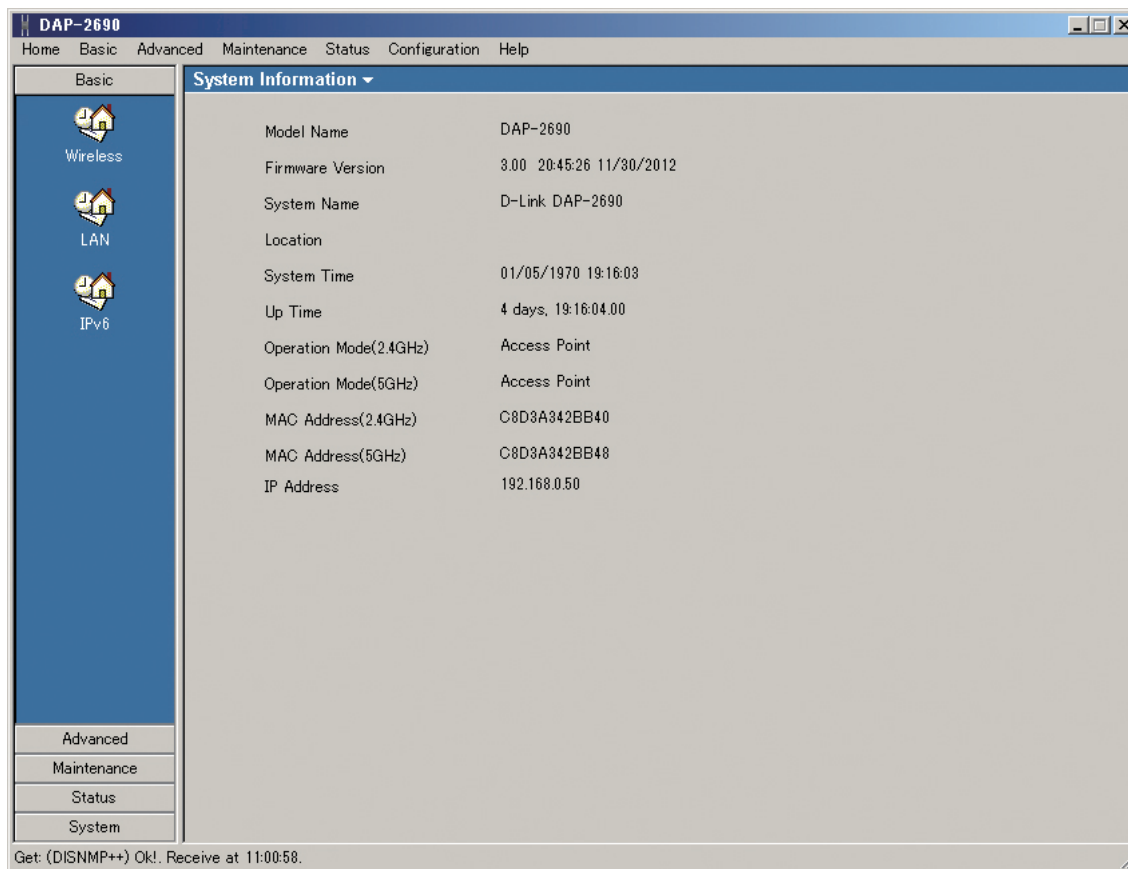
■ SNMP Enable (SNMPの有効化)

SNMPの有効化を行います。「Update Config」をクリックした場合と同じ画面が表示されます。

1. SNMPを有効にするには、「Enable SNMP」にチェックをいれ、「OK」をクリックします。
アクセスポイントの設定を行う場合は「Set check to open module」にチェックをいれ、「OK」をクリックします。



2. 「Set check to open module」にチェックをいれた場合は、アクセスポイントの詳細設定画面が表示されます。



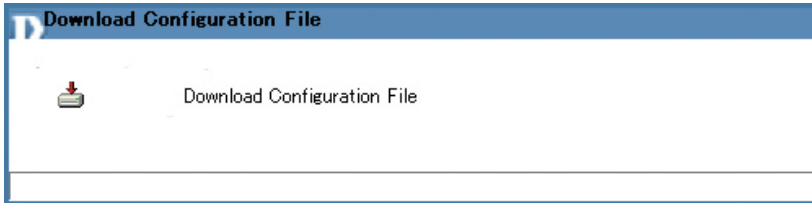
メモ アクセスポイントの詳細設定画面の詳細については、[第6章 アクセスポイントの設定](#)を参照してください。

■ Config Comparison (コンフィグレーションの比較)

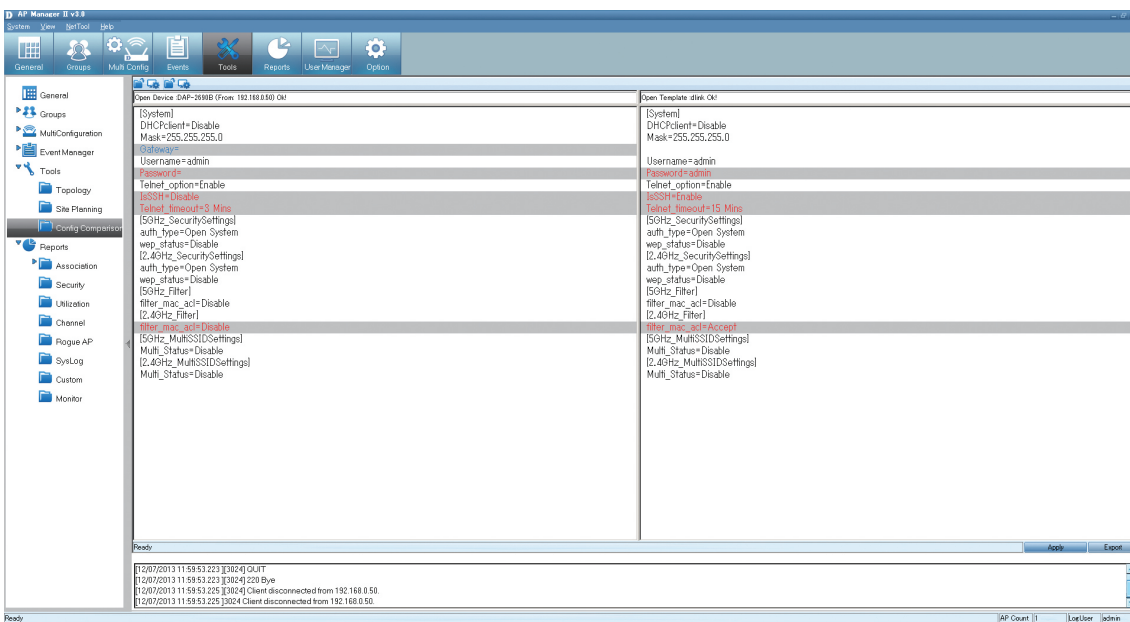
2つのアクセスポイントのコンフィグレーションを比較します。

メモ コンフィグレーションの比較は、メインメニューの「Tool」>「Config Comparison」からも行うことができます。
詳細は [Tool > Config Comparison \(コンフィグレーションの比較\)](#) を参照してください。

1. 比較を行うアクセスポイントの行を選択し、 アイコンの▽をクリック → 「Config Comparison」をクリックします。
2. コンフィグレーションのダウンロードと比較が行われます。



3. メインメニューの「Tool」>「Config Comparison」画面で比較結果が表示されます。



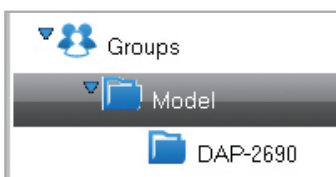
メモ 画面右下の「Export」から、XML形式で比較結果をダウンロードできます。

メモ 画面左上の アイコンからアクセスポイントを選択して、比較を行うこともできます。

Group > Model (モデル別表示)

アクセスポイントをモデル別に表示します。

1. メインメニューで Group > Model の▽をクリックし、フォルダを展開します。



2. 各フォルダをクリックすると、選択したモデルのみがビュー画面に表示されます。

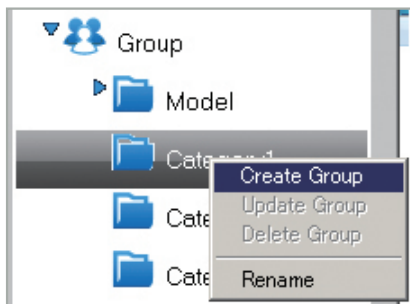
Group > Category (アクセスポイントのグループ化)

アクセスポイントをグループに分けて表示します。新しいグループを作ること可能です。

グループに登録したアクセスポイントは Managed AP として表示されます。

ここでは新しいグループを「Category 1」の配下に作成し、そのグループにアクセスポイントを配置する手順について説明します。

1. メインメニューで Group の▽をクリックし、「Category」フォルダを表示します。
2. グループを作成するカテゴリーを右クリックし、「Create Group」を選択します。



メモ 「Rename」をクリックすると、カテゴリー名を変更できます。

3. 以下の画面でグループの情報を入力します。

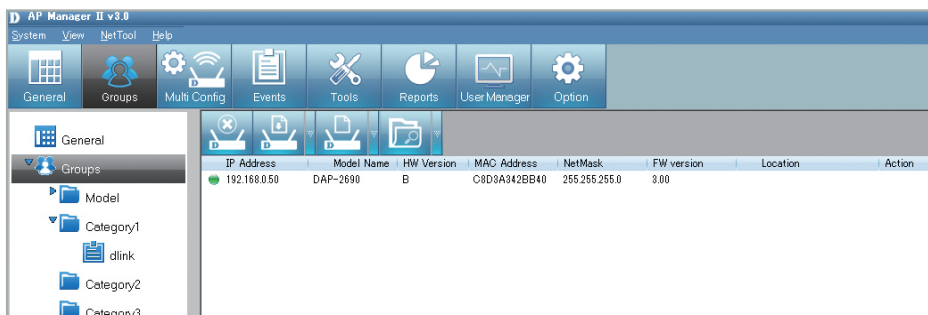
 A screenshot of the 'Create Group' dialog box. It has a title bar 'Create Group' and a close button. The dialog is divided into three sections: 'Basic Info', 'Remark', and 'Management member'.
 - 'Basic Info' contains fields for 'Group Name', 'Create Date' (set to 2013/07/12), and 'Create By' (set to admin).
 - 'Remark' is a large text area.
 - 'Management member' contains two lists: 'Available member' (with 'Everyone') and 'Selected member' (with 'Everyone'). There are '>>' and '<<' buttons between the lists.
 At the bottom are 'Ok' and 'Cancel' buttons.

「Group Name」：グループ名を入力します。

「Remark」：グループについての説明を入力します。

「Management member」：メンバーを選択します。

4. 「Ok」をクリックします。
5. アクセスポイントを作成したグループのフォルダにドラッグし、登録します。



メモ グループに登録されたアクセスポイントのアイコンは  (Managed AP) になります。

MultiConfiguration（マルチコンフィグレーション）

MultiConfiguration 画面は、アイコンメニューの「MultiConfig」またはメインメニューの「MultiConfiguration」をクリックすると表示されます。アクセスポイントの設定を保存したテンプレートを作成し、複数のアクセスポイントの設定を行うことができます。

[MultiConfiguration メイン画面について](#)

[Multi Configuration > Template（テンプレート設定）](#)

[Multi Configuration > Task Schedule（タスクのスケジュール設定）](#)

MultiConfiguration メイン画面について

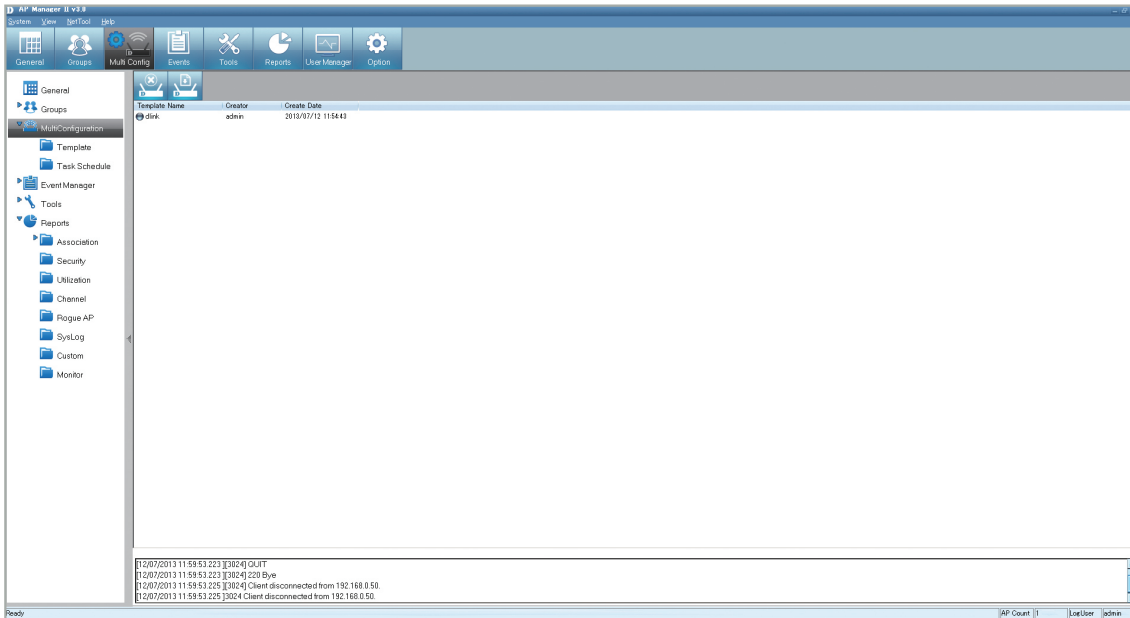


図 5-8 MultiConfiguration 画面

■ 表示される項目

アイコンメニュー	
	作成したテンプレートをインポートします。
	作成したテンプレートをエクスポートします。
メインメニュー	
Template	テンプレートの作成・編集・削除を行います。
Task Schedule	タスク（コンフィグ比較、ファームウェアアップグレード、テンプレートのアップロード）のスケジュール設定を行います。
ビュー画面	
Template Name	テンプレート名を表示します。
Creator	テンプレートの作成者を表示します。
Create Data	テンプレートの作成日を表示します。

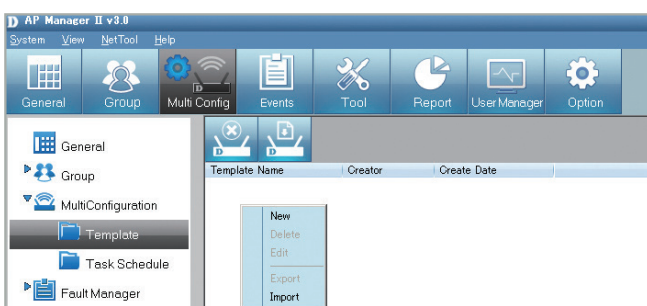
Multi Configuration > Template（テンプレート設定）

アクセスポイントの設定を保存したテンプレートを作成します。

テンプレートには、アクセスポイントの IP アドレスやセキュリティ設定、帯域設定などを含めることができます。

■ 新しいテンプレートの作成

1. MultiConfiguration > Template の順にメインメニューをクリック → ビュー画面を右クリックメニューし「New」を選択します。



2. 「Basic Info」と「Content Selection」の設定を行います。

D General

Basic Info

Name :

Creator :

Time :

Content Selection

☐ System

☐ Wireless 2.4GHz ☐ 5GHz ☐

☐ Security 2.4GHz ☐ 5GHz ☐

☐ Filter 2.4GHz ☐ 5GHz ☐

☐ Multi_SSID 2.4GHz ☐ 5GHz ☐

■ 表示される項目

Basic Info	「Name」にテンプレートの名称を入力します。
Content Selection	ボックスをチェックして、テンプレートに含めるコンフィグレーションを選択します。

3. 「Content Selection」での設定内容に応じて、テンプレートに含めるコンフィグレーションの内容を設定します。

● 「System」をチェックした場合：

「LAN Settings」「Admin」「Console Settings」の設定を行い、「Next」をクリックします。

D System

☐ **LAN Settings**

Get IP From :

Subnet Mask :

Default Gateway :

☐ **Admin**

User Name :

Password :

☐ **Console settings**

Status : ☒ Enable

Console Protocol : ☐ Telnet ☐ SSH

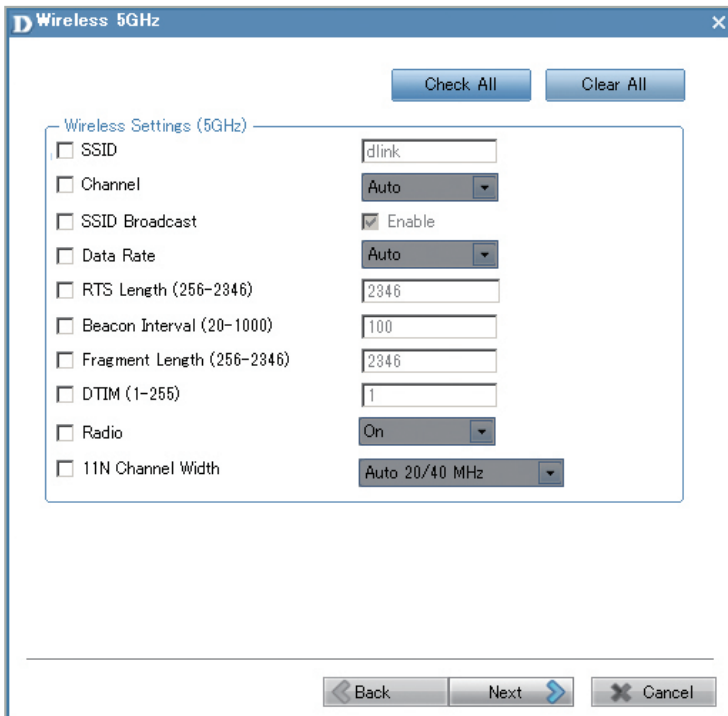
Timeout :

■ 表示される項目

LAN Settings	IP 情報を指定します。
Admin	ユーザ名とパスワードを指定します。
Console Settings	コンソール設定を行います。

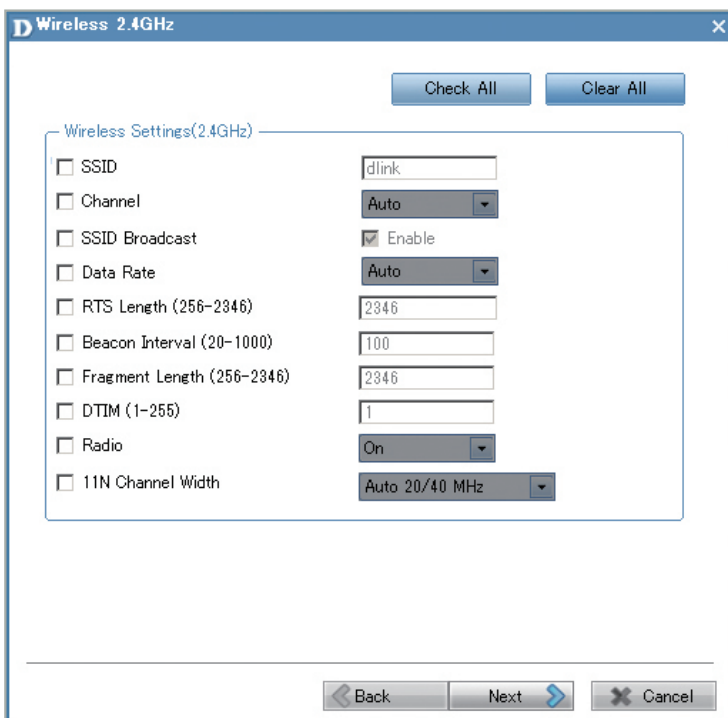
●「Wireless」をチェックした場合：

「Wireless 5GHz」「Wireless 2.4GHz」の設定を行い、「Next」をクリックします。



The 'Wireless 5GHz' settings window contains a 'Check All' button and a 'Clear All' button at the top right. Below them is a section titled 'Wireless Settings (5GHz)' with a list of settings, each preceded by an unchecked checkbox. The settings are: SSID (text field with 'dlink'), Channel (dropdown menu with 'Auto'), SSID Broadcast (checkbox checked, text 'Enable'), Data Rate (dropdown menu with 'Auto'), RTS Length (256-2346) (text field with '2346'), Beacon Interval (20-1000) (text field with '100'), Fragment Length (256-2346) (text field with '2346'), DTIM (1-255) (text field with '1'), Radio (dropdown menu with 'On'), and 11N Channel Width (dropdown menu with 'Auto 20/40 MHz'). At the bottom are 'Back', 'Next', and 'Cancel' buttons.

Setting	Value
SSID	dlink
Channel	Auto
SSID Broadcast	☒ Enable
Data Rate	Auto
RTS Length (256-2346)	2346
Beacon Interval (20-1000)	100
Fragment Length (256-2346)	2346
DTIM (1-255)	1
Radio	On
11N Channel Width	Auto 20/40 MHz

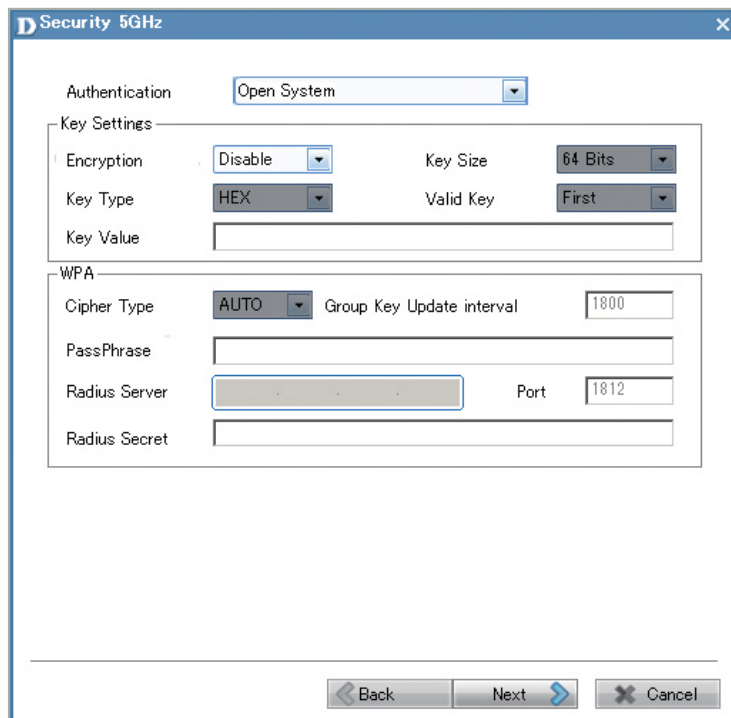


The 'Wireless 2.4GHz' settings window contains a 'Check All' button and a 'Clear All' button at the top right. Below them is a section titled 'Wireless Settings(2.4GHz)' with a list of settings, each preceded by an unchecked checkbox. The settings are: SSID (text field with 'dlink'), Channel (dropdown menu with 'Auto'), SSID Broadcast (checkbox checked, text 'Enable'), Data Rate (dropdown menu with 'Auto'), RTS Length (256-2346) (text field with '2346'), Beacon Interval (20-1000) (text field with '100'), Fragment Length (256-2346) (text field with '2346'), DTIM (1-255) (text field with '1'), Radio (dropdown menu with 'On'), and 11N Channel Width (dropdown menu with 'Auto 20/40 MHz'). At the bottom are 'Back', 'Next', and 'Cancel' buttons.

Setting	Value
SSID	dlink
Channel	Auto
SSID Broadcast	☒ Enable
Data Rate	Auto
RTS Length (256-2346)	2346
Beacon Interval (20-1000)	100
Fragment Length (256-2346)	2346
DTIM (1-255)	1
Radio	On
11N Channel Width	Auto 20/40 MHz

●「Security」をチェックした場合：

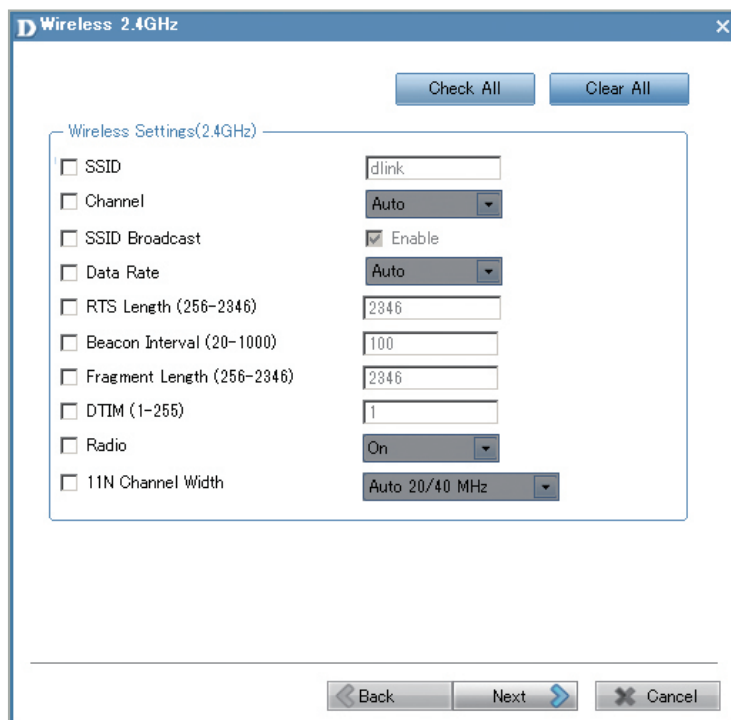
「Security 5GHz」「Security 2.4GHz」の設定を行い、「Next」をクリックします。



The 'Security 5GHz' window contains the following settings:

- Authentication: Open System
- Key Settings:
 - Encryption: Disable
 - Key Size: 64 Bits
 - Key Type: HEX
 - Valid Key: First
 - Key Value: (empty text field)
- WPA:
 - Cipher Type: AUTO
 - Group Key Update interval: 1800
 - PassPhrase: (empty text field)
 - Radius Server: (empty text field)
 - Port: 1812
 - Radius Secret: (empty text field)

Navigation buttons at the bottom: Back, Next, Cancel.



The 'Wireless 2.4GHz' window contains the following settings:

- Buttons: Check All, Clear All
- Wireless Settings(2.4GHz):
 - SSID: dlink
 - Channel: Auto
 - SSID Broadcast: Enable
 - Data Rate: Auto
 - RTS Length (256-2346): 2346
 - Beacon Interval (20-1000): 100
 - Fragment Length (256-2346): 2346
 - DTIM (1-255): 1
 - Radio: On
 - 11N Channel Width: Auto 20/40 MHz

Navigation buttons at the bottom: Back, Next, Cancel.

●「Filter」をチェックした場合：

「Filter 5GHz」「Filter 2.4GHz」の設定を行い、「Next」をクリックします。

The screenshot shows the 'Filter 5GHz' configuration window. It has a title bar with a blue icon and the text 'Filter 5GHz'. Inside, there is a section titled 'IEEE802.11a Wireless MAC ACL Setting'. Below this, there is a label 'Access Control' followed by a dropdown menu set to 'Disable'. Below that is a label 'MAC Address' followed by an empty text input field and a 'Save' button. A large empty rectangular box is below the input field, with a 'Del' button at its bottom right corner. At the bottom of the window, there are three buttons: 'Back' with a left arrow, 'Next' with a right arrow, and 'Cancel' with an 'X' icon.

The screenshot shows the 'Filter 2.4GHz' configuration window. It has a title bar with a blue icon and the text 'Filter 2.4GHz'. Inside, there is a section titled 'IEEE802.11g Wireless MAC ACL Setting'. Below this, there is a label 'Access Control' followed by a dropdown menu set to 'Disable'. Below that is a label 'MAC Address' followed by an empty text input field and a 'Save' button. A large empty rectangular box is below the input field, with a 'Del' button at its bottom right corner. At the bottom of the window, there are three buttons: 'Back' with a left arrow, 'Next' with a right arrow, and 'Cancel' with an 'X' icon.

● 「Multi_SSID」をチェックした場合：

「Multi-SSID 5GHz」「Multi-SSID 2.4GHz」の設定を行い、「Next」をクリックします。

D Multi-SSID 5GHz

☐ Enable Multi-SSID

Wireless Settings

Index: SSID1
SSID: dlink1
SSID Visibility: Enable
WMM (Wi-Fi Multimedia): Disable
Security: Open System

Key Settings

Encryption: Disable Key Size: 64 Bits
Key Type: HEX Key Index: First
Key Value:

Index	SSID	Encryption

Add
Delete

Back Next Cancel

D Wireless 2.4GHz

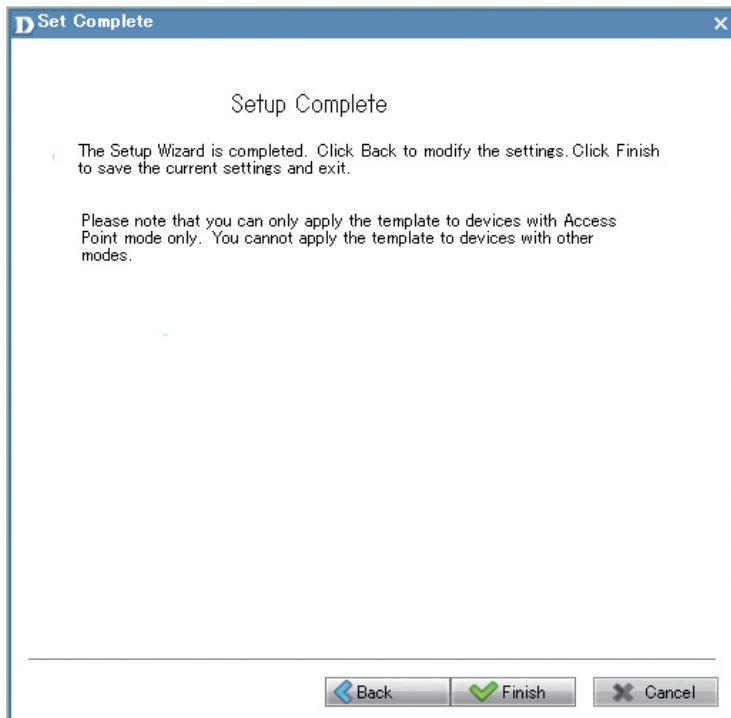
Check All Clear All

Wireless Settings(2.4GHz)

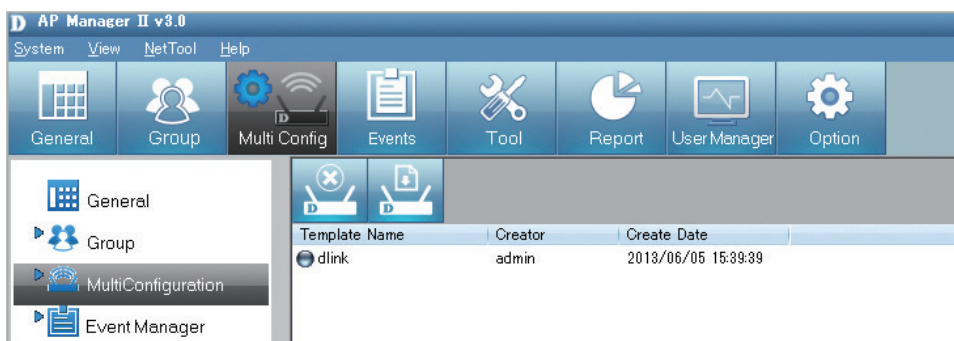
☐ SSID: dlink
☐ Channel: Auto
☐ SSID Broadcast: ☒ Enable
☐ Data Rate: Auto
☐ RTS Length (256-2346): 2346
☐ Beacon Interval (20-1000): 100
☐ Fragment Length (256-2346): 2346
☐ DTIM (1-255): 1
☐ Radio: On
☐ 11N Channel Width: Auto 20/40 MHz

Back Next Cancel

4. 設定完了画面で「Finish」をクリックします。



5. 作成したテンプレートが以下のように表示されます。



■ テンプレートの編集

作成したテンプレートを編集する手順について説明します。

1. テンプレートをダブルクリックするか、テンプレートを右クリックしてプルダウンメニューから「Edit」を選択します。
2. 以下の画面の各タブで、テンプレートを編集します。

The screenshot shows a window titled "D Update". It has several tabs at the top: "Security 2.4GHz", "Filter 5GHz", "Filter 2.4GHz", "Multi-SSID 5GHz", "Multi-SSID 2.4GHz", "General", "System", "Wireless 5GHz", "Wireless 2.4GHz", and "Security 5GHz". The "General" tab is selected. Inside the window, there are two main sections. The first is "Basic Info" with three input fields: "Name" (containing "dlink"), "Creator" (containing "admin"), and "Time" (a date picker showing "2013/06/05"). The second section is "Content Selection" with a list of items, each with a checked checkbox and two sub-checkboxes for "2.4GHz" and "5GHz": "System", "Wireless", "Security", "Filter", and "Multi_SSID". At the bottom right of the window are "Ok" and "Cancel" buttons.

3. 「OK」をクリックし、編集内容を保存します。

■ テンプレートの削除

作成したテンプレートを削除する手順について説明します。

1. テンプレートを右クリックし、プルダウンメニューから「Delete」を選択します。
2. 確認画面が表示されるので、「Yes」をクリックします。

■ テンプレートのインポート

作成したテンプレートをインポートする手順について説明します。

1. ビュー画面を右クリックし、プルダウンメニューから「Import」を選択します。
2. インポートするファイルを選択し、「開く」をクリックします。

 インポートは、 アイコンをクリックしても同様に行うことができます。

■ テンプレートのエクスポート

作成したテンプレートをエクスポートする手順について説明します。

1. テンプレートを右クリックし、プルダウンメニューから「Export」を選択します。
2. ファイル名を入力し、任意の場所にテンプレートを保存します。

 インポートは、 アイコンをクリックしても同様に行うことができます。

Multi Configuration > Task Schedule (タスクのスケジュール設定)

デバイスのコンフィグ比較・ファームウェア更新・テンプレートのアップロードを、スケジュール設定して行うことができます。コンフィグ比較とテンプレートのアップロードを行う場合は、事前にテンプレートを登録しておく必要があります。

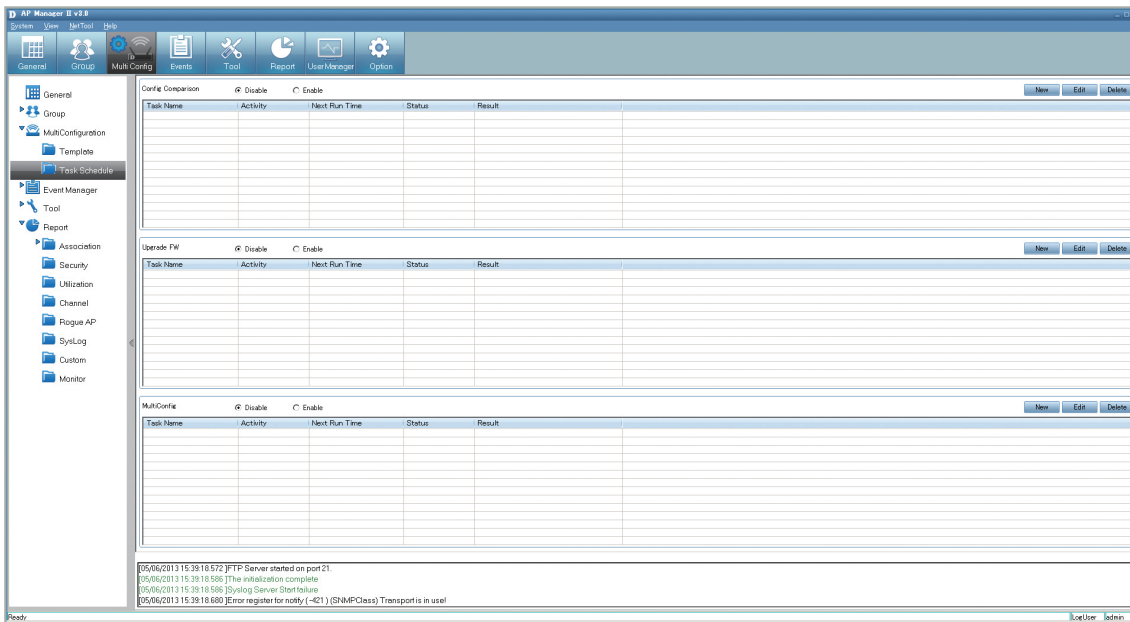
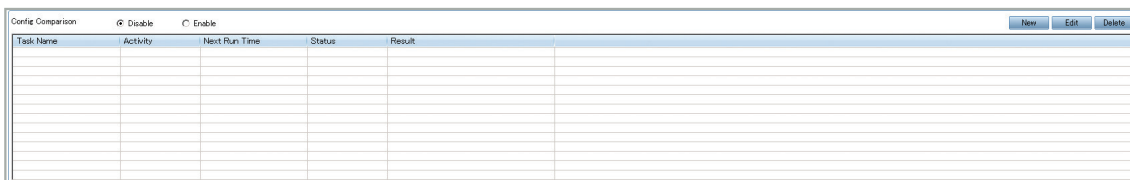


図 5-9 MultiConfiguration > Task Schedule 画面

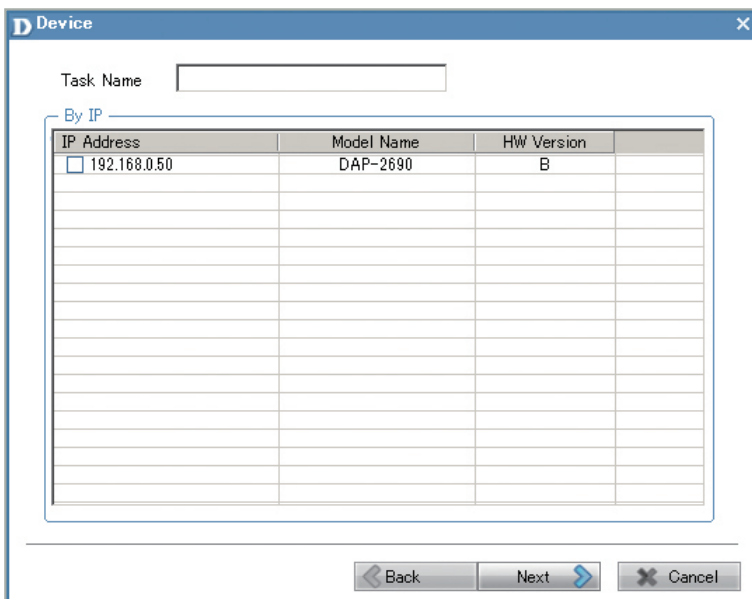
■ Config Comparison (コンフィグの比較)

アクセスポイントのコンフィグと、テンプレートのコンフィグの比較を行います。比較を実行する日時を指定することができます。

1. 「Config Comparison」欄の「New」をクリックします。



2. 「Task Name」にタスク名を入力し、比較を行う IP アドレスをチェック → 「Next」をクリックします。



■ Upgrade FW (ファームウェアのアップグレード)

指定した日時にファームウェアをアップグレードすることができます。

1. 「Upgrade FW」 欄の「New」をクリックします。

[illegible]

2. 「Task Name」にタスク名を入力し、「By IP」欄または「By Group」欄で IP アドレスをチェック → 「Next」をクリックします。

Device

Task Name

☒ By Group
☐ By IP

By Group

Group Name	Sort	HW Version	
☐ DAP-2690	Model		
☐ DAP-2690	Model	B	

By IP

IP Address	Model Name	HW Version	
☐ 192.168.0.50	DAP-2690	B	

Back

Next

Cancel

3. 「Browse」をクリックします。

Module No.	HW Version	Version	Firmware File	Browse
DAP-2690				Browse
DAP-2690	B			Browse

4. 「Local」または「Remote」を選択して情報を入力 → OK をクリックします。



Firmware Version Set

☒ Local

Local

Module Name: DAP-2690 HW Version: 1.00

Firmware File Path: [Browse](#)

☒ OK ☐ Cancel

- 「Local」 :

「Browse」をクリックし、更新するファームウェアファイルを選択します。

5. 「Next」をクリックします。

D Firmware File Setting

Module No.	HW Version	Version	Firmware File	Browse
DAP-2690				Browse
DAP-2690	B	v3.00rc0...	C:\dap2690b_v3.00_d69e_b08_rc...	Browse

6. タスクのスケジュールを選択し、「Finish」をクリックします。

Schedule [X]

☒ Run
☐ Save
☐ Specify Time
☐ Specify Day

☐ Monday ☐ Tuesday ☐ Wednesday ☐ Thursday
☐ Friday ☐ Saturday ☐ Sunday

Date: 2013/06/05

Time: 18:53:11

◀ Back ✔ Finish ✕ Cancel

「Run」：タスクを実行します。

「Save」：タスクを保存します。

「Specify Time」：タスクを実行する曜日と時刻を指定します。

「Specify Day」：タスクを実行する日を指定します。

7. 登録したタスクは以下のように表示されます。

[illegible]

「Result」欄のリンクをクリックすると、結果を確認できます。

メモ タスクの実行中は、「Status」欄に進行状況が表示されます。

✕ 「Edit」をクリックすると登録したタスクを編集できます。
「Delete」をクリックするとタスクが削除されます。

■ MultiConfig (マルチコンフィグレーション)

事前に作成したテンプレートを、指定した時間にアクセスポイントへアップロードすることができます。

1. 「MultiConfig」欄の「New」をクリックします。

[illegible]

2. 「Task Name」にタスク名を入力し、「By IP」欄または「By Group」欄で IP アドレスをチェック → 「Next」をクリックします。

Device

Task Name

☒ By Group
 ☐ By IP

By Group

Group Name	Sort	HW Version	
☐ DAP-2690	Model		
☐ DAP-2690	Model	B	

By IP

IP Address	Model Name	HW Version	
☐ 192.168.0.50	DAP-2690	B	

Back

Next

Cancel

3. テンプレートを選択し、「Next」をクリックします。

[illegible]

4. タスクのスケジュールを選択し、「Finish」をクリックします。

Schedule [X]

☒ Run
☐ Save
☐ Specify Time
☐ Specify Day

☐ Monday ☐ Tuesday ☐ Wednesday ☐ Thursday
☐ Friday ☐ Saturday ☐ Sunday

Date:

Time:

[Back] [Finish] [Cancel]

「Run」：タスクを実行します。

「Save」：タスクを保存します。

「Specify Time」：タスクを実行する曜日と時刻を指定します。

「Specify Day」：タスクを実行する日を指定します。

5. 登録したタスクは以下のように表示されます。

[illegible]

「Result」欄のリンクをクリックすると、比較結果を確認できます。

メモ タスクの実行中は、「Status」欄に進行状況が表示されます。

✕ 「Edit」をクリックすると登録したタスクを編集できます。
「Delete」をクリックするとタスクが削除されます。

Event Manager（障害管理）

Event Manager 画面は、アイコンメニューの「Event」またはメインメニューの「Event Manager」をクリックすると表示されます。
アクセスポイントから受信したトラップデータとポーリングしたデータを表示します。

- Event Manager 画面メインパネルについて
- Event Manager > Sign Unread（イベントを未読状態にする）
- Event Manager > Delete Event（イベントを削除する）
- Event Manager > Event Search（イベントを検索する）
- Event Manager > Event Export（イベントのエクスポートする）
- Event Manager > Event Notice（イベントを通知する）
- Event Manager > Create Watchlist（ウォッチリストの設定）

Event Manager 画面メインパネルについて

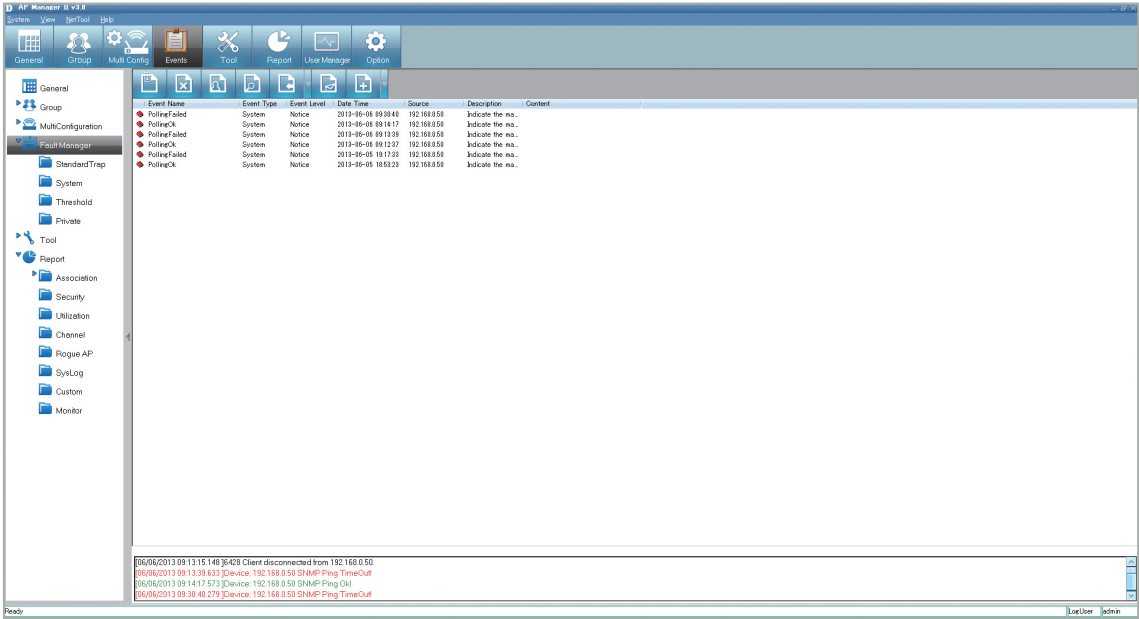


図 5-10 Event Manager 画面

■ 表示される項目

アイコンメニュー	
 (Sign Unread)	イベントを未読の状態にします。
 (Delete Event)	イベントを削除します。
 (Event Settings)	イベントの設定を行います。
 (Event Search)	イベントを検索します。
 (Event Export)	イベントをエクスポートします。
 (Notice setting)	通知の設定を行います。
 (Create WatchList)	ウォッチリストの作成・編集・削除を行います。
メインメニュー	
 Standard Trap	アクセスポイントから受信した標準のトラップデータを表示します。
 System	ポーリング結果を表示します。
 Threshold	しきい値通知データを表示します。
 Private	アクセスポイントから受信したプライベートトラップのデータを表示します。
ビュー画面	
Event Name	イベント名を表示します。
Event Type	イベントタイプを表示します。
Event Level	イベントレベルを表示します。
Date Time	イベントの発生した日時を表示します。
Source	IP アドレスを表示します。
Description	イベントの内容を表示します。
Content	動作を表示します。

Event Manager > Sign Unread（イベントを未読状態にする）

ビュー画面に表示されたイベントの行をダブルクリックするとイベントの詳細が表示され、イベントのアイコンが （未読）から （既読）に変更されます。既読になったイベントを未読状態に戻す手順について説明します。

1. （既読）になっているイベントの行を選択します。
2. アイコンメニューの「Sign Unread」をクリックします。

Event Manager > Delete Event（イベントを削除する）

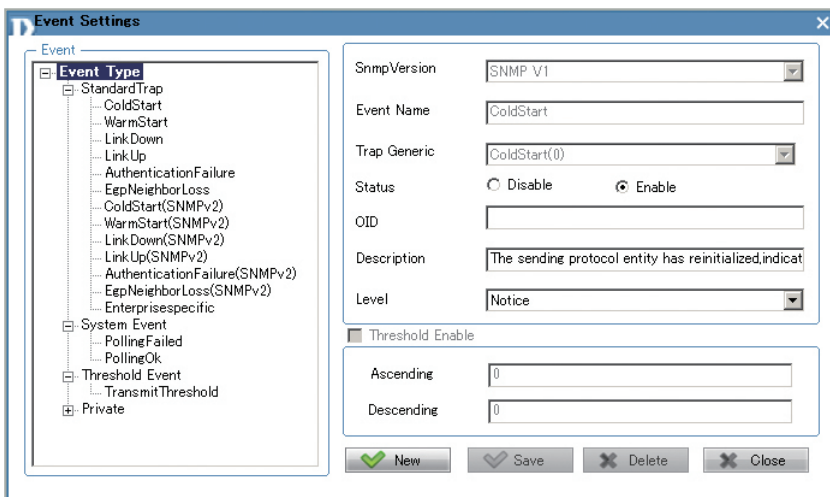
イベントを削除します。

1. 削除するイベントの行を選択します。
2.  をクリックします。
3. 確認画面が表示されるので、「Yes」をクリックします。

Event Manager > Event Settings（イベントを設定する）

イベントの編集・新規作成・削除を行います。

1.  をクリックします。
2. 以下の画面で編集・新規作成・削除を行います。



イベントのタイプは以下の4つです。

「Standard Trap」「System Event」「Threshold Event」「Private」

メインメニューの各フォルダ () をクリックすると、タイプごとにイベントを表示することができます。

● 編集を行う場合：

「Event」欄で編集するイベントを選択して設定を変更 → 「Save」をクリックします。

● 新規作成を行う場合：

「New」をクリックしてイベントを設定 → 「Save」をクリックします。

● 削除を行う場合：

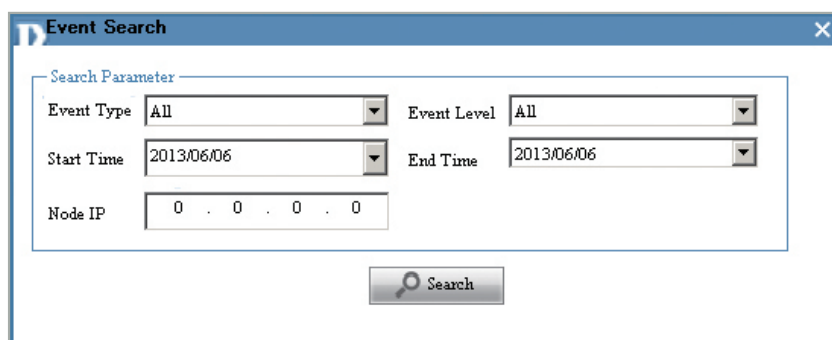
「Event」欄で削除するイベントを選択 → 「Delete」をクリックします。

 「Edit」をクリックすると登録したタスクを編集できます。
 「Delete」をクリックするとタスクが削除されます。

Event Manager > Event Search (イベントを検索する)

検索条件を設定してイベントを検索します。

1.  をクリックします。
2. 以下の画面で検索条件を設定します。



The image shows a screenshot of the 'Event Search' dialog box. It has a title bar with a close button. Below the title bar is a section labeled 'Search Parameter'. Inside this section, there are four dropdown menus: 'Event Type' (set to 'All'), 'Event Level' (set to 'All'), 'Start Time' (set to '2013/06/06'), and 'End Time' (set to '2013/06/06'). Below these is a text field for 'Node IP' containing '0 . 0 . 0 . 0'. At the bottom of the dialog is a 'Search' button with a magnifying glass icon.

3. 「Search」 をクリックします。

Event Manager > Event Export (イベントのエクスポートする)

イベントをエクスポートする方法について説明します。

1.  の▽をクリックします。
2. ドロップダウンリストから、エクスポート時のファイル形式として「Text」「Excel」「PDF」のいずれかを選択します。
3. ファイルの保存場所とファイル名を指定して保存します。

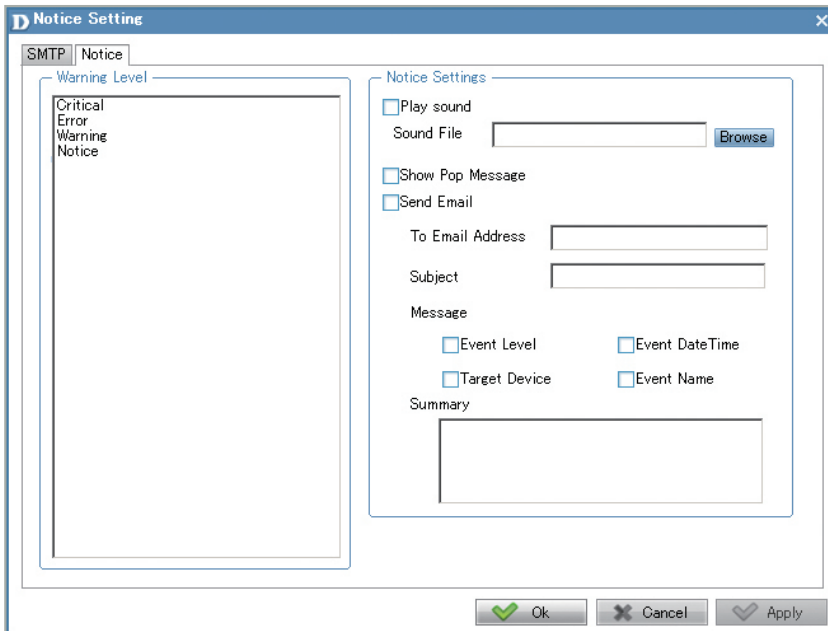
Event Manager > Event Notice (イベントを通知する)

イベントが発生したときの通知条件を設定します。

1.  をクリックします。
2. 以下の画面で検索条件を設定します。

● Notice タブ

「Warning Level」でイベントのレベルを選択し、「Notice Settings」で通知方法を選択します。



The 'Notice Setting' dialog box has two tabs: 'SMTP' and 'Notice'. The 'Notice' tab is active. It contains a 'Warning Level' list on the left with options: Critical, Error, Warning, and Notice. On the right, the 'Notice Settings' section includes checkboxes for 'Play sound', 'Show Pop Message', and 'Send Email'. Below these are input fields for 'Sound File' (with a 'Browse' button), 'To Email Address', 'Subject', and 'Message'. There are also checkboxes for 'Event Level', 'Event DateTime', 'Target Device', and 'Event Name'. A 'Summary' text area is at the bottom. At the very bottom are 'Ok', 'Cancel', and 'Apply' buttons.

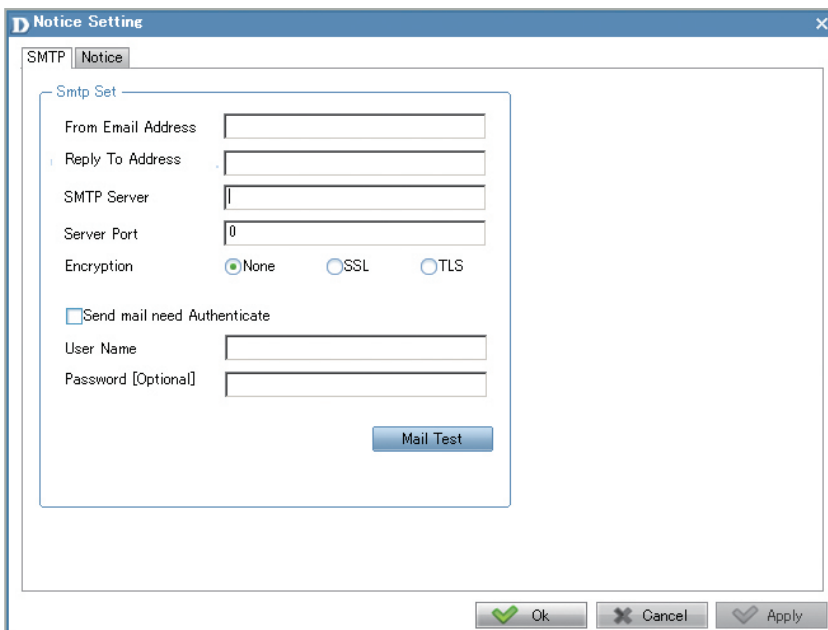
「Play sound」：イベントが発生した場合に音声で通知します。「Browse」ボタンをクリックして、音声ファイルを選択します。

「Show Pop Message」：メッセージ画面のポップアップで通知します。

「Send E-Mail」：E-Mail を送信して通知します。

● SMTP タブ

通知に使用する E-Mail の情報を入力します。



The 'Notice Setting' dialog box has the 'SMTP' tab active. It contains a 'Smtp Set' section with input fields for 'From Email Address', 'Reply To Address', 'SMTP Server', and 'Server Port'. There are radio buttons for 'Encryption' with options: None (selected), SSL, and TLS. Below these are checkboxes for 'Send mail need Authenticate', 'User Name', and 'Password [Optional]'. A 'Mail Test' button is at the bottom right of the input fields. At the very bottom are 'Ok', 'Cancel', and 'Apply' buttons.

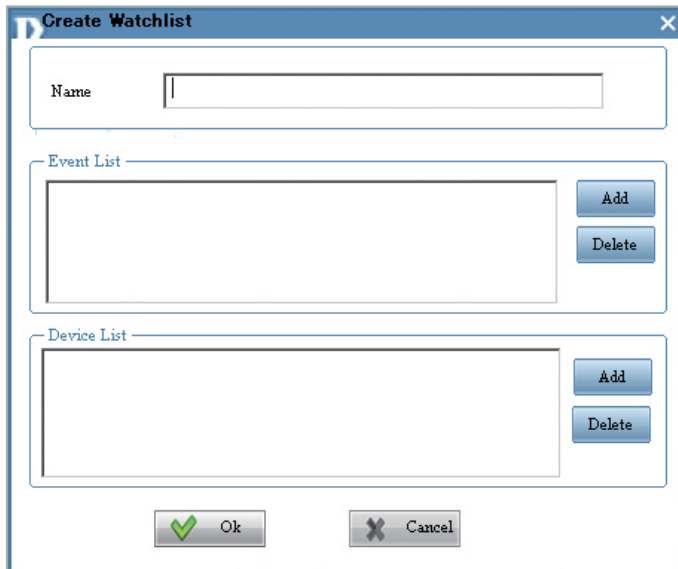
 「Apply」をクリックすると設定内容が保存されます。

3. 「Ok」をクリックし、設定を完了します。

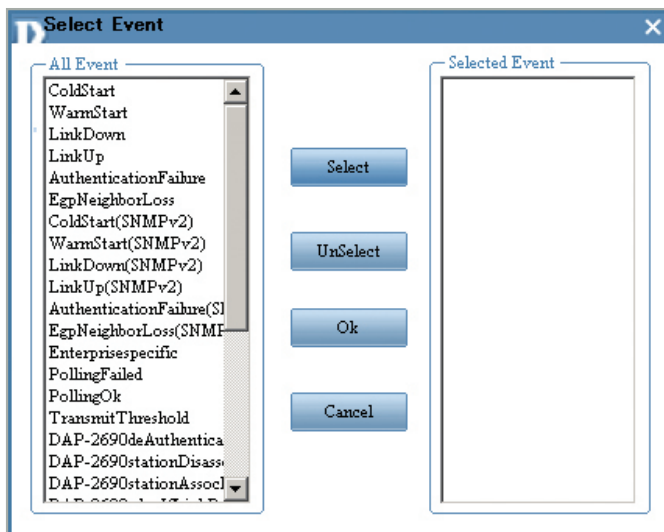
Event Manager > Create Watchlist (ウォッチリストの設定)

ウォッチリストを使用すると、特定のデバイスとイベントのみを表示することができます。

1.  の▽をクリックします。
2. ドロップダウンリストで「Create Watchlist」をクリックします。
3. 「Event List」欄の「Add」をクリックし、ウォッチリストに含めるイベントを選択します。



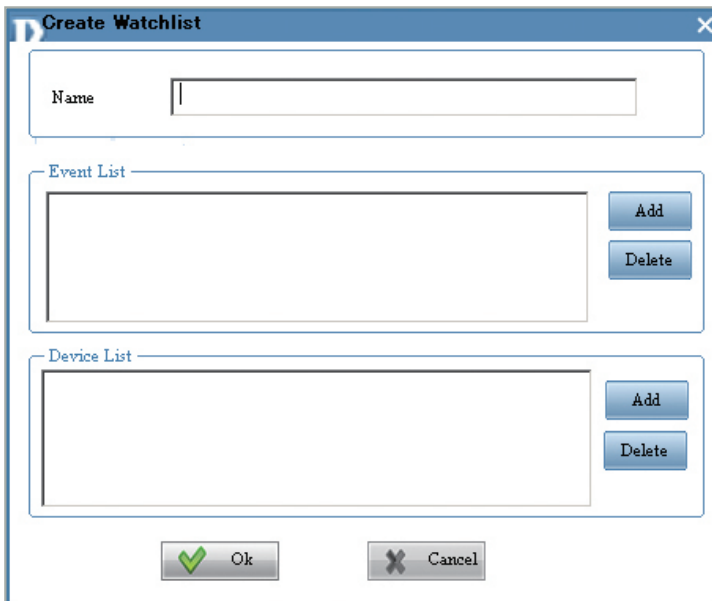
■ 「Add」クリック後の画面



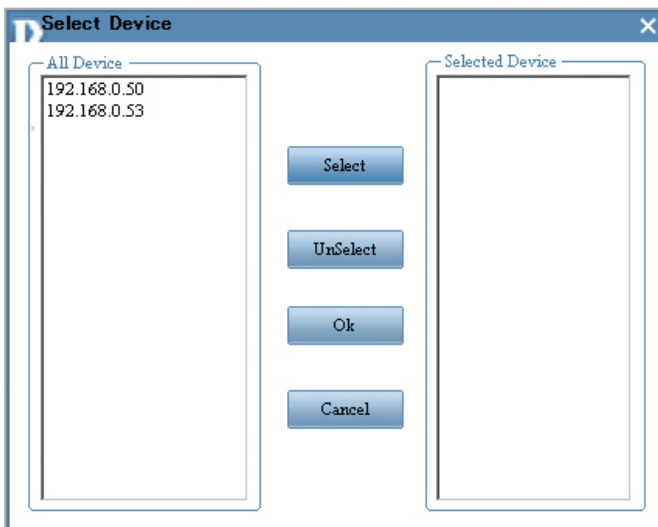
「All Event」欄からイベントを選択して「Select」をクリックすると、「Selected Event」欄にイベントが表示されます。
「Selected Event」欄から削除する場合は、「UnSelect」をクリックします。

4. 「Ok」をクリックし、Create Watchlist 画面に戻ります。

5. 「Model List」欄の「Add」をクリックし、ウォッチリストに含めるアクセスポイントのモデルを選択します。

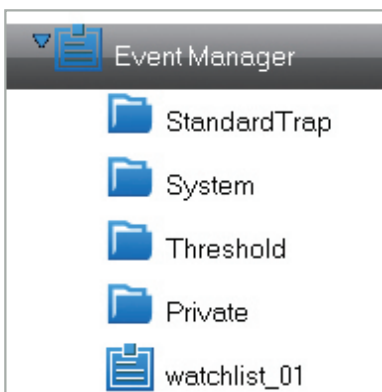


■ 「Add」クリック後の画面



「All Device」欄からデバイスのIPアドレスを選択して「Select」をクリックすると、「Selected Device」欄にデバイスが表示されます。「Selected Device」欄から削除する場合は、「UnSelect」をクリックします。

6. 「Ok」をクリックし、Create Watchlist 画面に戻ります。
 7. Create Watchlist 画面の「Ok」をクリックし、作成を完了します。
 8. 作成したウォッチリストはメインメニューの「Event Manger」配下に表示されます。



の ▽ → 「Update WatchList」「Delete Watchlist」で作成したウォッチリストの編集・削除を行うことができます。

Tool（ツール）

ネットワークを図で表示するトポロジマップの作成やアクセスポイントの配置計画の作成、アクセスポイントのコンフィグ比較を行うことができます。

- Tool > Topology（トポロジ設定）
- Tool > Site Planning（配置計画）
- Tool > Config Comparioson（コンフィグレーションの比較）

Tool > Topology（トポロジ設定）

ネットワークを図で表示するトポロジマップを作成することができます。トポロジマップを表示すると、AP Manager II v3.0 はネットワークに接続されているデバイスを検索し、マップ上にアイコンで表示します。背景やアイコンを変更し、図をカスタムすることも可能です。

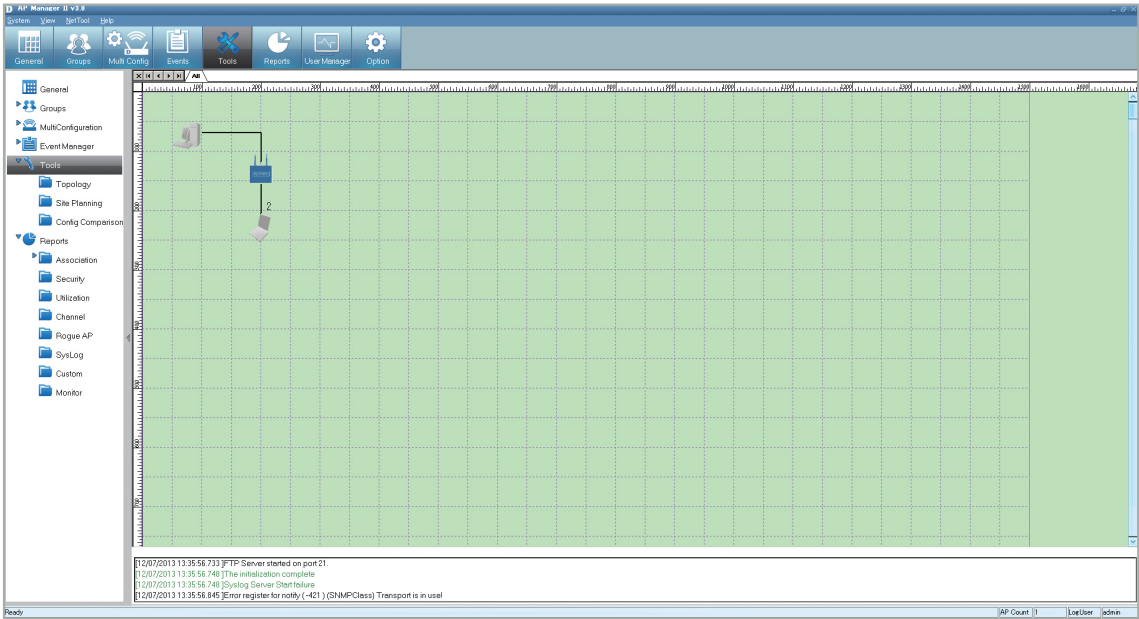
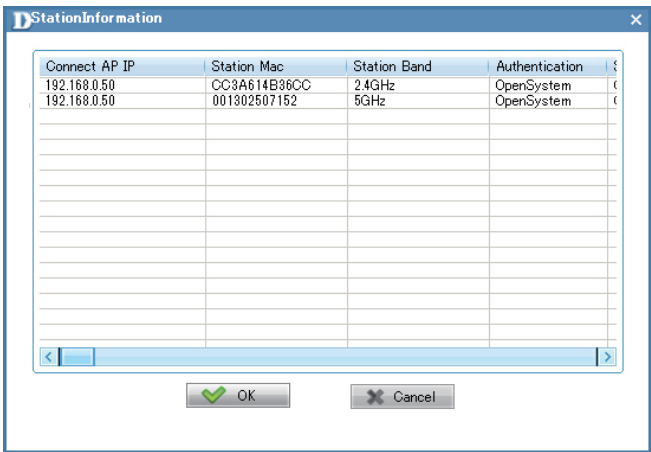


図 5-11 Tool > Topology 画面

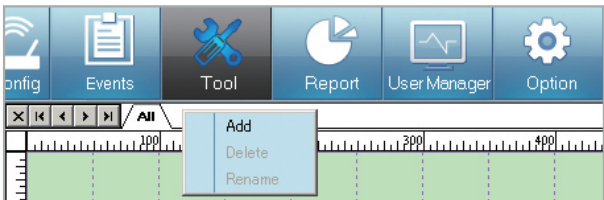
メモ アクセスポイントに接続しているステーションのアイコンをダブルクリックすると、以下の画面で情報を確認することができます。



■ 新しいトポロジ画面の作成

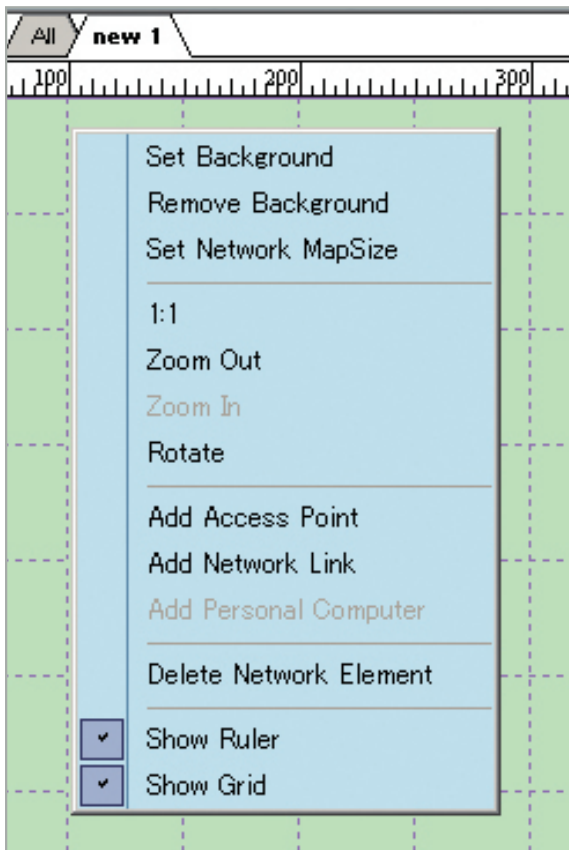
実際の配置に従ってアクセスポイントを配置することができます。アクセスポイントが故障した場合、アクセスポイントが故障している様子を目視し、直ちにそれを置き換えることができます。

「Topology」画面上の余白部分を右クリックし、「Add」を選択します。



■ トポロジ画面の編集メニュー

トポロジ画面で右クリックを行い、以下のメニューを表示します。



- **Set Background :**
背景画像を設定します。→[背景画像の設定](#)
- **Remove Background :**
背景画像を取り消します。→[背景画像の設定](#)
- **Set Network MapSize :**
トポロジマップのサイズを変更します。→[マップサイズの変更](#)
- **1:1 :**
トポロジ画面の表示倍率を 100%にします。→[表示倍率の変更](#)
- **Zoom Out :**
トポロジ画面の表示を縮小します。→[表示倍率の変更](#)
- **Zoom In :**
トポロジ画面の表示を拡大します。→[表示倍率の変更](#)
- **Rotate :**
トポロジ画面上のデバイスアイコンを回転させます。→[アイコンの回転](#)
- **Add Access Point :**
アクセスポイントを追加します。→[アクセスポイントの追加](#)
- **Add Network Link :**
ネットワークリンクを追加します。→[ネットワークリンクの追加と削除](#)
- **Add Personal Computer :**
パーソナルコンピュータを追加します。
- **Delete Network Element :**
トポロジ画面上のアイコンやネットワークリンクを削除します。
→[ネットワークリンクの追加と削除](#)
- **Show Ruler :**
定規を表示します。
- **Show Grid :**
グリッドを表示します。

■ 背景画像の設定

トポロジ画面の背景を設定します。

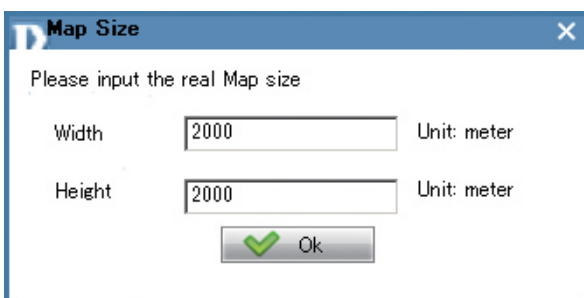
1. トポロジ画面を右クリック → 「Set Background」 を選択します。
2. 画像ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

設定した画像を取り消すには、「Remove Background」をクリックします。

■ マップサイズの変更

トポロジマップのサイズを変更します。

1. トポロジ画面を右クリック → 「Set Network MapSize」 を選択します。
2. マップサイズを設定します。



3. 「OK」 をクリックします。

■ 表示倍率の変更

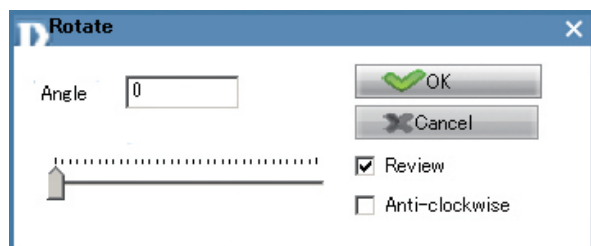
トポロジマップの表示倍率を変更します。

1. トポロジ画面を右クリック → 「1:1」「Zoom Out」「Zoom In」のいずれかを選択します。
「1:1」：トポロジ画面の表示倍率を 100%にします。
「Zoom Out」：トポロジ画面の表示を拡大します。
「Zoom In」：トポロジ画面の表示を縮小します。

■ アイコンの回転

トポロジ画面上のデバイスアイコンを回転させます。

1. 回転させるアイコンを選択して右クリック → 「Rotate」を選択します。
2. 回転の角度を選択します。

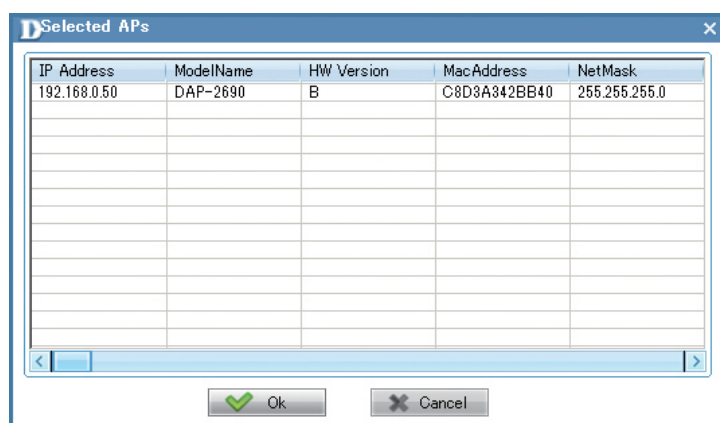


3. 「OK」をクリックします。

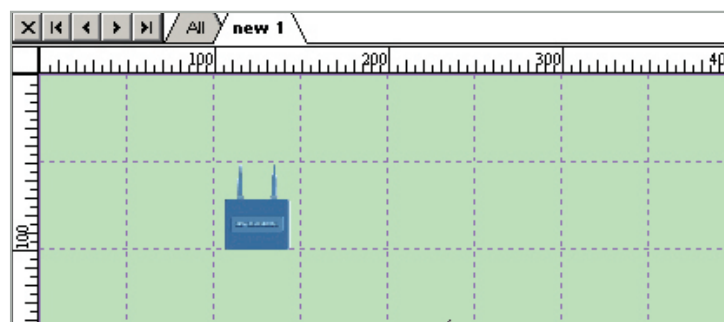
■ アクセスポイントの追加

アクセスポイントを追加します。

1. トポロジ画面を右クリック → 「Add Access Point」を選択します。
2. アクセスポイントを選択し、「Ok」をクリックします。



3. アクセスポイントのアイコンがトポロジ上に表示されます。

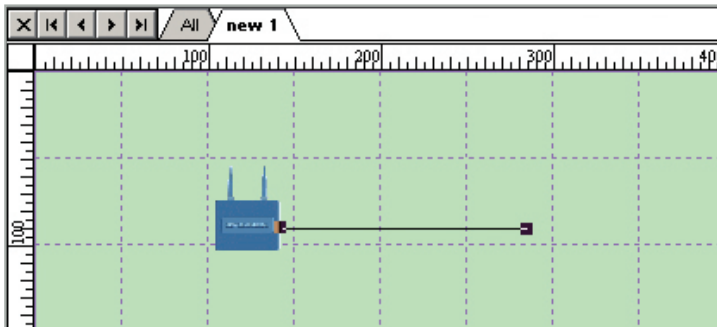


アイコンを削除するには、アイコンを選択して右クリック → 「Delete Network Element」を選択します。

■ ネットワークリンクの追加と削除

ネットワークリンクを追加します。

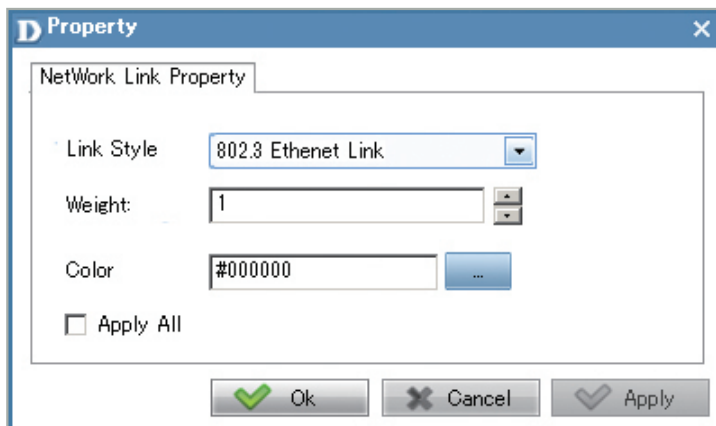
1. トポロジ画面を右クリック → 「Add Network Link」 を選択します。
2. マウスポインタが「+」になるので、ネットワークリンクの線を引きます。



ネットワークリンクを削除するには、ネットワークリンクを選択して右クリック → 「Delete Network Element」 を選択します。

● ネットワークリンクのプロパティを変更する場合：

1. ネットワークリンクをダブルクリックします。
2. 以下の画面で設定を変更し、「Apply」 をクリックします。



「Link Style」：リンクのスタイルを選択します。イーサネットリンクは実線、ワイヤレスリンクは点線で表示されます。

「Weight」：線の太さを設定します。

「Color」：線の色を選択します。

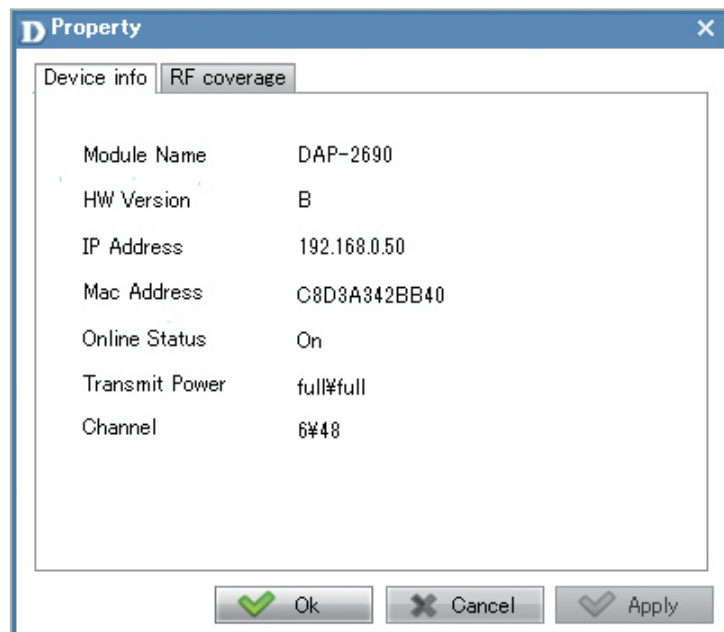
「Apply All」：すべてのネットワークリンクに設定を適用します。

3. 「Ok」 をクリックします。

■ デバイスの情報を確認する

トポロジ画面上にあるデバイスの情報を確認します。

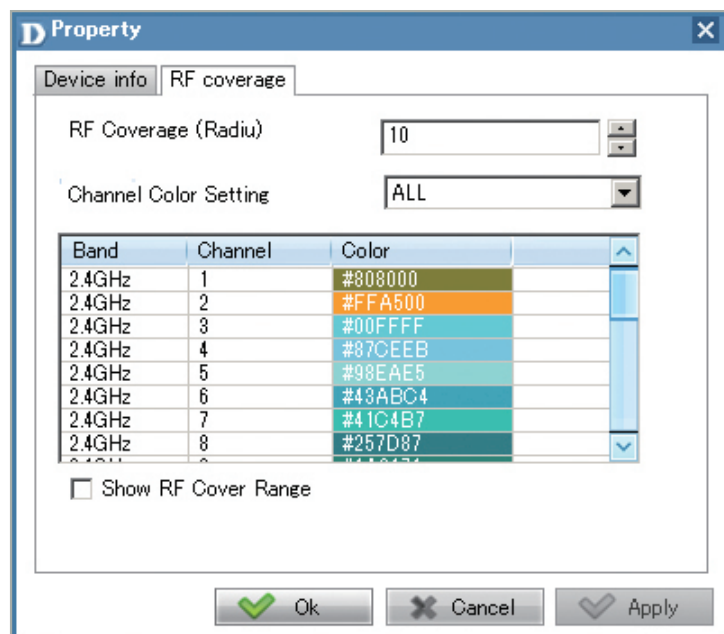
1. デバイスのアイコンをダブルクリックします。
2. 以下の画面の「Device info」タブでデバイスの情報を確認します。



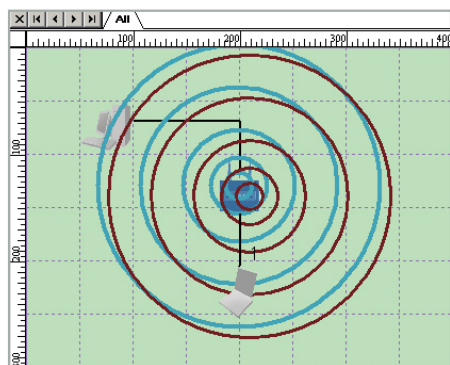
■ チャンネルカラーの選択

トポロジ画面では異なるカラーでチャンネルを示すことができます。

1. デバイスのアイコンをダブルクリックします。
2. 以下の画面の「RF Coverage」タブでチャンネルの色を選択し、「Ok」をクリックします。



「Show RF Cover Range」にチェックをいれると、トポロジ画面上に RF 周波数範囲が設定した色で表示されます。



Tool > Site Planning (配置計画)

「Site Planning」画面では、無線ネットワークの配置を検討する際の情報を確認できます。

スキャン AP ツールを実行し、スキャン結果をロードして表示します。「BSSID」、「Start Time」、「Interval Time」、「Length」および「Description」データを確認することが可能です。

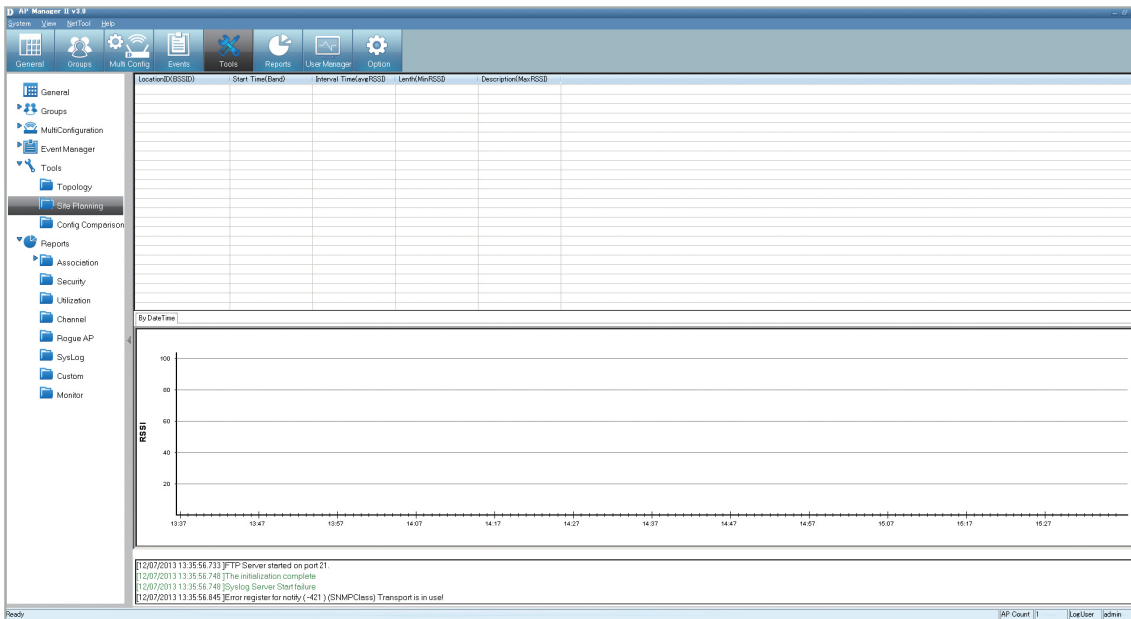


図 5-12 Tool > Site Planning 画面

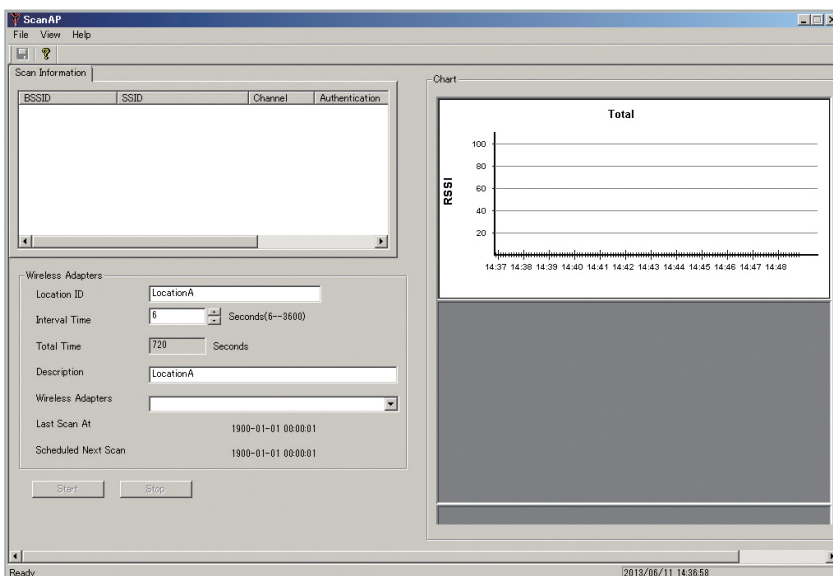
■ スキャン AP ツールの実行

アクセスポイントの RF 情報を収集するために、スキャン AP ツール (ScanAP.exe) を実行します。

1. ツールメニューで「NetTool」>「Scan」の順にクリックします。
または、AP Manager II v3.0 がインストールされているフォルダの ScanAP.exe をダブルクリックします。



2. 「Location ID」と「Description」を入力し、「Interval Time」と「Wireless Adapter」を選択した後に「Start」ボタンをクリックします。

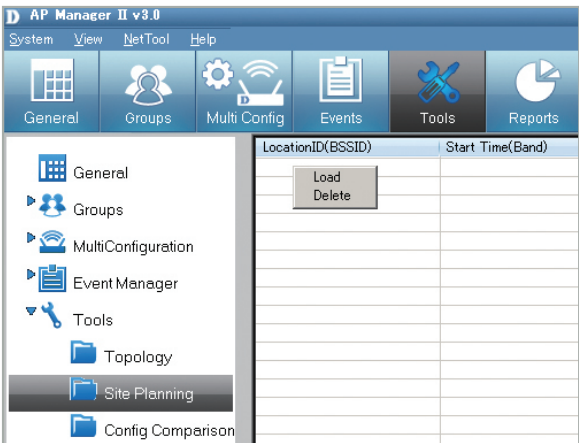


3. スキャン完了のメッセージが表示されるので、「OK」をクリックします。
4. 「Save」をクリックし、スキャン結果を保存します。

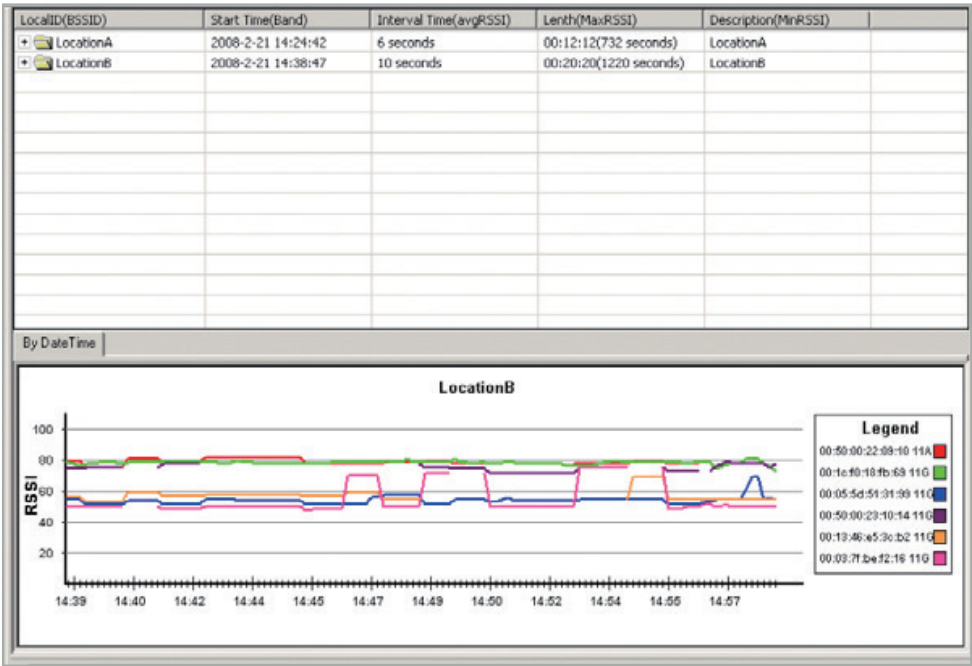
■ スキャン結果の読み込み

保存したスキャン結果を読み込み、Site Planning 画面に表示します。

- 1. ビュー画面を右クリックし、「Load」をクリックします。



- 2. 読み込むファイルを指定し、「開く」をクリックします。
- 3. ファイルの内容がビュー画面に表示されます。



各ファイルの「+」アイコンをクリックすると、詳細が表示されます。

Tool > Config Comparioson (コンフィグレーションの比較)

コンフィグレーションの比較を行います。アクセスポイントおよび設定を保存したテンプレートの比較が可能です。
比較後に、テンプレートの設定をアクセスポイントに適用することもできます。

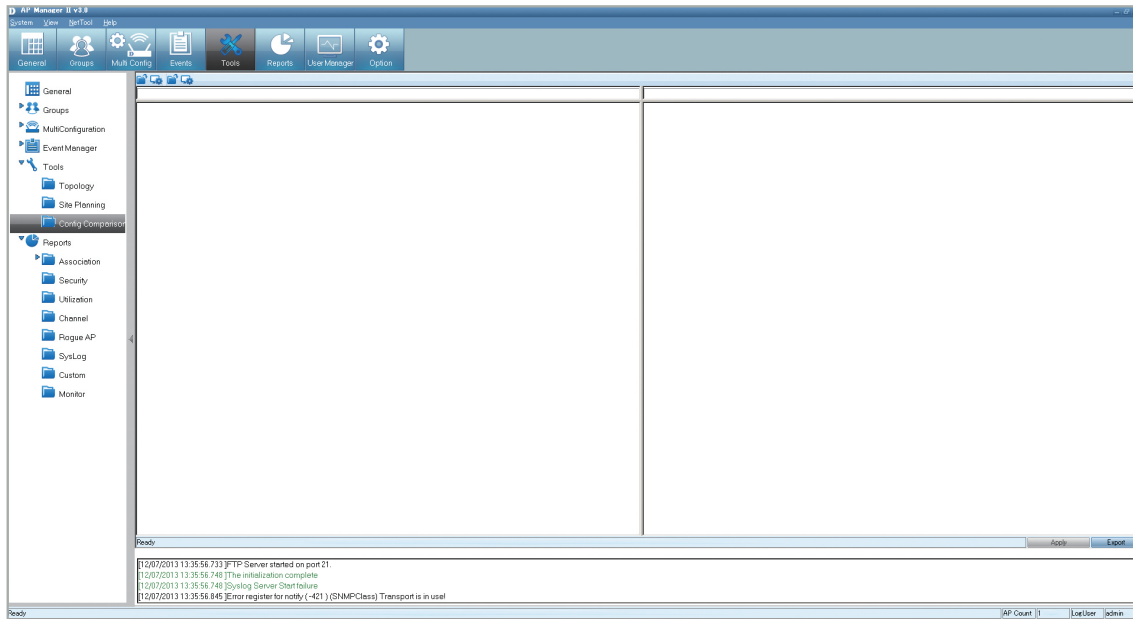


図 5-13 Tool > Config Comparison 画面

1. ビュー画面上部の  アイコンから、 または  をクリックします。



: テンプレートを比較します。



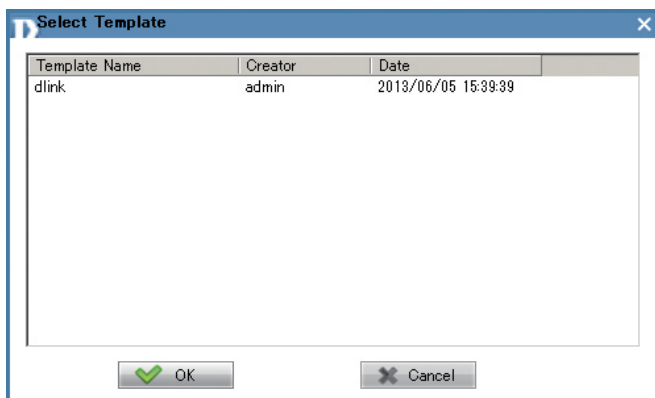
: アクセスポイントを比較します。



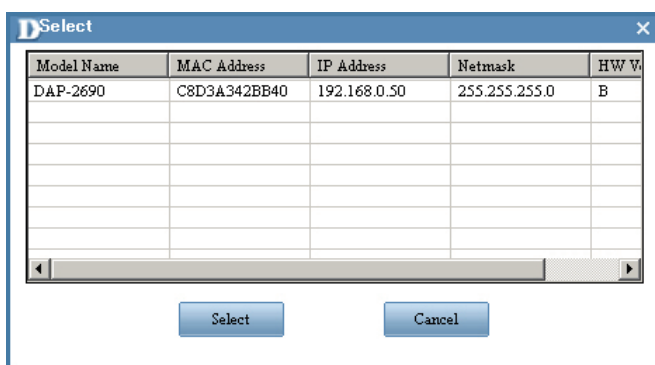
左側のアイコンで選択したコンフィグはビュー画面の左側に、右側のアイコンで選択したコンフィグはビュー画面の右側に表示されます。

2. テンプレートまたはアクセスポイントを選択し、「OK」または「Select」をクリックします。

■ テンプレート選択画面の場合：選択後に「OK」をクリック

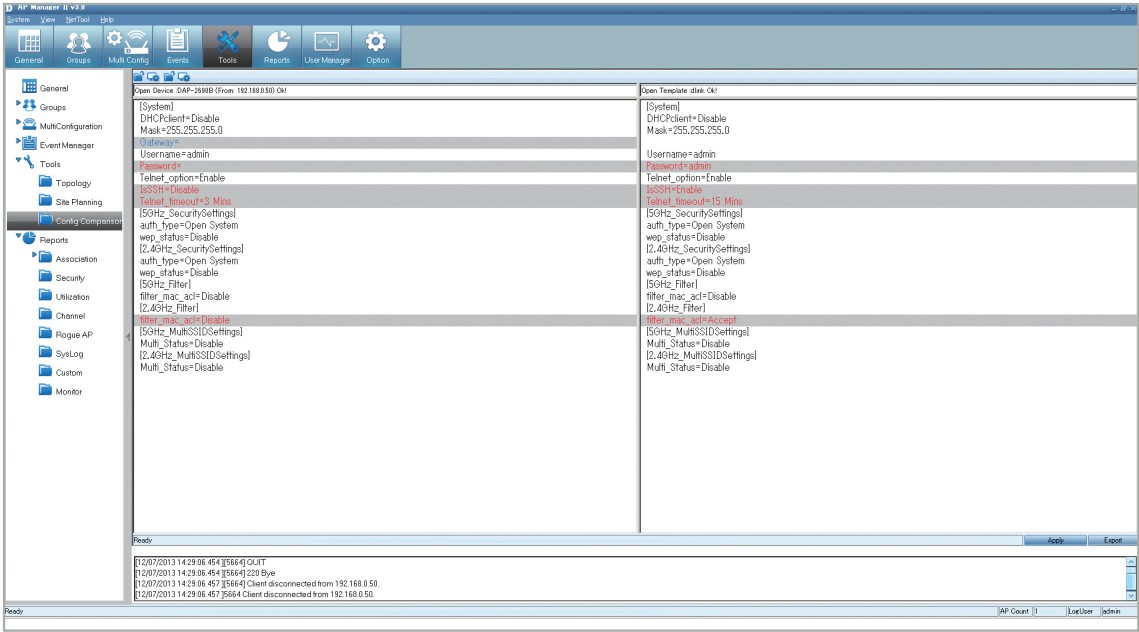


■ アクセスポイント選択画面の場合：選択後に「Select」をクリック



3. 比較結果が表示されます。

■ テンプレート「dlink」と DAP-2690 のコンフィグレーションを比較した結果



「Apply」をクリックすると、テンプレートの内容をアクセスポイントに適用できます。

「Export」をクリックすると、比較結果をエクスポートできます。

メモ アクセスポイントのコンフィグ比較は、「Group」画面の  アイコンからも行うことができます。

Report (レポート)

アクセスポイントやクライアント、セキュリティ、チャンネルなどのレポートを確認することができます。

- Report > Association (アクセスポイント / ステーションごとのレポート)
- Report > Security (セキュリティレポート)
- Report > Utilization (使用率レポート)
- Report > Channel (チャンネルレポート)
- Report > Rogue AP (不正アクセスポイントレポート)
- Report > Syslog (システムログレポート)
- Report > Custom (カスタムレポート)
- Report > Monitor (モニタレポート)

Report > Association (アクセスポイント / ステーションごとのレポート)

管理しているアクセスポイントと、アクセスポイントに接続するクライアントステーションのレポートを表示します。

「By Access Point」(アクセスポイントごと) および「By Wireless Station」(ワイヤレスステーションごと) を選択して表示することができます。

■ By Access Point (アクセスポイントごとのレポート)

アクセスポイントごとのレポートを表示します。

「DateTime」、「MAC Address」、「Alias」、「Access Point」、「SSID」、「Band」、「Authentication」、「RSSI」 および「Power save mode」が表示されます。

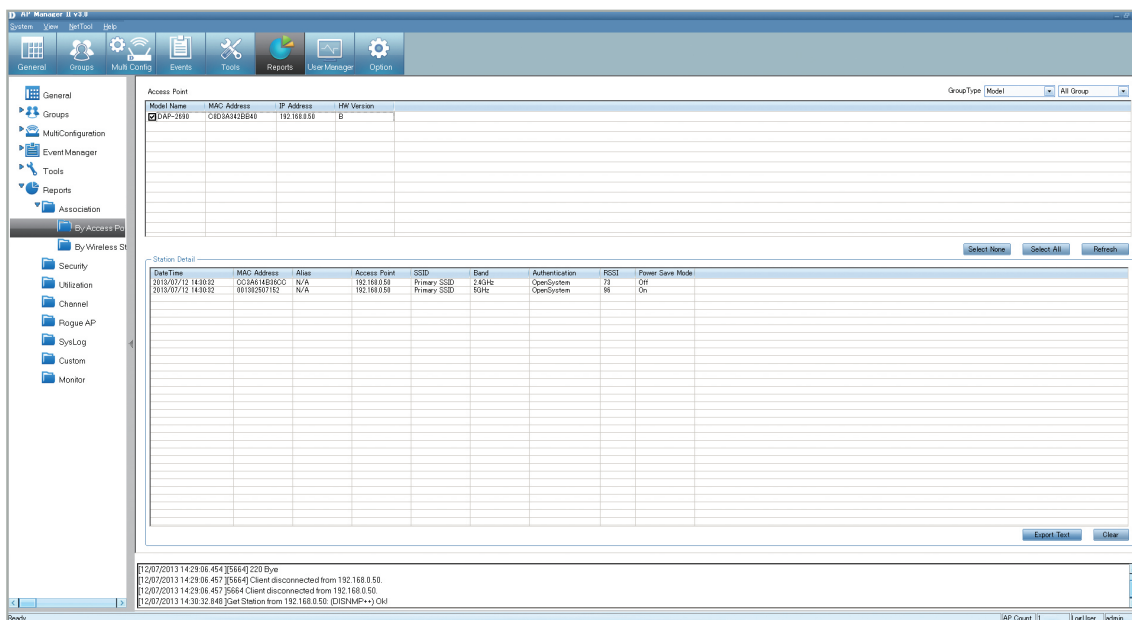
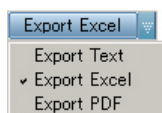


図 5-14 Report > Association > By Access Point 画面

✕ 「Group Type」から、特定のモデルまたはグループのみを選択して表示することができます。

✕ 「Station Details」の内容は、txt、Excel、PDF 形式でエクスポートできます。アイコンをクリックしてドロップダウンリストから形式を選択します。



■ By Wireless Station (ワイヤレスステーションごとのレポート)

ワイヤレスステーションごとのレポートを表示します。

「From/To」でレポートを表示する期間を選択し、「Search by macAddress」または「Search by Alias」をクリックします。

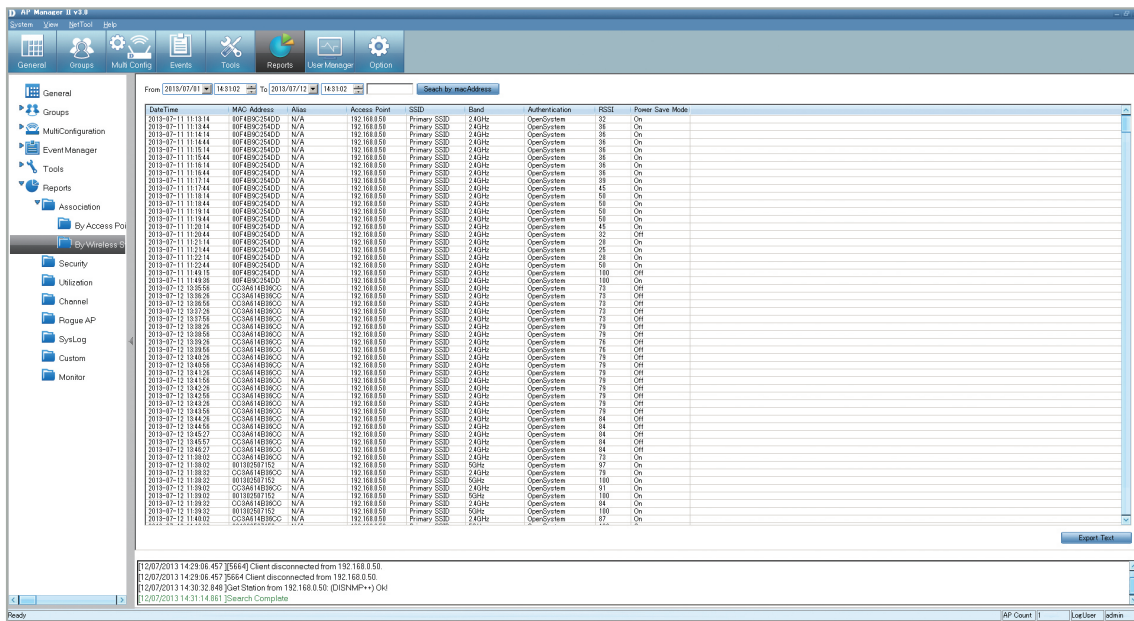
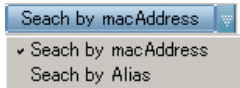
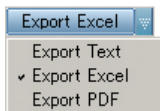


図 5-15 Report > Association > By Wireless Station 画面

「Search by macAddress」「Search by Alias」は、ドロップダウンリストから選択できます。



レポートの内容は、txt、Excel、PDF 形式でエクスポートできます。アイコンをクリックしてドロップダウンリストから形式を選択します。



Report > Security (セキュリティレポート)

アクセスポイントのセキュリティレベルを表示します。セキュリティレベルは、次の通り最低から最高まであります。

Open System、Shared Key、WPA-Personal、WPA-Enterprise、WPA2-Personal、WPA2-Enterprise

「Security Details」セクションでは、アクセスポイントの SSID、Mode Name、MAC Address、IP Address、Authentication、および Band 情報を表示します。

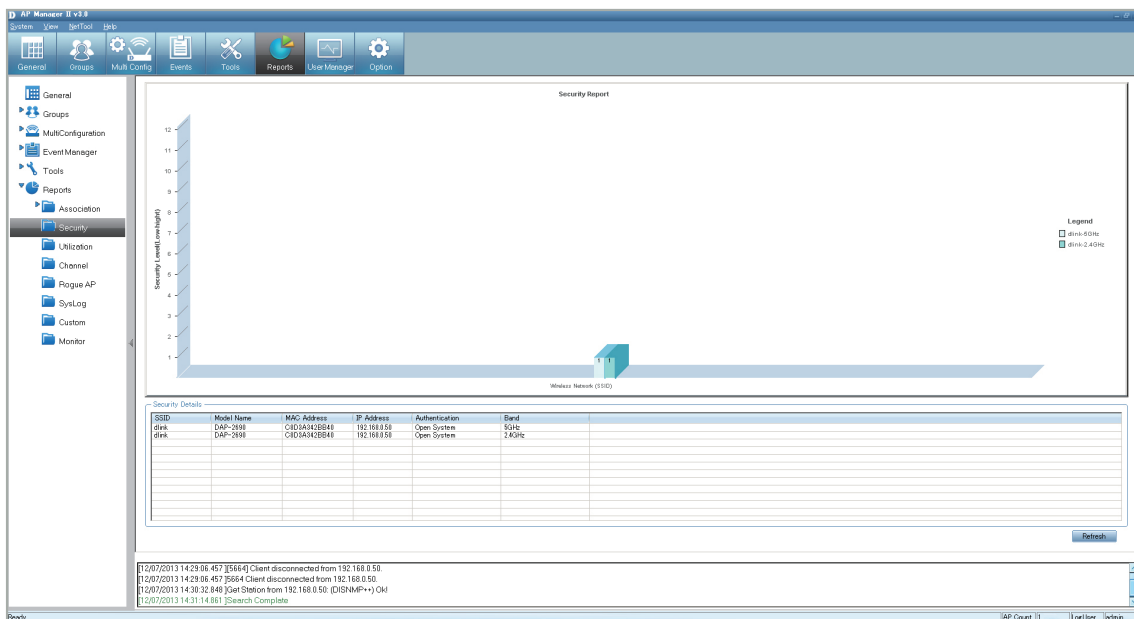


図 5-16 Report > Security 画面

「Refresh」をクリックすると表示を更新することができます。

Report > Utilization (使用率レポート)

アクセスポイントの帯域使用率を表示します。

使用率を参照するためには、AP Manager II v3.0 はアクセスポイントをポーリングする必要があります。

レポートを表示する期間を選択し、「Search」をクリックします。

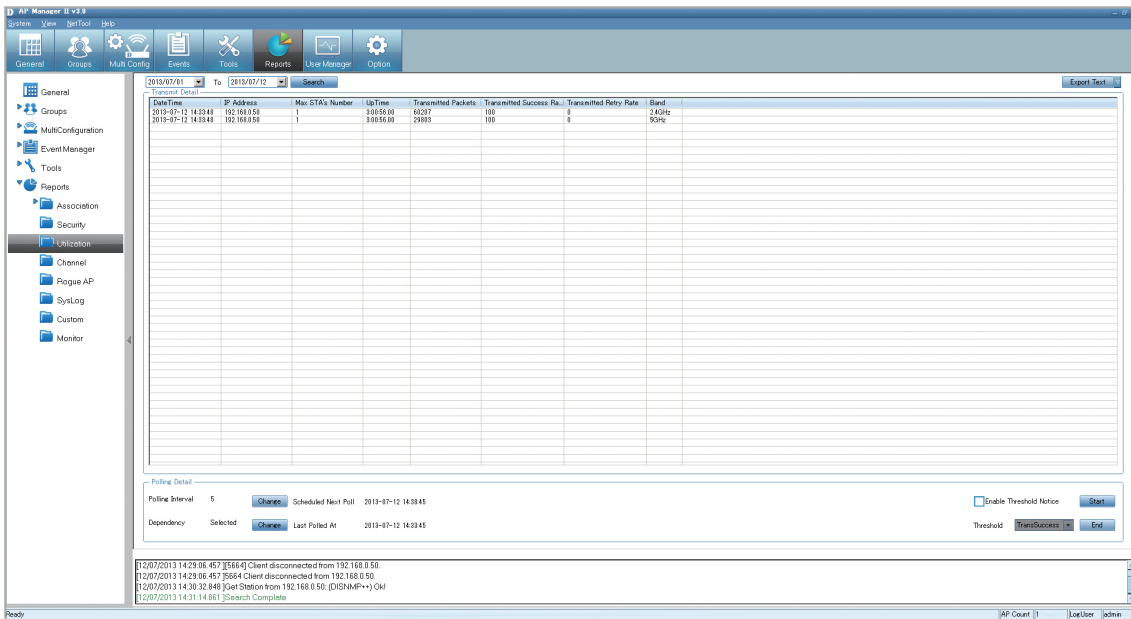
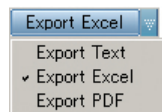


図 5-17 Report > Utilization 画面

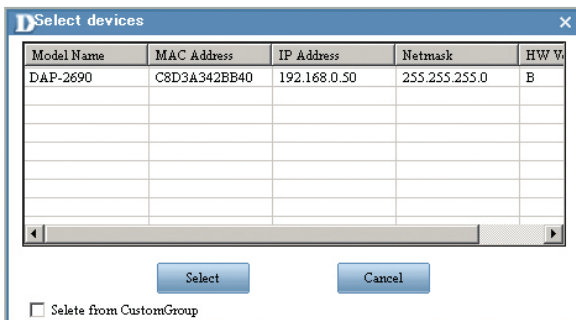


レポートの内容は、txt、Excel、PDF 形式でエクスポートできます。
アイコンをクリックしてドロップダウンリストから形式を選択します。



● ポーリングを開始する場合：

「Dependency」の「Change」ボタンをクリックして「Select」画面を表示します。

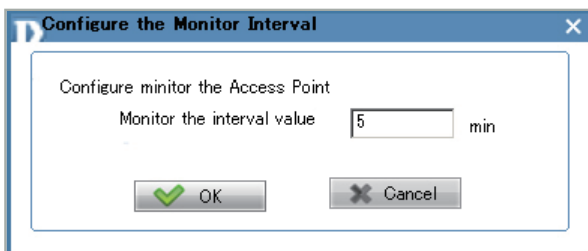


ポーリングするアクセスポイントを選択後、「Start」をクリックします。

「Enable Threshold Notice」をクリックしてしきい値通知を有効にし、「Threshold」のタイプを選択することができます。

● ポーリング間隔を変更する場合：

「Polling Interval」の「Change」ボタンをクリックして「Select」画面を表示します。



ポーリングする間隔を設定後、「OK」をクリックします。

The screenshot displays the 'AP Manager II v3.8' software interface. The left sidebar contains a navigation tree with the following items: General, Groups, MultiConfiguration, Event Manager, Tools, Reports, Association, Security, Utilization, Channel (highlighted), Poque AP, SysLog, Custom, and Monitor. The top menu bar includes 'System', 'View', 'GetTool', and 'Help'. The main content area is titled '802.11 b/g/n Channel Usage' and contains a 'Channel Report' bar chart. The chart shows a single bar at channel 6 with a count of 1. Below this, the 'Show Channel Usage By Group' section displays two bars: one at channel 6 with a count of 1, and another at channel 40 with a count of 1. The bottom status bar shows 'Ready' and 'AP Count: 1'.

- ✕モ 「Group Type」 から、特定のモデルまたはグループのみを選択して表示することができます。
- ✕モ 「Refresh」 をクリックすると表示を更新することができます。

[illegible]

アクセスポイントを分類するためには、「Detect」ボタンをクリックして周囲のアクセスポイントを検索します。

Report > Syslog (システムログレポート)

「Syslog」画面では、管理アクセスポイントが送信したシステムログ情報を表示します。

メモ 各アクセスポイントのマニュアルを参照し、アクセスポイントが AP Manager II v3.0 にシステムログを送信するように設定してください。

メモ 本機能では、AP Manager II v3.0 をインストール PC の UDP ポート 514 を使用します。UDP ポート 514 が他のアプリケーションで使われているなどの理由により使用できない場合、システムログ情報を表示することができません。

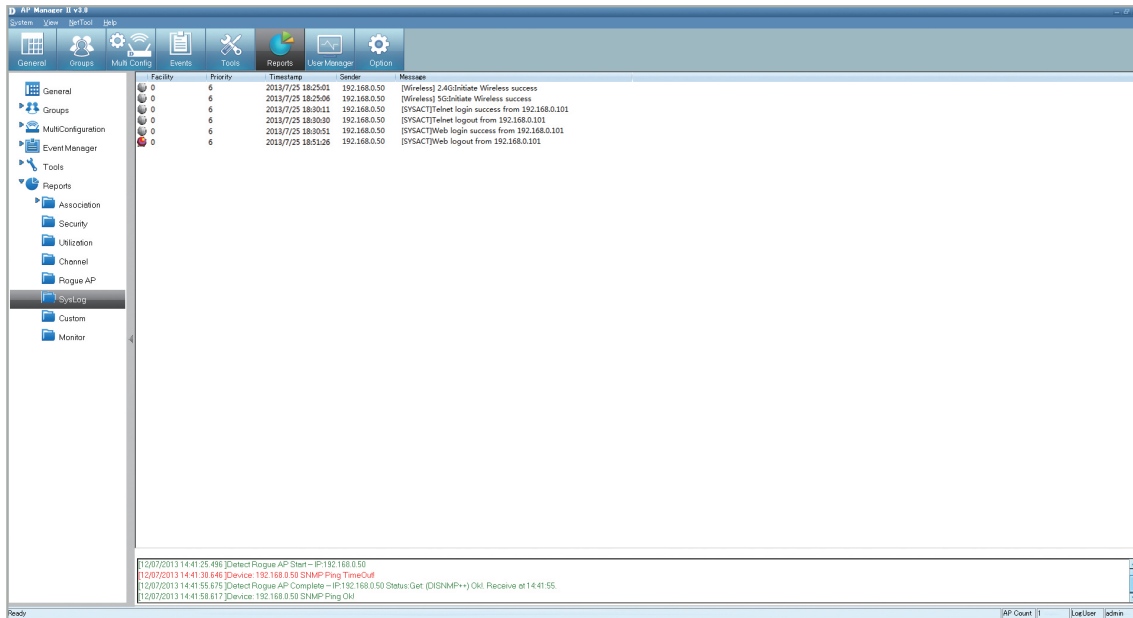


図 5-20 Report > Syslog 画面

Report > Custom (カスタムレポート)

日時を指定し、その期間内のレポートを表示します。

レポートを表示する期間を選択し、「Search」をクリックします。

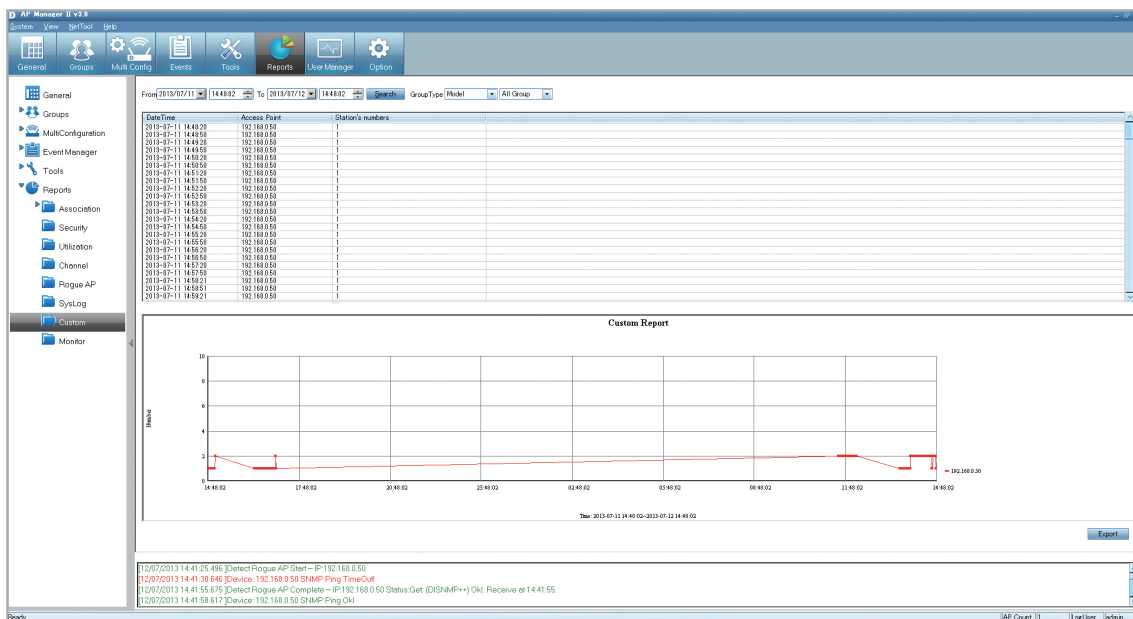


図 5-21 Report > Custom 画面

メモ 「Group Type」から、特定のモデルまたはグループのみを選択して表示することができます。

メモ 「Export」をクリックすると、レポートが html 形式でエクスポートされます。

Report > Monitor (モニタレポート)

アクセスポイントのパフォーマンスをモニタした結果を表示します。



図 5-22 Report > Monitor 画面

- ✂ 「Group Type」 から、特定のモデルまたはグループのみを選択して表示することができます。
- ✂ 「Export」 をクリックすると、レポートが html 形式でエクスポートされます。

● プロファイルの作成 :

1. 「Action」 セクションの「Create」 をクリックし以下の画面を表示します。

2. 「Settings」 セクションでプロファイルの内容を設定し、「Monitor Item」 セクションでモニタする項目を設定 → 「OK」 をクリックします。

- ✂ 「<」 をクリックすると、「Select devices」 画面が表示され、アクセスポイントを選択することができます。

3. 「Start」 をクリックして、モニタリングを開始します。

- ✂ 「Action」 セクションの項目は以下のとおりです。
 - 「Create」 : プロファイルを作成します。
 - 「Edit」 : 作成したプロファイルを編集します。
 - 「Delete」 : 作成したプロファイルを削除します。
 - 「Start」 : 選択したプロファイルでモニタリングを開始します。
 - 「Stop」 : モニタリングを停止します。モニタリングの停止と同時にモニタリングしたデータを書き出す画面が表示されます。
 - 「Report」 : モニタリングしたデータを .dat 形式で書き出します。

User Manager (ユーザ管理)

 アイコンをクリックすると、User Management 画面が表示されます。

User Management 画面では、ユーザのプロファイルを作成・編集・消去することができます。

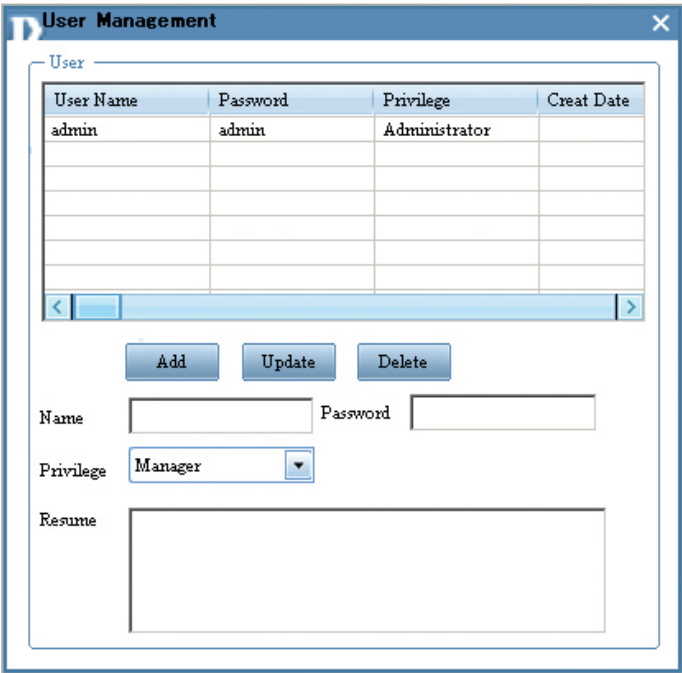


図 5-23 User Management 画面

■ 表示される項目

Name	ユーザの名称を設定します。
Password	ログインする際のパスワードを設定します。
Privilege	ユーザの権限レベルを選択します。 選択肢：「Administrator」「Manager」「Guest」 Administrator：AP Manager II v3.0 のすべての権利を所有しています。 Managerr：ユーザ管理以外のすべての権利を所有しています。 Guest：閲覧のみ可能です。
Resume	ユーザに関する説明文を入力します。入力必須ではありません。

● ユーザを追加する場合：

1. 「Name」「Password」「Privilege」「Resume」を入力します。
2. 「Add」をクリックします。
登録した内容は画面上部の表に表示されます。

● ユーザを編集する場合：

1. 画面上部の表で編集するユーザを選択します。
2. 「Name」「Password」「Privilege」「Resume」を編集します。
3. 「Update」をクリックします。

● ユーザを削除する場合：

1. 画面上部の表で削除するユーザを選択します。
2. 「Delete」をクリックします。

Options (オプション)

 アイコンをクリックすると、「Options」画面が表示されます。

AP Manager II v3.0 のソフトウェア動作環境を変更することができます。

■ General タブ

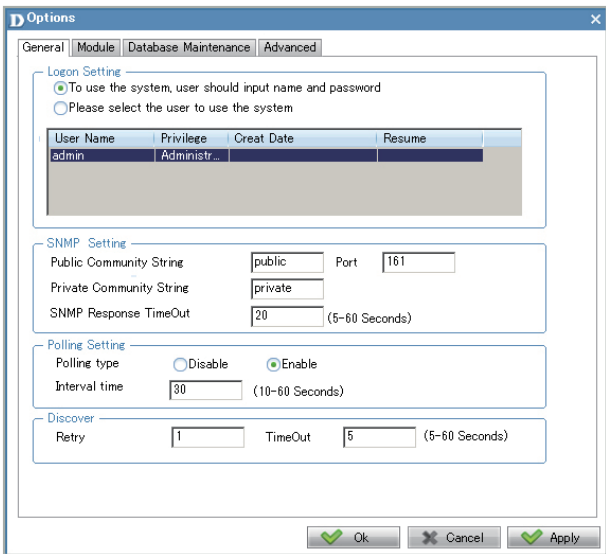


図 5-24 Options > General タブ画面

■ 表示される項目

Logon Setting	システムへのログイン方法（自動または手動）を設定します。自動的にログインするためには、ユーザリストからシステムにログインするのに使用されるユーザを選択する必要があります。
SNMP Setting	「Public/Private Community String」、「Port Number」および「SNMP Response Timeout」を設定します。
Polling Setting	初期値は「Disable」（無効）です。本機能を有効にした場合、ポーリング間隔を設定する必要があります。初期値は 30（秒）です。
Discover	検出を行う場合のリトライ回数とタイムアウト時間を入力します。

「Apply」をクリックすると、設定が適用されます。「OK」をクリックすると、設定が適用され、「Options」画面が閉じられます。

■ Module タブ

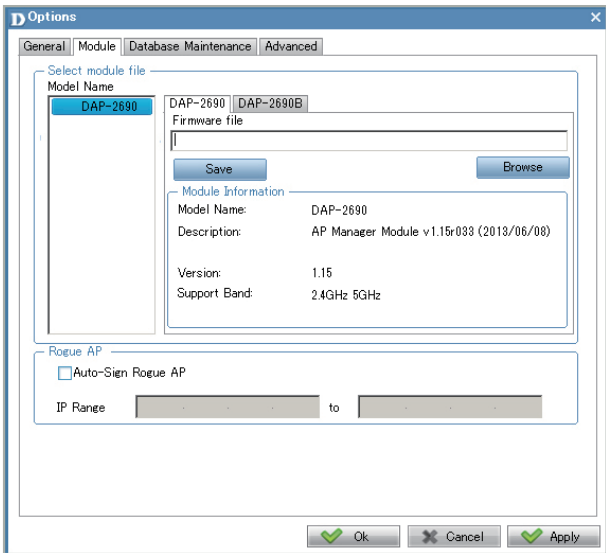


図 5-25 Options > Module タブ画面

■ 表示される項目

Select module file	AP Manager II v3.0 でアクセスポイントのファームウェアアップグレードを行う場合に、使用するファームウェアを指定できます。 「Model Name」でアクセスポイントを選択し、「Browse」ボタンをクリックしてファームウェアファイルを選択します。次に、「Save」ボタンをクリックして、変更を適用します。
Rogue AP	自動で不正 AP を指定することができます。 「Auto-Sign Rogue AP」にチェックをいれ、「IP Range」で IP アドレスの範囲を指定します。

「Apply」をクリックすると、設定が適用されます。「OK」をクリックすると、設定が適用され、「Options」画面が閉じられます。

■ Database Maintenance タブ

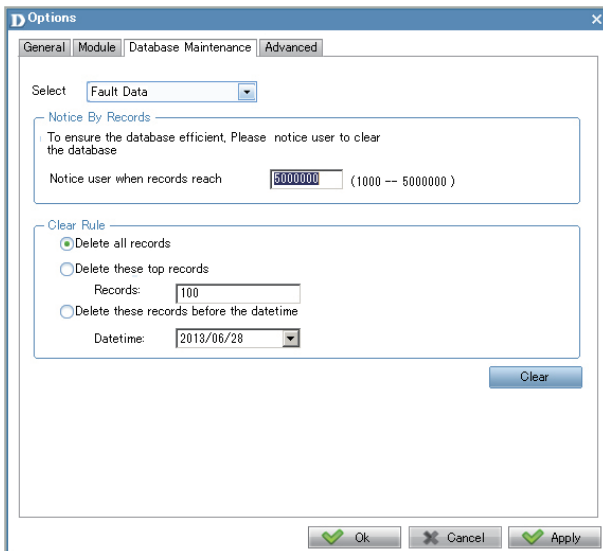


図 5-26 Options > Database Maintenance タブ画面

■ 表示される項目

Select	レコードのタイプを以下から選択します。 「Event Data」「Wireless Station Data」「System Log Data」「Utility Data」「Syslog Data」
Notice By Records	レコード数の上限を設定します。上限値を超えると、レコードをクリアするようユーザに通知されます。
Clear Rule	「Clear」をクリックしてレコードをクリアします。クリアする方法は以下から選択します。。 「Delete all records」：すべてのレコードをクリアします。 「Delete these top records」：レコードの先頭から指定した数をクリアします。 「Delete these records before the datetime」：指定時間よりも前に保存したレコードをクリアします。

「Apply」をクリックすると、設定が適用されます。

「OK」をクリックすると、設定が適用され、「Options」画面が閉じられます。

■ Advanced タブ

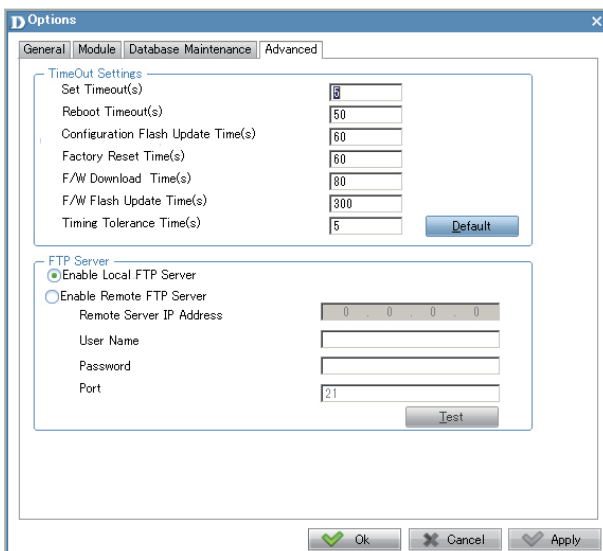


図 5-27 Options > Advanced タブ画面

■ 表示される項目

Timeout Settings	システムのタイムアウト設定を行います。「DeEvent」をクリックすると初期設定に戻ります。
FTP Server	ローカル FTP サーバまたはリモート FTP サーバを有効にします。 リモート FTP サーバを有効にした場合は、IP アドレス、ユーザ名、パスワード、ポートを設定します。 「Test」をクリックすると、リモート FTP サーバのテストを実行します。

「Apply」をクリックすると、設定が適用されます。

「OK」をクリックすると、設定が適用され、「Options」画面が閉じられます。

第6章 アクセスポイントの設定

アクセスポイントの設定を AP Manager II v3.0 から行うことができます。

設定を行う項目は、アクセスポイントによって異なります。設定項目および設定内容の詳細は、各アクセスポイントのマニュアルを参照してください。本マニュアルでは、DAP-2690(HW:B1) の画面を例に、アクセスポイント設定画面の操作方法を説明します。

◆ アクセスポイント設定画面の表示方法

- ◆ Home
- ◆ Basic
- ◆ Advanced
- ◆ Maintenance
- ◆ Status
- ◆ System
- ◆ Configuration
- ◆ Help

アクセスポイント設定画面の表示方法

アクセスポイントの設定画面は以下の手順で表示できます。

1. アイコンメニューまたはメインメニューの「Group」をクリックします。

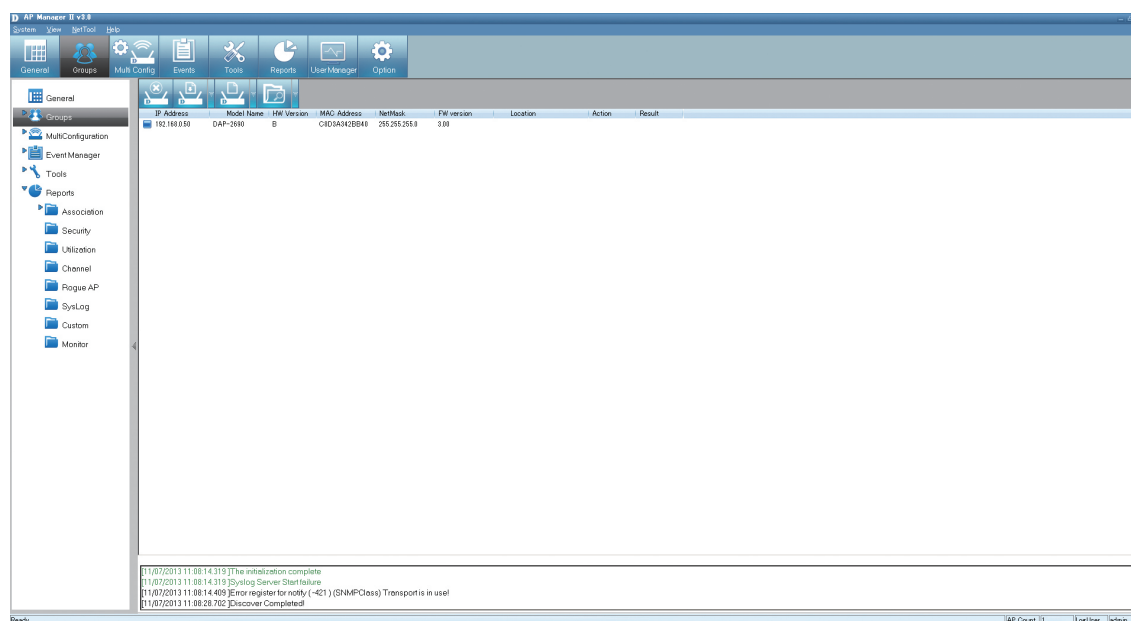


図 6-1 Group 画面

2. 設定するアクセスポイントをダブルクリックし、「SNMP Enable」画面を表示 → 「OK」をクリックします。

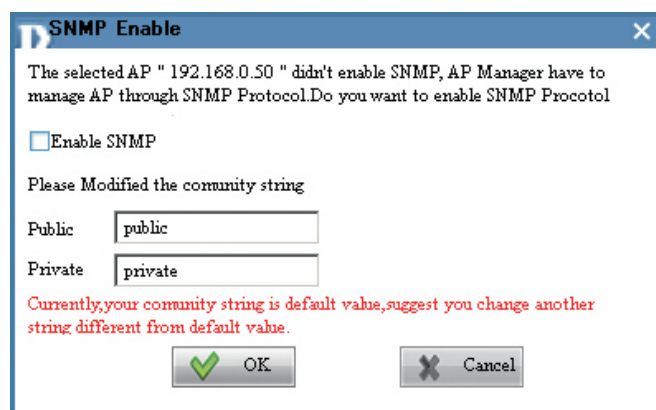
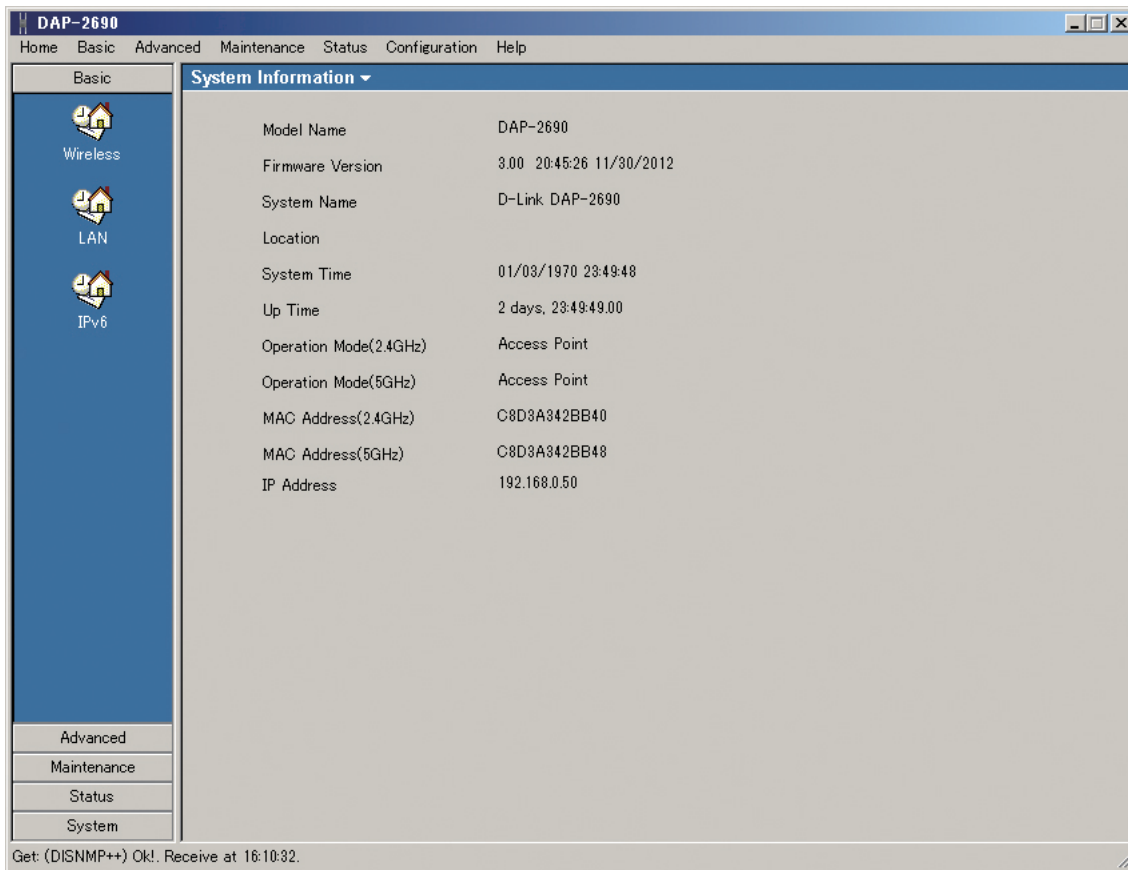


図 6-2 SNMP Enable 画面

3. 以下のアクセスポイント設定画面が表示されます。



✕モ 画面左側および上部のメニューを使用してアクセスポイントの設定を行います。

✕モ 設定項目の一部はアクセスポイントによって異なります。
本マニュアルでは DAP-2690 の例で説明します。

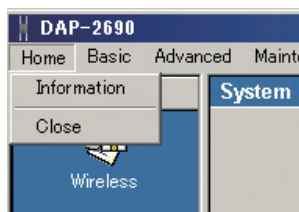
Home

System Information (製品の情報)

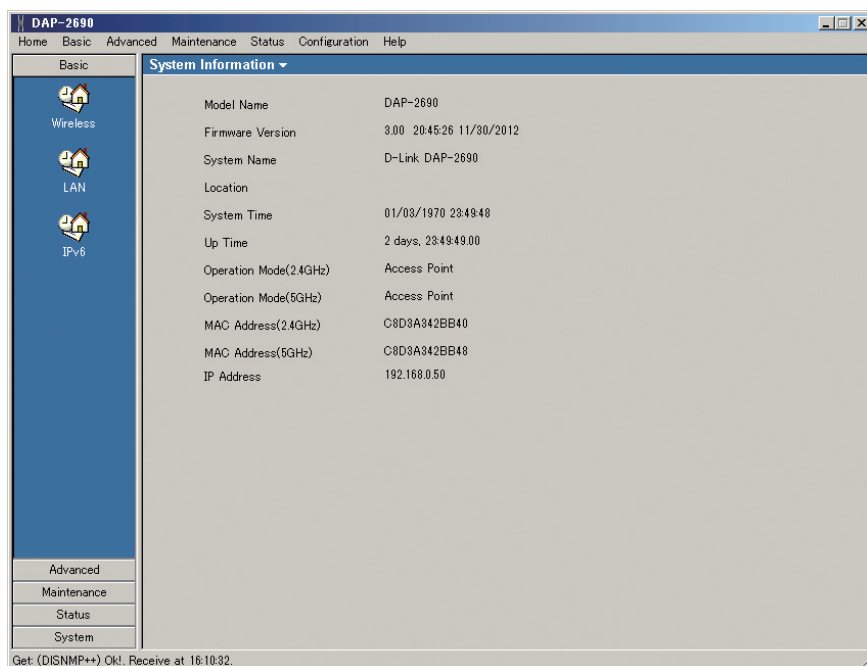
アクセスポイントに関する基本的な設定情報を表示します。

設定の詳細については各アクセスポイントのマニュアルを参照してください。

1. 上部のメニューで「Home」>「Information」の順にクリックします。



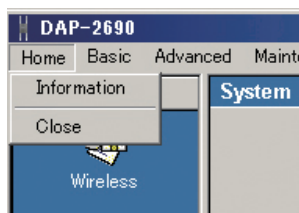
2. 以下の画面でアクセスポイントの設定情報を確認します。



Close (アクセスポイント設定画面の終了)

アクセスポイント設定画面を終了します。

1. 上部のメニューで「Home」>「Close」の順にクリックします。



Basic

「Basic」では、無線設定や IP アドレスの設定など、アクセスポイントの基本的な設定をすることができます。設定の詳細については各アクセスポイントのマニュアルを参照してください。

■ 設定方法

1. 上部のメニューまたは左側のメニューで「Basic」> 設定したい項目の順にクリックします。
2. 表示された画面でアクセスポイントの設定を行います。
3. 「Save」をクリックし、設定を適用します。

■ 設定画面例：

● Wireless (無線設定)

DAP-2690

Home Basic Advanced Maintenance Status Configuration Help

Basic

Wireless

LAN

IPv6

Advanced

Maintenance

Status

System

Ready

Wireless

Wireless Band: 2.4GHz

Mode: Access Point

Network Name (SSID): DAP-2690_dlink

SSID Visibility: Enable

Auto Channel Selection: Enable

Channel: 6

Channel Width: 20MHz

Application: Concurrent 11b/g/n on 2.4GHz for indoor/outdoor

Authentication: WPA-Personal

PassPhrase Settings

WPA Mode: AUTO(WPA or WPA2)

Cipher Type: Auto Group Key Update Interval: 1800 (Seconds)

☒ Manual ☐ Periodical Key Change

Activated From: Sun : 00 : 00

Time Interval: 1 (1*168)hour(s)

PassPhrase: *****

Confirm PassPhrase: *****

notice: 8*63 in ASCII or 64 in Hex

● LAN (LAN 設定)

DAP-2690

Home Basic Advanced Maintenance Status Configuration Help

Basic

Wireless

LAN

IPv6

Advanced

Maintenance

Status

System

Ready

Wireless

Wireless Band: 2.4GHz

Mode: Access Point

Network Name (SSID): DAP-2690_dlink

SSID Visibility: Enable

Auto Channel Selection: Enable

Channel: 6

Channel Width: 20MHz

Application: Concurrent 11b/g/n on 2.4GHz for indoor/outdoor

Authentication: WPA-Personal

PassPhrase Settings

WPA Mode: AUTO(WPA or WPA2)

Cipher Type: Auto Group Key Update Interval: 1800 (Seconds)

☒ Manual ☐ Periodical Key Change

Activated From: Sun : 00 : 00

Time Interval: 1 (1*168)hour(s)

PassPhrase: *****

Confirm PassPhrase: *****

notice: 8*63 in ASCII or 64 in Hex

Advanced

「Advanced」では、マルチ SSID や VLAN の設定など、アクセスポイントの詳細設定をすることができます。項目の詳細については各アクセスポイントのマニュアルを参照してください。

■ 設定方法

1. 上部のメニューまたは左側のメニューで「Advanced」> 設定したい項目の順にクリックします。
2. 表示された画面でアクセスポイントの設定を行います。
3. 「Save」をクリックし、設定を適用します。

■ 設定画面例：

● Performance (パフォーマンス設定)

DAP-2690
Home Basic Advanced Maintenance Status Configuration Help

Performance

- Wireless Band: 2.4GHz
- Wireless: On
- Wireless Mode: Mixed 802.11n, 802.11g and 802.11b
- Data Rate: Best (up to 300) (Mbps)
- Beacon Interval (40-500): 0
- DTIM Interval (1-15): 0
- Transmit Power: 100%
- WMM (Wi-Fi Multimedia): Disable
- Ack Time Out (2.4GHz, 40~200): 0 (us)
- Short GI: Disable
- IGMP Snooping: Disable
- Connection Limit: Disable
- User Limit (0 - 64): 0
- Network Utilization: 0%
- Multicast Rate: Disable (Mbps)
- Multicast Bandwidth Control: Disable
- Maximum Multicast Bandwidth: kbps
- HT20/40 Coexistence: ☐ Enable ☐ Disable

Save

● Multi-SSID (マルチ SSID 設定)

DAP-2690
Home Basic Advanced Maintenance Status Configuration Help

Multi-SSID

☐ Enable Multi-SSID ☐ Enable Priority

Wireless Settings

- Band: 2.4GHz
- Index: Primary SSID
- SSID: dlink
- SSID Visibility: Disable
- Security: Open System
- Priority: 0
- WMM (Wi-Fi Multimedia): Disable

Add

Index	SSID	Band	Encryption	Edit	Delete

Save

Maintenance

「Maintenance」では、管理者の情報設定、ログイン設定、ファームウェアやコンフィグファイルのアップロードなどを行うことができます。項目の詳細については各アクセスポイントのマニュアルを参照してください。

■ 設定方法

1. 上部のメニューまたは左側のメニューで「Maintenance」> 設定したい項目の順にクリックします。
2. 表示された画面でアクセスポイントの設定を行います。
3. 「Save」をクリックし、設定を適用します。

■ 設定画面例：

● Admin (管理者設定)

● Firmware and SSL (ファームウェアと SSL 証明書のアップロード)

Status

「Status」では、アクセスポイントのデバイス情報やクライアント情報などを表示します。
項目の詳細については各アクセスポイントのマニュアルを参照してください。

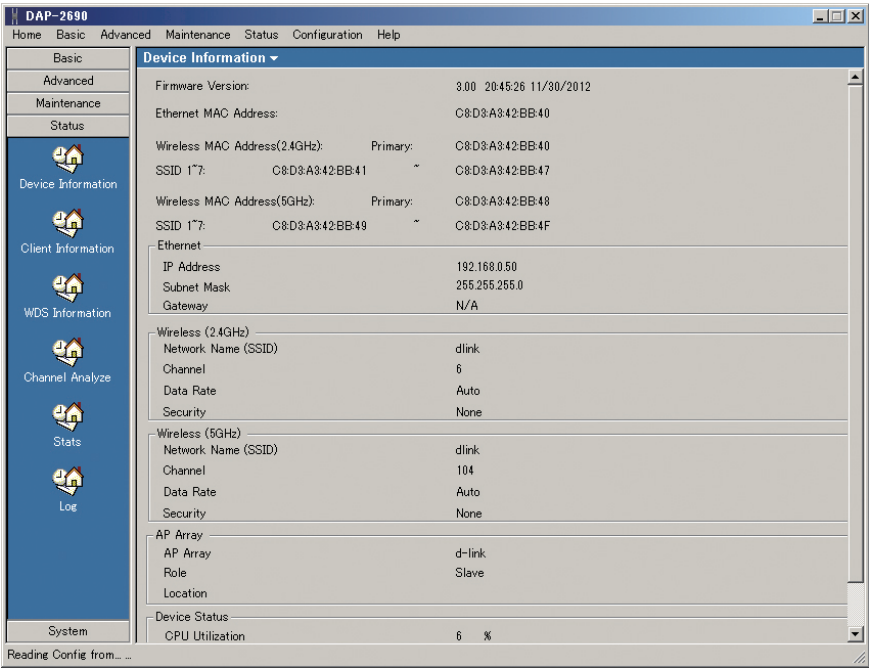
■ 設定方法

- 1. 上部のメニューまたは左側のメニューで「Status」> 表示したい項目の順にクリックします。

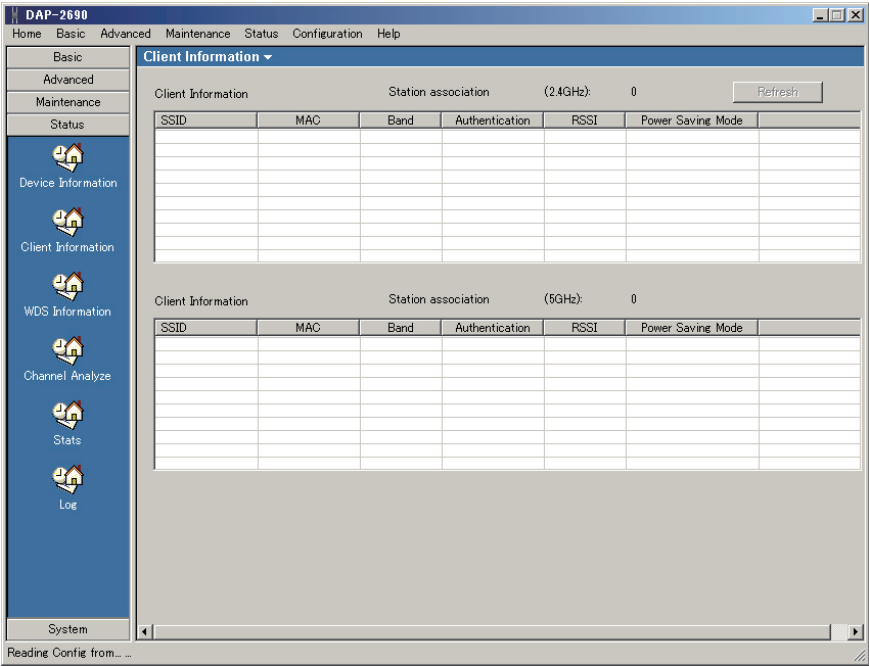
表示を更新する場合は「Refresh」をクリックします。

■ 設定画面例：

- Device Information (デバイス情報)



- Client Information (クライアント情報)

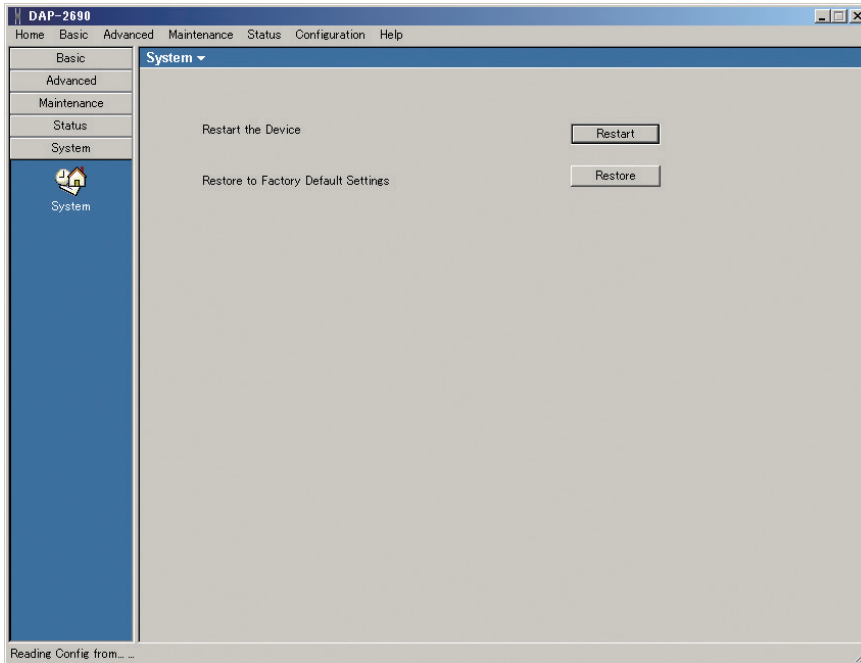


System

「System」では、アクセスポイントの再起動や設定のリセットを行うことができます。項目の詳細については各アクセスポイントのマニュアルを参照してください。

■ 設定方法

1. 左側のメニューで「System」をクリックします。



2. 必要に応じてアクセスポイントの再起動や設定のリセットを行います。

Configuration

「Configuration」では、設定の保存および破棄を行うことができます。項目の詳細については各アクセスポイントのマニュアルを参照してください。

■ 設定方法

1. 上部のメニューで「Configuration」をクリックします。
2. 「Save and Active」または「Discard Changes」をクリックします。
 「Save and Active」: 変更した設定を保存します。
 「Discard Changes」: 変更した設定を破棄します。

Help

「Help」では、マネジメントモジュールのバージョン情報を閲覧できます。

■ 設定方法

1. 上部のメニューで「Help」>「About」をクリックします。
2. 以下の画面で情報を確認します。

